

兵ヲ配置スヘキモノトス

第三百九十六 鐵道ニテ輸送セラルル軍隊ハ客車貨車ノ積載量ヲ遺漏ナク使用シ以テ所要車輛ノ節約ニ勉ムルヲ要ス但シ過度ノ搭載ニ關シテハ鐵道係員之ヲ區處スルモノトス

車輛ノ節約

既ニ述フル如ク使用シ得ル車輛ニハ定限アルヲ以テ輸送ヲシテ澁滯ナク敏活ナラシメンカ爲輸送軍隊ハ客車貨車ノ積載量ヲ遺漏ナク使用シテ所要車輛ノ節約ニ勉ムルコト緊要ナリ然レトモ此要求ニノミ副ハンコトニ專心シテ過度ニ搭載スルトキハ運行其他ニ障礙ヲ來スコト在ルヲ以テ鐵道係員ノ區處スル所ニ從フヘキモノトス

鐵道ノ輸送力

鐵道ノ輸送力ハ一列車ノ軸數及輸送時間内ニ於ケル列車ノ運轉回數ニ關スル

モノトス
列車ノ軸數

列車ノ軸數ハ機關車ノ牽引力及軌道ノ狀態ニ依リ差異アリ本邦ニ在リテハ列車ノ軸數ハ機關車ノ牽引力ニ依リテ規定セラレ旅客列車ハ普通軌道ニ於テハ七十、廣軸軌道ニ於テハ百十軸ヲ以テ最大限トス

機關車ノ牽引力ハ汽力又ハ附著力(重量ト附著係數トノ乘積)ニ依リテ算定スルコトヲ得ルモノトス汽力ニ依ル牽引力ハ附著力ニ依ル牽引力ニ比シ通常大ナルモ機關車ノ附著力小ナルトキハ働輪ハ軌條上ニ滑轉若ハ空轉シテ大ナル牽引力ヲ生スルコト能ハサレハナリ

列車ノ運轉回數

一定時間内ニ於ケル列車ノ運轉回數ハ主トシテ列車ノ速力軌道ノ單複隣接停車場間ノ距離等ニ關係ス

列車ノ速力ハ機關車ノ構造線路ノ景況列車ノ重量ニ依リテ差異アリ本邦其他一、二鐵道線ノ之カ概數ヲ示セハ左ノ如シ

列車運行速度表

線路	急行列車	旅客列車	混合列車	貨物列車	軍用列車
東海道線	二八、八	一九、七	一七、九	一二、一	一一、一
東北線	二二、七	一九、〇	一五、三	九、九	一〇、五
京釜線	二八、八	—	一六、二	一二、三	一五、六
京義線	二二、一	—	一五、五	一四、七	一六、三
南滿線	二二、八	一八、六	—	一〇、〇	九、五
東清線	二二、八	一三、七	九、三	七、三	七、六
彼得堡—ワルシャウ	二五、〇 三一、二	二〇、〇 二五、〇	一六、八 二〇、〇	八、一 一〇、〇	九、三 一〇、三

軍用列車ハ通常貨物列車又ハ混合列車ノ速度ヲ標準トスルモ戰時ニ在リテ線路不熟練ノ列車員ヲ以テ平時ノ人員ヲ増加スル場合ニ於テモ尙ホ運轉ノ正確ヲ期スル爲此速度ヨリモ若干減少セシメサルヘカラス本邦内地ノ鐵道ニ在

リテハ一時間ノ平均速度(途中ノ給養其他機關車ノ交換炭水ノ補給等稍長キ停止時間ヲ含ム)ヲ約二十吉米トス

複線軌道ニ在リテハ區域距離運轉ヲ爲ス場合ニハ列車ノ速度隣接兩停車場間ノ距離ニ依リテ略運轉回数ヲ決定シ得ヘシ又時間距離運轉ノ場合ニハ前後二列車ノ距離ヲ十五分又ハ十分トスレハ一時間ニ四又ハ六列車ヲ出發セシメ得ヘシ

單線軌道ニ於ケル列車ノ運轉回数ハ複線軌道ノ區域距離運轉ノ場合ニ比シ約二分ノ一ト概定スルヲ得但シ輸送ノ目的ニ依リ連續一方向ニノミ列車ヲ運轉スルトキハ前述ノ複線軌道ニ準シ回数ヲ定ムルコトヲ得ヘシ

列車組織表及發著時刻表
 軍隊輸送ニ在リテハ線路ノ狀態輪轉材料ノ多寡運轉能力等ヲ顧慮シ動員若ハ集中計畫ニ基キ先ツ列車組織表(左表)ヲ調製ス此表ニハ列車ニ搭載スル各部團隊ヲ區分シ之ニ屬スル人馬材料ノ員數ヲ掲ケ之カ搭載ニ要スル車輛ノ種類及員數ヲ示スモノトス

第 軍集中輸送列車發着時刻表

列車記号 停車場石	A P 間				備考
	(乙)	(丁)	(寅)	(戌)	
A 發			9 50		至ル迄ノ夜間ノ時刻ヲ示ス。 横線ヲ附シタルモノハ午後六時ヨリ翌日午前五時五十九分ニ 時刻ヲ示ス数字ノ大字ハ時ヲ、小字ハ分ヲ示シ其ノ分ノ下方ニ
B	2 35	1 02	—		
C	2 46 2 53	1 13 1 45	—		
D	3 20 3 50	2 23 3 05	—		
E	6 02 6 14	5 53 6 03	11 18 11 21		
F	7 31 7 45	7 23 7 36	12 10 12 36		
G	8 23 8 53	8 14 9 00	1 14 2 15		
H	10 56 12 25	11 03 12 00	4 20 5 20		
I	2 36 3 10	1 40 2 30	6 54 7 07		
J	7 05 8 16	5 28 6 15	9 28 9 40		
K	9 29 9 43	7 28 7 38	10 41 10 46		
L	12 07 12 55	10 11 11 28	12 54 1 10		
M	2 50 3 20	1 21 1 51	2 33 2 41		
N	4 50 6 15	3 20 4 30	3 54 4 06		
O	8 08 9 10	6 36 8 00	5 42 5 50		
P 着	10 04	8 55	6 29		

戰時師團(輜重ヲ含ム)ノ輸送

戰術上ノ願慮ナキトキ戰時編制ノ一師團(輜重ヲ含ム)ヲ輸送スルニ狹軌道ニ在リテハ約八十二列車、廣軌道ニ在リテハ約四十二列車ヲ要ス。今之ヲ一晝夜二十四時間ニ十列車ヲ發車シ得ルモノト假定セハ九乃至五日間ヲ要スルコトトナル故ニ既ニ述フル如ク大兵團ノ鐵道輸送ハ遠大ナル行程ニアラサレハ反テ徒步行軍ヨリ迅速ナラサルモノタルヲ知ルヲ得ヘシ

鐵道ノ積載量

參考ノ爲前々野外要務令ニ依リ軍隊輸送ニ供用スル客車(ボギー式ヲ含マス)及貨車ノ一輛ニ搭載シ得ヘキ平均數ヲ左ニ掲記ス

- 將校同相當官 二十四人
- 下士兵卒 四十人
- 横臥スル患者 六乃至十人
- 踞牀スル患者 二十乃至三十人

馬匹

六頭(看守兵二若ハ三人ヲ含有ス)

野砲材料

砲車二輛或ハ砲車一輛ト彈藥車一輛或ハ彈藥車二輛或ハ豫備品車一輛ト彈藥車二分ノ一

山砲材料

三十駄分

架橋材料

十六輛分

荷物

五十駄若ハ二十五輛分

輜重車輛(空車)

三十五輛

架橋材料電信材料用車輛(空車)十六輛

故ニ車輛ノ容積若クハ搭載力ヲ遺漏ナク使用シ軍用一列車、機關車、緩急車ヲ除キ二十一輛(四十二軸)ニ搭載シ得ル概數ハ左ノ如シ

步兵

旅團司令部(若ハ聯隊本部)及一大隊(二中隊及大行李ヲ除ク)
二中隊、大隊大行李

騎兵

旅團司令部(若ハ聯隊本部)及二小隊
一中隊(二小隊ヲ除ク)

野砲兵

旅團司令部(若ハ聯隊本部)又ハ大隊本部(並一中隊ノ中隊段列及大行李)
一中隊(中隊段列及大行李ヲ除ク)

聯隊段列ノ三分ノ一

山砲兵

聯隊本部(若ハ大隊本部)及二中隊ノ中隊段列
一中隊(中隊段列ヲ除ク)

聯隊段列ノ三分ノ一

工兵

大隊本部及一中隊並二中隊ノ大行李
二中隊(各大行李ヲ除ク)

衛生隊

本部及擔架一中隊

架橋縱列 三分ノ一

第三百九十七 長遠ナル距離ニ於ケル軍除輸送ニ在リテハ人馬衛生上ノ顧慮ヨリ一旦途中ニ於テ下車シ休養ノ後更ニ輸送ヲ繼續スルコトアリ

途中ノ休養

長遠ナル距離ノ輸送ヲ爲ストキハ給養停車場ニ於テ多少ノ休養ヲ爲スト雖連日之ヲ繼續スルトキハ大ニ疲勞ヲ感スルヲ以テ一旦途中ニ於テ下車シ人馬ノ休養ヲ爲ササルヘカラサル場合アリ此場合ハ殊ニ衛生上ヨリ出テタル顧慮ナルヲ以テ成ルヘク適當ナル運動ヲ行ハシメ座臥ヨリ生シタル勞苦ヲ慰セシメ以テ休養ノ目的ヲ達セシムル如ク勉ムルヲ要ス

第三百九十八 軍隊ハ發車ヲ遲延セシムヘキ原因ヲ惹起シ或ハ發車時刻ヲ遲延スヘキ請求ヲ爲ス可カラス
大ナル輸送ニ在リテハ殊ニ豫定ノ運行計畫ヲ遵守スルコト最モ緊要ナリトス故ニ若シ運行上ニ遲滯ヲ生シ之ヲ回復スル爲メ已ムヲ得サルトキハ當ニ普通ノ停車時間ノミナラス給養ノ爲メノ停車時間ヲ短縮シ或ハ之ヲ全廢スルコトアリ此等ノ場合ニ在リテハ輸送指揮官ハ勉メテ鐵道係員ノ業務執行ニ便宜ヲ與フヘシ

鐵道輸送ニ就テ軍隊ノ注意

日露戰役ニ於テモ往々帽、屬具甚シキハ刀劍ヲ忘却シ電信ヲ以テ取調ル等大混雜ヲ惹起シ或ハ蹴僻馬ヲ搭載スル爲豫定ノ時間ヲ經過シ又ハ本令規定ノ時間前

ニ來ラス爲ニ搭載ニ遲レタルカ如キコト在リ是等總テ發車ヲ遲延セシムル原因ナカラシムル爲輸送部隊ニ於テハ注意ヲ倍徒シ決シテ幹部ヲシテ發車時刻ヲ遷延スル請求ヲ鐵道係員ニ爲スカ如キコトアルヘカラス否決シテ之ヲ許ササルナリ蓋シ大輸送ニ在リテ運行計畫ヲ變更スルハ爾後ノ豫定ニ大錯誤ヲ生スルヲ以テ若運行時間ノ齟齬ヲ來ストキハ停車時間ニ於テ之ヲ補ヒ決シテ全般ノ運行時間ヲ削減スルヲ許サス故ニ軍隊ハ決シテ鐵道係員ノ業務ヲ妨碍セサルヲ要ス

第三百九十九 敵ニ接近セル地ニ於テ軍用列車ヲ運行スルトキハ輸送指揮官之ヲ必要ト認ムレハ將校或ハ下士ヲシテ機關車ニ乗ラシメ若ハ列車長(上級車掌)ト同車セシムルコトヲ得是レ敵情ヲ監視シ若ハ敵ノ來襲ニ對シテ迅速ニ之ニ應センカ爲ナリ而シテ此ノ如キ敵情ニ遭遇スルハ必シモ敵ニ接近セル地ノミニ限ラス即チ日露ノ役沙河對陣中我軍隊ヲ搭載シテ北進ノ列車カ海城附近ヲ運行ノ際突然敵ノ騎砲

兵ヨリ射撃ヲ受ケタル如キハ其一例ナリ即チ列車ノ運行ニ就テ輸送部隊カ之ニ干與スルハ單ニ此ノ如キ時機ノミナリトス

本文ニアル列車長トハ當該列車ニ附屬セル上級車掌ニシテ運輸長ノ指揮ヲ受ケテ列車ノ運轉及輸送ノ業務ヲ執行シ車内ノ秩序ヲ保持スルノ責ニ任ス即チ列車ノ出發ノ合圖ヲ機關手ニ傳ヘ列車ノ停止ヲ命ス運行中ハ運轉ニ關シ異狀ナキカラ常ニ注意シ制動機ノ取扱ニ任シ機關手ノ注意ヲ要スルコト在ルトキハ正規ノ合圖ヲ爲シ且ツ乗員ヲシテ諸規程ヲ遵守セシムルニ在リ

第四百 各部隊長ハ軍用輸送券ヲ各輸送指揮官ニ交付ス此輸送券ニハ輸送スヘキ人馬材料ノ種類、數量、發着停車場、同時刻等ヲ記載スヘキモノトス
軍用輸送ニ軍用列車ヲ用フルトキハ軍用列車發着時刻表若クハ其抄録ヲ輸送指揮官ニ交付ス此時刻表ニハ乗下車停車場、永ク駐止スヘキ停車場及給養停車場ニ於ケル發着時刻並ニ必要ナル說明ヲ記載スヘキモノトス

軍用輸送券

鐵道軍用輸送券ニ關スル詳細ハ『鐵道軍事輸送規程』成規類聚第十四類ニ掲ケ

ラレ在ルヲ以テ茲ニ之ヲ省略ス

軍用列車發着時刻表

軍用列車發着時刻表ハ既ニ第三百九十六ノ條下ニ掲クルカ如シ本表ニハ輸送部隊ノ乗下車停車場、永ク駐止スヘキ停車場及給養停車場ニ於ケル發着時刻並ニ必要ナル說明ヲ記載シ在ルモノトス

二 乗下車

第四百一 軍隊ハ停車場司令官ノ規定スル所ニ從ヒ自ラ乗下車ヲ行フモノトス

軍隊ノ乗下車法

軍隊ハ兵員ノ外馬匹車輛、駄馬、材料等ヲ有スレトモ驛夫ヲ使用セス皆軍隊自身ニ鐵道ノ乗下車ヲ行ハサルヘカラス即チ集合場、積載場、馬繫場等ヲ停車場司令官ト打合セ鐵道驛員及停車場司令部員ノ業務ヲ障礙セス人員、車馬、材料ヲ適當ニ指

定ノ時間内ニ澁滞ナク混雜ナク搭載若ハ卸下セサルヘカラス之カ爲各部隊各箇各別ノ敏速ヲ圖ルハ却テ其統一ヲ害スルノ嫌ヒ在ルヲ以テ總テ停車場司令官ノ規定スル細密ノ規定ニ準據シ決シテ變更セサルヲ可トス即チ豫メ停車場司令官ト協議ヲ爲スヲ必要トスル所以ナリ

第四百二 輸送指揮官(時宜ニ依リ代理者ヲ以テスルコトヲ得)ハ輸送實施前乗車停車場ニ到リ停車場司令官ヨリ乗車ニ關スル諸件即チ集合場、乗降場、交通路、軍隊ノ到着時刻、警戒法、使役兵、準備セル列車ノ編成其他特別規定ニ就テ指示ヲ受ケ之ニ基キ乗車ニ關スル部署ヲ定ムルモノトス而シテ乗車スヘキ人馬材料ニシテ豫定ノ數量ニ差違ヲ生セシトキハ此際之ヲ停車場司令官ニ通報スルヲ要ス
大部隊ノ輸送ニ在リテハ時宜ニ依リ高等司令部ヨリ所要ノ職員ヲ乗下車停車場ニ差遣シ置キ停車場司令官ト協同シテ逐次到着スル部隊ニ指示ヲ與フルヲ便トスルコトアリ
第四百三 輸送指揮官ハ將校若クハ下士ヲ以テ人員、馬匹、材料ノ三種ノ搭載(卸下)掛

乗車前ノ輸送指揮官及乗下車停車場ニ於ケル

高等司令部員

上述ノ如クナルヲ以テ輸送指揮官ハ輸送業務ノ進捗其宜シキヲ得ル爲自ラ或ハ某將校下士ニ命シ豫メ乗車停車場ニ到リ軍隊到着ト共ニ又銃線、馬繫場、砲廠、行李置場等所要ノ設備ヲ停車場司令官ノ指示ニ從ヒテ區處シ到着ト同時ニ警戒兵及使役兵等ノ員數ヲ指命シ且ツ乗車ニ關スル車輛ノ配當運搬ニ要スル使役兵ノ區分等ヲ爲ササルヘカラス若人馬材料ニシテ豫定ノ數量ニ差違アルトキハ直ニ之ヲ停車場司令官ニ通報シ車輛ノ増減ヲ請求スルヲ要ス輸送指揮官ハ搭載ニ關スル業務ヲ自カラ執行スル能ハサルトキハ代理者ヲシテ處辨セシムルヲ得
其他大部隊ノ輸送ニ在リテハ通常師團司令部等ヨリ所要ノ職員ヲ派遣シ乗下車停車場ニ於ケル停車場司令官ト協同動作シ逐次ニ到着スル部隊ニ指示ヲ與ヘ以テ輸送萬般ノ業務ニ遺漏ナキヲ期スルヲ要ス

搭載、卸下ニ關スル業務ノ分配

輸送指揮官若ハ代理者ハ自ラ搭載卸下ニ關スル萬般ノ業務ヲ管掌スルノ暇ナキヲ以テ先ツ人員馬匹材料ノ三大別ニ區分シ集合場乗降場交通路等ニ關シ交叉混雜ナキヲ期スヘシ故ニ停車場ニ在リテハ此等分任ノ將校下士ハ軍隊到著前(少クモ軍隊到著ト同時)ニ停車場司令官ト協議シ又卸下停車場ニ在リテハ軍隊卸下前該官ノ指示ニ從ヒ諸般ノ卸下ヲ圓滿敏活ナラシメサルヘカラス

第四百四 輸送スヘキ人馬材料ヲ乘降場ニ誘致スヘキ時刻ハ其乘車ニ要スル時間

ノ長短ニ依リテ異ルモノトス而シテ此時間ノ長短ハ一ニハ兵種材料及其多少ニ從ヒ一ニハ乘車スヘキ場所ト之ニ用フル材料ノ多少トニ從フモノトス何レノ場合ニ在リテモ此時間ハ勉メテ短少ナラシムルヲ要ス

軍用一列車ノ乘車ハ左ノ時間内ニ行ハシムルモノトス

- 徒歩兵 一時間
- 騎兵 一時三十分間
- 砲兵 二時間
- 輜重 二時三十分間

乘車ヲシテ迅速且ツ容易ナラシメンニハ一列車ノ全車輛ヲ聯置シ各車同時ニ一個ヨリ之ヲ行フチ可トス(下車ニ在リテモ亦同時ニ一個ヨリスヘシ)乘降場ノ短小ナル

爲メ列車ヲ分ツノ已ムヲ得サル時ト雖モ一列車ヲ人員馬匹材料ノ三部ヨリ多ク分割セサルヲ通常トス
軍用列車ハ遅クモ發車五分前ニ於テ搭載ヲ終ルヲ要ス
第四百五 非常ニ際シ途中ノ停車場又ハ停車場外ニ於テ俄ニ下車ヲ要スルコトアルヲ以テ軍用列車ニハ要スレハ急造斜坡ノ材料ヲ携行セシムルコトアリ

人馬材料ヲ乘降場ニ誘致スル時間

徒歩兵ハ銃ト背囊ノミナルヲ以テ之カ搭載卸下ハ多クノ時間ヲ要セス約十分強ニテ十分ナリト雖其行李ニハ多少ノ材料馬匹アルヲ以テ之カ搭載時間ヲ顧慮シテ乘降場ニ誘致セサルヘカラス此ノ如キ乘降場ニ到著スル時間ハ搭載ニ要スル時間ノ多少ニ依リテ差違アリ即チ搭載スヘキ兵種材料ノ多少並乘降場ノ設備及其場所ノ關係ハ此時間ヲ左右ス孰レノ場合ニ於テモ極メテ短少ナル時間内ニ乗下車ヲ終ルヲ要ス故ニ本令ハ此時間ヲ本文ノ如ク規定セリ蓋シ馬匹材料ハ唯車輛ニ搭載スルヲ以テ足レリトセス尙ホ其溢出轉傾ヲ豫防スル爲結束法ヲ施スヲ要スルヲ以テナリ要スルニ輸送セラルヘキ軍隊ハ混雜危險ヲ防ク爲發車五分

前ニ其搭載ヲ終リテ運行ノ姿勢ニ在ルヘキヲ要ス誘致時間ハ本令明示ノ如クナラサルヘカラス

本令ニ明文ナキ部隊ハ其材料ノ多寡ニ從ヒ砲兵若ハ輜重ヲ適用スルヲ要ス例ヘハ騎砲兵ハ砲兵ニ架橋縱列ハ輜重ニ準スルカ如シ而シテ僅少ノ材料ヲ有スル野戰郵便部患者輸送部ノ如キハ各步兵騎兵ニ準スルヲ可トス

總テ乗下車ヲ速カナラシムルハ一列車ノ全車輛ヲ聯置シタル處ニ於テ一側ヨリ行フテ可トス之ヲ分割スル時ト雖少クモ人員馬匹材料ノ三乘降場ヨリ多ク分割スルコトナシ

乗下車停車場ニハ豫メ乘降場ノ設備アルヲ以テ軍隊ハ之カ顧慮ヲ要セスト雖天變地異若ハ不時ノ故障ニ依リ(敵地ニ在リテハ奇襲)途中ノ停車場及停車場外地ニ於テ俄ニ下車ヲ要スル準備トシテ軍隊ハ自ラ急造斜坂ノ材料ヲ携行セサルヘカラサルコト在リ特ニ徒歩兵以外ヲ然リトス

第四百六 軍隊乘車停車場ニ到着セハ輸送指揮官ハ之ヲ停車場司令官ニ通報シ豫

メ定メタル所ニ從ヒ乘車ニ關スル命令ヲ下ス

輸送指揮官ハ搭載スヘキ人馬材料ヲ各車ニ配當ス此際若シ準備セル車輛ニ剩餘ヲ生セシトキハ其旨ヲ停車場司令官ニ通報スルモノトス

輸送指揮官ノ乘車命令

輸送指揮官ハ先行シ停車場司令官ト諸般ノ打合セラ爲シ在ルヲ以テ軍隊到着セハ直ニ乘車命令ヲ下ササルヘカラス例ヘハ步兵二中隊ト大小行李トスレハ各中隊長及大行李長ヲ集メ概ネ左ノ要旨ノ命令ヲ下ス(集合場ニ又銃若ハ集合シタルモノトス)

乘車命令

- 一 大隊(本部及二中隊欠)ハ第何號軍用列車ヲ以テ輸送ス
- 二 第一中隊ヨリ輸送衛兵トシテ下士一卒十ヲ集合場北端ニ出シ其中尉ノ指揮ヲ受クヘシ(若留守師團等ヨリ停車場衛兵ノ設ケナキトキハ此衛兵ヲ含ムモノヲ副官若ハ指名ノ將校ヲシテ要圖上ノ地點ニ配兵シ材料ノ監視人民ノ接近等

ヲ防カシム)

三 各中隊及大行李ヨリ使役兵トシテ下士一卒各十ヲ出シ搭載掛某大尉ノ指揮ヲ受クヘシ

四 搭載順序ハ大行李、小行李、人員トス其時間左ノ如シ

大行李 何時何十分ヨリ(某少尉ノ誘導)

小行李 何時何十分ヨリ(某軍曹ノ誘導)

人員 何時何十分ヨリ(某大尉ノ誘導)

但第一中隊ハ東方入口ヨリ、第二中隊ハ西方入口ヨリ

五 衛兵ハ諸隊乗車前(後)直ニ搭乘スヘシ

六 何時何十分迄停車場附近二百米以内ノ用辨ヲ許ス

七 予ハ人員ト共ニ乗降場ニ在リ乗車ハ予ノ號音ニ依ルヘシ

第四百七 搭載掛タル將校下士ハ助手及使役兵ヲ指揮シ人馬材料ヲ搭載位置ニ誘導シ其配當車輛ニ應シテ區分シ適當ノ位置ニ配列シ同時若クハ逐次ニ搭載ス但シ下士兵卒ノ乗車ニ關シテハ輸送指揮官自ラ其號令(號音)ヲ下スコトアリ

搭載掛ノ業務

搭載掛ハ輸送指揮官ノ命令ニ依リ所定ノ時限ニ於テ本令規定ノ時間内ニ人馬材料ヲ誘導乗車セシメ搭載ノ終了ヲ輸送指揮官ニ報告スルモノトス故ニ豫メ人馬材料ノ數量、品目ヲ區分シ擔任將校下士ト協議シ適當ニ使役兵ヲ指揮シ混雜喧騒ヲ防クヲ要ス

各車ノ配當ニシテ若剩餘ヲ生スルトキハ直ニ輸送指揮官ニ該官ハ之ヲ停車場司令官ニ通報スルモノトス故ニ搭載掛ハ通常輸送指揮官ト共ニ先行シ列車ノ車輛數ヲ點檢シ確定人馬材料ニ合一スル如ク打合セテ爲シ置クヲ要ス

第四百八 軍隊ニ屬スル材料ハ之ヲ無蓋貨車ニ搭載スルヲ通常トシ時宜ニ依リ有蓋貨車ヲ用フ殊ニ彈藥、爆藥其他危險品ニシテ包裝上必要ナル時ニ於テ然リトス而シテ此等危險品ノ搭載ニ在リテハ貨車積載重量ノ三分ノ二ヲ超過セシメサルヲ要ス

人馬材料ノ搭載區分

彈藥爆藥其他危險品ヲ除クノ外車輛ヲ節約シ容積及積載量ヲ遺漏ナク使用スル如ク計畫スルコトノ肝要ナル既ニ述フル如シ而シテ各車輛ハ通常左ノ如ク使用セラレモノトス

- 一 將校及准士官 一、二等客車、南滿線ニ在リテハ一等客車但シ將校ノ人員少ナキトキハ下士兵卒ト同乗セシムルコト在リ
- 二 下士兵卒 三等客車南滿線ハ二、三等客車ヲ用フ然レトモ大ナル輸送ニ在リテ客車缺乏スルトキハ有蓋貨車ヲ使用ス而シテ此ノ如キ場合ハ屢々發生スルモノトス
- 三 患者 普通客車ニ乗車シ得サル重態ノモノハ寢臺車若ハ特別ノ裝置ヲ施シタル客車ヲ用フ
- 四 馬匹 有蓋貨車ヲ用フルヲ通則トス但シ有蓋貨車不足スルカ近距離ノ輸送ニ在リテハ時トシテ特別ノ設備ヲ施シタル無蓋貨車ヲ用フルコト在リ
- 五 貴重ナル器械 電信、電話及測量器械ノ如キモノハ有蓋貨車ニ積載ス
- 六 彈藥 有蓋貨車ヲ用フ

七 其他ノ軍需品 無蓋貨車又ハ有蓋貨車ヲ用フ

而シテ是等人員、馬匹、材料ハ軍隊自ラ之ヲ搭載、卸下シ鐵道係員、役夫等ノ助力ヲ仰クヘカラス蓋シ軍隊ハ多數ノ下士卒ヲ有スレハナリ然レトモ此使役兵ハ過多ニ失シ却テ乗降ノ業務ヲ阻碍セサル如ク選抜スルヲ要ス

其搭載數量及方法ハ客車、貨車ノ構造及鐵道ノ種類ニ依リテ異ナルモノトス

第四百九 行軍ノ裝置アル砲車、無線電信車輛、氣球及野戰電燈車輛並此等ノ附屬車輛ハ其儘之ヲ搭載ス然レトモ難脫シ得ヘキ車輛即チ前車及後車等ノ如キハ通常之ヲ分離シ又輾木等ハ要スレハ之ヲ離脱スルモノトス車輛ハ悉ク密接セシメ無用ノ空隙ヲ存セシム可カラズ然レトモ之カ爲メ速ニ貨車ノ一側面ニ卸スノ便ヲ缺カサルコトニ注意スヘシ

前項ノ車輛ヲ搭載セハ木材、麻繩等ヲ用ヒテ相互ニ之ヲ締結シ又釘、錠等ヲ以テ木楔ヲ貨車ニ打著シ各車輛ノ轉動ヲ防クヘシ而シテ車側及車下ノ空隙ニハ通常當該車輛ノ附屬品及監視兵ノ荷物並急造斜坂ノ材料ヲ搭載スルモノトス

輾重車輛ハ通常之ヲ分解シ其他ノ材料ハ包裝ノ儘搭載スルモノトス

行軍ノ裝置アル砲車、無線電信車輛、氣球及野戰

電燈車輛並是等附屬車輛ノ搭載法

車輛ヲ搭載スルニ方リテハ特ニ各車ノ容積及搭載力ヲ遺漏ナク使用シ以テ列車ノ短縮ヲ圖ルヘキ要旨ニ基キ勉メテ各車輛ヲ密接シテ無用ノ空隙ヲ存セサル如ク搭載スヘシ之カ爲行軍ノ裝置アル砲車、無線電信車輛、氣球及野戰電燈車輛並ニ是等ノ附屬車輛ハ其儘之ヲ搭載ス然レトモ離脱シ得ヘキ車輛即チ前車及後車等ノ如キハ通常之ヲ分離シ又轆木等ハ要スレハ之ヲ離脱スヘシ此際卸下ニ際シ速ニ貨車ノ側面ニ卸スノ便ヲ缺カサルコトニ注意スヘシ

前項車輛ヲ搭載セハ木材、麻繩等ヲ用ヒテ相互ニ締結シ又釘錠等ヲ以テ木楔ヲ打著シ各車輛轉動ヲ防クヘシ而シテ容積及搭載力節約ノ爲車側及車下ノ空隙ニハ通常當該車輛ノ附屬品及監視兵ノ荷物並急造斜坂ノ材料ヲ搭載スルモノトス輻重車輛ハ通常之ヲ分解シ其他ノ材料ハ包裝ノ儘搭載スルモノトス

第四百十 火災ノ虞アル物品ヲ搭載セル無蓋貨車ニハ覆ヲ用ヒ要スレハ束葉ヲ浸シタル水桶ヲ備ヘ以テ機關車ヨリ飛散スル火片ニ因リテ生スル火災ニ備ヘ又必要

ノ場合ニハ進行中車上ニ監視兵ヲ置クヘシ

火災ノ虞アル物品ノ搭載法

火災ノ虞アル物品ヲ無蓋車貨ニ搭載スルトキハ覆ヲ用ヒ水桶ヲ準備シ之ニ束葉ヲ侵シ汽關車ヨリ飛散スル火片ヲ撲滅スルヲ要ス又要スレハ消火器ヲ備ヘ蕪秫類ノ燃燒ヲ豫防スヘシ而シテ火藥、爆藥類ハ此豫防法ヲ以テ満足セス必ス有蓋貨車ニ積載シ且ツ成ルヘク客車及普通火災ノ虞アル物品ト離隔スヘシ

以上兩者共運行、停車中各監視兵ヲシテ看守セシムルコト在リ

第四百十一 馬匹ハ有蓋貨車ニ搭載スルヲ通常トス然レトモ已ムヲ得サルトキハ必要ノ設備ヲ加ヘタル無蓋貨車ニ搭載スルコトアリ

馬匹ハ其保護上有蓋貨車ニ搭載スルヲ本則トシ若有蓋貨車ノ缺乏若ハ占領鐵道等ニ在リテ已ムヲ得サル場合ニ於テハ無蓋貨車ニ搭載スルコト在ルモノトス然ルトキハ柁ヲ作り之ニ繫留スル如クスルヲ可トス

第四百十二 馬匹ハ貨車ノ大小及型式ノ如何ニ從ヒ馬體ヲ軌道ト直角或ハ平行ナ

ラシムル如ク搭載シ各車ニ看守兵ヲ置ク其人員ハ車輛ノ大小、餘積ノ多少ニ依リ之ヲ定ムルモノトス

馬匹ノ搭載ニ際シテハ豫メ鞍ヲ卸シ軌具ヲ解キ搭載中ハ唯勒ヲ衛マシム而シテ貨車ノ入口ニ踏板ヲ架シ成ルヘク馬匹ヲ驚怖セシメサル如ク牽キ入レ馬頭ヲ高ク繫クヘシ全部ノ搭載終レハ馬栓棒胸板又ハ張綱ヲ裝シ然ル後車ノ空積ニ運行中使スヘキ荷秣、麥糞、水糞並馬裝具及看守兵ノ携帶品ヲ收容シ車扉ハ僅ニ餘隙ヲ存スル如ク之ヲ閉鎖シ運行中馬匹ノ安靜ナル時ノミ一方ノ扉ヲ徐ク開クコトヲ得又馬匹ノ沈靜ナルニ至レハ緊張シタル繫索ハ漸次之ヲ弛ムヘシ

無蓋貨車ニ馬匹ヲ搭載セルトキハ運行中車内ニ糞ヲ置クヲ禁ス唯直ニ與フヘキ干草ヲ結束シテ備フルノミトス又此場合ニハ馬裝具等ハ他ノ車輛ニ搭載シ以テ濕潤ヲ防クヘシ

短時間ノ輸送ニ在リテ要スレハ乘馬、鞍馬ハ裝具ヲ著ケタル儘搭載スルコトヲ得

馬匹ノ鐵道輸送法及衛生

馬匹ノ鐵道輸送ハ概ネ左ノ注意ヲ取ルヲ要ス

- 一 搭載前ニハ鞍ヲ卸シ軌具ヲ解キ而シテ必ス蹄鐵ヲ檢シテ釘ノ弛緩スルモノヲ縮ムヘシ

- 二 馬匹ハ普通ノ貨車ニテハ一車輛ニ六頭ヲ入ルルヲ通規トス其配置ハ各側筐ニ三頭宛ニシテ中央ノ空隙ニ相對セシム
 - 三 乗車ハ神速安全ニシテ時間ヲ徒費セサルヲ要ス若乗車ヲ嫌フトキハ食物ヲ示シテ誘導スルカ二三ノ鞭撻ヲ加フルカ若ハ遠方ニ於テ兩眼ヲ蔽ヒ聲ヲ掛ケツツ靜ニ誘導スルカ若ハ補助兵兩名後方ヨリ尾根ヲ上舉シテ馬體ヲ前方ニ推進スルカ否ラサレハ平打索ヲ臂後ニ纏ヒテ之ヲ牽引セシムヘシ
 - 四 車内ニハ適量ノ藁藁ヲ敷設シ而シテ沍寒凜烈ノ時季ニ在リテハ成ルヘク多量ノ藁ヲ堆積シテ四肢ヲ溫暖ナラシムルヲ要ス又尾ノ擦傷ヲ防クハ布片ヲ以テ尾根ヨリ尾毛ヲ纏絡スルヲ可トス
 - 五 乗車終レハ速ニ戸ヲ閉鎖シ胸前ニ綱ヲ張り或ハ橫木ヲ設ケ荷秣、鞍具、麥糞及水與器、看守兵ノ携帶品等ヲ中間ノ空隙ニ置クヘシ
- 馬若車内ニテ騷擾スルトキハ厩衛兵ハ該馬ノ前ニ立チテ其勒ヲ取り慰撫シ少量ノ秣ヲ與ヘ以テ馬ヲシテ其不慣ノ場所ニ安心セシムヘシ而シテ運行沈靜ナルニ至リ厩衛兵ハ其座席ニ就クモノトス

六 車内ノ換氣ハ車輛ノ構造ト氣候トニ依リテ一様ナラス夏季ニ在リテハ換

氣孔ヲ全ク開放シ且ツ戒心シテ入口ノ戸ヲ開キ以テ新鮮ノ大氣ヲ通セシム

ヘシ然ラサレハ腦及肺ノ充血ヲ來シ斃馬ヲ生スルヲ以テナリ冬期ハ之ニ反

シ停車間入口ヲ開キ換氣セシムヘシ

七 輸送中ハ停車時間ノ最モ長キ所ニ於テ麥ヲ與フヘシ其日量ハ行程ノ長短

ニ拘ハラス定量ノ半減トシ秣ハ定量ヲ給シ列車運行中厩衛兵ヲシテ之ヲ分

與セシム

八 飲水ハ十二時間以上ノ輸送ニ在リテハ便宜ノ停車場ニ於テ爲サシメ爲シ

得レハ少量ノ穀ヲ混スヘシ

九 非常ノ場合無蓋貨車ニテ馬匹ヲ輸送スルトキハ警怖ト風雨ニ曝露スルヲ

以テ豫メ相當ノ準備ヲ施スヲ要ス而シテ火災豫防ノ爲藁ヲ置クコトヲ嚴禁

ス又馬裝具等ハ別車ニ搭載シ濕潤ヲ防カサルヘカラス

十 短時間ノ輸送ハ馱馬ヲ除キ著裝ノ儘搭載スルヲ得

第四百十三 將校下士兵卒ハ客車若クハ有蓋貨車ニ乗車セシム然レトモ已ムヲ得
サルトキハ無蓋貨車ヲ用フルコトアリ

鐵道輸送ニ於テハ凡テ人員ハ客車ヲ用ヒ場合ニ依リテハ有蓋貨車ヲ用フルモ
ノトス而シテ客車貨車ノ缺乏若ハ占領鐵道等ニ在リテ已ムヲ得サルトキハ無蓋
貨車ヲ用フルモノトス(二〇一頁人馬材料ノ搭載區分參照)

第四百十四 下士兵卒ハ輸送指揮官若クハ搭載掛ノ下ス「乗車」ノ號令若クハ「前ヘ」ノ
號音(停車場内ニ於テハ小)ニ依リ靜肅迅速ニ且ツ順序正シク乗車スルモノトス而シ
テ乗車前背囊(背負袋)ヲ脱ス武器及脱シタル裝具ハ車輛ノ種類、入口ノ大小及車内設
備ノ如何ニ應シ或ハ各人携帶乗車シ或ハ使役兵ヲ用ヒテ先ツ之ヲ搭載ス
第四百十五 輸送指揮官ハ列車中ノ車ヲ各將校ニ配當シ輸送中ノ力監視ニ任セシ
ム此將校ハ配當セラレタル各車若クハ其車中ノ各室毎ニ高級故參者ヲ以テ班長ト
爲シ之ニ取締ヲ命シ又下士兵卒ニ各自ノ乗車セル車輛ヲ記憶セシムヘシ

乗車ニ關シ輸送指揮官ノ處置

輸送指揮官ハ既ニ述フル如ク下士兵卒ヲ搭載掛ヲシテ搭載位置ニ誘導シ其配

當車輛ニ應シテ區分シ適當ノ位置ニ排列セシム下士卒ノ乗車ニ關シテハ輸送指揮官(若ハ搭載掛)ノ下ス「乗車」ノ號令若ハ「前」ノ號音ヲ以テ乗車ヲ命ス此ニ於テ各人ハ靜肅迅速ニ且ツ順序正シク乗車ス而シ乗車前卸脱シタル背囊裝具ハ各人ヲシテ携帶乗車セシメ若ハ使役兵ヲ用ヒテ搭載スルカハ車輛ノ種類入口ノ大小及車内ノ設備如何ニ依ルモノトス

輸送指揮官ハ列車中ノ車ヲ各將校ニ配當シ輸送中之カ監視ニ任セシム此將校ハ配當セラレタル各車若ハ其車中ノ各室毎ニ高級故參者ヲ以テ班長ト爲シ之ニ取締ヲ命シ停車間ハ自カラ出テテ各車ヲ巡視ス喫食兩便等一時下乗シ再ヒ乗車ニ際シテ錯誤ナカラシムル爲下士卒ニハ各自ノ乗車セル車輛番號ヲ記憶セシムヘシ

第四百十六 輸送指揮官ハ通常下車停車場ノ前ニ於ケル最後ノ停車時ニ於テ下車準備ニ關スル件ヲ命ス然レトモ馬匹ハ其緊索ヲ解カス材料モ亦依然動カス可カラ

下車停車場ノ前ニ於ケル下車準備

驛長若ハ車掌ハ下士卒ノ一般ニ下車シ得ヘキ停車場ヲ其直前ノ停車場ニテ輸送指揮官ニ申告スルヲ要ス此ニ於テ輸送指揮官ハ一般ニ之ヲ豫告シ速ニ下車シ得ル如ク準備ヲ爲サシム然レトモ到着點ニアラサル下車停車場ハ勿論最後ノ停車場ト雖馬匹ハ其緊索ヲ解カス材料モ亦依然其儘ニ爲シ置クヲ要ス
下車停車場ハ十分以上停車ノ停車場ニシテ若普通列車ニテ少數ノ兵員ヲ輸送スルトキハ一般人民ノ下車スル停車場ニ於テ下車セシムルコトヲ得

第四百十七 軍用列車下車停車場ニ到着スレハ輸送指揮官ハ停車場司令官ノ規定スル所ニ基キ下車ニ關スル命令ヲ下ス而シテ卸掛ハ此命令ニ從ヒ各擔任セル卸

下ヲ實施ス
將校衛兵及使役兵ヲ第一ニ下車セシム此使役兵(要スルトキハ急造斜坂ノ材料ヲ携フ)ハ馬匹及材料ヲ卸スヘキ位置ニ到ルヘシ而シテ後「下車」ノ號令若クハ「前」ノ號音ヲ以テ下士卒ヲ下車セシム
馬匹ノ卸ニ際シテハ其貨車ノ下車點ニ停止シタル後ニ非サレハ車扉ヲ開ク可カ

ラス又反對側ノ車扉ハ必ス閉鎖シアルヲ要ス而シテ先ツ貨車ノ入口ニ踏板ヲ架シ車内ノ諸物品ヲ卸シ馬栓棒、胸板又ハ張綱ヲ除キタル後馬匹ヲ卸シ馬具ヲ裝スヘシ卸下シタル乗馬ハ其集合場ニ、鞍馬ハ其繫駕又ハ駄載スヘキ物品ノ所在ニ之ヲ誘導ス又車輛ヲ卸下セハ之ヲ遠ク轉キ去リ其他ノ諸材料モ亦成ルヘク速ニ之ヲ搬致シ以テ乗降場ヲ空虚ナラシムルコトニ注意スヘシ

下車ニ要スル時間ハ兵員ノ下車及隊列ヲ整フル爲メニ十分乃至十五分間、各車同時ニ卸下スルニ馬匹ハ十分乃至二十分間、材料ハ二十分乃至四十分間ヲ以テ標準トス而シテ騎兵、砲兵及輜重ニ在リテハ其列ヲ整ヘ駄載、積載、繫駕等ヲ爲シ以テ停車場若クハ集合場ヲ去ルニ至ル迄ニ更ニ十分乃至三十分間ヲ要スヘシ

輸送指揮官ハ下車ニ澁滞ナク且ツ停車場ヲ速ニ退去スル爲メ百般ノ手段ヲ採ルヘシ殊ニ大ナル輸送ニ於テハ此注意ヲ極メテ緊要ナリトス

下車ニ際シ輸送指揮官ノ處置

軍用列車下車停車場ニ到着スレハ輸送指揮官ハ停車場司令官ノ規定スル所ニ基キテ下車及人馬車輛ノ整列場並其下車及整列ノ爲ノ監視警戒等ニ關シ適當ノ命令ヲ下ス此ニ於テ卸下掛ハ此命令ニ從ヒ各擔任セル卸下業務ヲ實施ス

輸送指揮官ハ下車ニ澁滞ナク且ツ停車場ヲ速ニ退去スル爲メ百般ノ手段ヲ取ル

ヘシ殊ニ大輸送ニ在リテハ此注意極メテ緊要ナリトス蓋シ卸下澁滞シ停車場内尙ホ先著軍隊ノ去ラサルニ先チ既ニ後續列車到着下車スルカ如キコト在ランカ其混雜ハ獨リ此軍隊ニ止マラス延テ逐次後續列車ハ勿論復行列車ニ餘波ヲ及ホシ遂ニ大害ヲ醸スコトナキヲ保セス須ラク一般將校下士卒ヲ通シテ戒飭セサルヘカラサルコトナリトス

軍隊卸下ノ方法

第一ニ將校、衛兵及使役兵ヲ下車セシム此使役兵(要スルトキハ急造斜坂ノ材料ヲ携フ)ハ馬匹及材料ヲ卸スヘキ位置ニ到ルヘシ而シテ後「下車」ノ號令若ハ「前ヘ」ノ號音ヲ以テ下士卒卒ヲ下車セシム

次ニ馬匹ヲ卸下セシム此卸下ニ際シテハ其貨車ノ下車點ニ停止シタル後ニアラサレハ車扉ヲ開クヘカラス又反對側ノ車扉ハ必ス閉鎖シ在ルヲ要ス而シテ先ツ貨車ノ入口ニ踏板ヲ架シ車内ノ諸物品ヲ卸シ馬栓棒、胸板又ハ張綱ヲ除キタル後馬匹ヲ卸シ馬具ヲ裝スヘシ卸下シタル乗馬ハ其集合場ニ、鞍馬ハ其繫駕又ハ

歌載スヘキ物品ノ所在ニ之ヲ誘導ス

次テ車輛ハ之ヲ卸セハ直ニ遠ク軌キ去リ其他ノ諸材料モ亦成ルヘク速ニ之ヲ

搬致シ以テ乗降場ヲ空虛ナラシムルコトニ注意スヘシ

以上ノ爲下車ニ要スル時間ハ兵員ノ下車及隊列ヲ整フル爲ニ十分乃至十五分

間、各車同時ニ卸スルニ馬匹ハ十分乃至二十分間、材料ハ二十分乃至四十分間ヲ

以テ標準トス而シテ騎兵、砲兵及輜重ニ在リテハ其列ヲ整ヘ歌載積載繫駕等ヲ爲

シ以テ停車場若ハ整列場ヲ去ルニ至ルマテ更ニ十分乃至三十分間ヲ要スヘシ此

ヲ以テ觀レハ其最モ多クノ時間ヲ要スルモノハ約一時間ナリトス若夫レ卸下ノ

動作溢滞シテ尙ホヨリ以上ノ時間ヲ費スカ如キコト在ランカ大輸送ニ於ケル發

車間ノ間隔時間ハ僅ニ一時三十分間乃至二時間ヲ過キサルコト多キヲ以テ忽チ

後續列車ニ其害ヲ及ホスニ至ルヘシ是レ即チ卸下動作ノ溢滞ヲ戒告シタル所以

ナリ

第四百十八

敵ノ接近、運行ノ遮斷、危難等ノ爲メ已ムヲ得サルトキハ輸送ノ中途ニ

於テ下車ヲ爲スコトアリ

此場合ニ於テハ線路上其位置ニ直ニ下車ヲ行フヘキヤ又ハ下車ノ爲メ線路中ノ適

當ナル部分若クハ最近ノ停車場迄進行或ハ退行スヘキヤ等ハ輸送指揮官列車長(上

級車掌)ト協議シテ之ヲ決定ス

停車場外ノ高キ築堤、深キ切取、橋梁上及急斜面ノ地ニ於テハ下車ヲ爲ササルモノト

ス

非常急劇ノ場合ニ於テハ停車場外ニ於テ急造斜坂ヲ用フルコトナク下車スルコト

アルヘシ

停車場外ニ於テ下車スル方法

敵ノ接近、運行ノ遮斷、危難等ノ爲メ已ムヲ得サルトキハ輸送ノ中途ニ於テ下車ヲ

爲スコト在リ

此場合ニ於テ線路上其位置ニ直ニ下車ヲ行フヘキヤ又ハ下車ノ爲メ線路中適當

ナル部分若クハ最近ノ停車場迄進行或ハ退行スヘキヤ等ハ輸送指揮官列車長(上級

車掌)ト協議シ遮斷ノ景況、停止點附近ノ地形、危難ノ程度、敵情及最近停車場ヘノ距

離等ヲ顧慮シ以テ技術上ノ關係ト戰術上ノ要求トヲ參酌シテ處決スヘキモノト

ス

而シテ停車場外ノ高キ築堤、深キ切取、凹道、橋梁上及急斜面ノ地ニ於テハ下車ヲ爲ササルモノトス然レトモ若複線路ニシテ列車ノ一側ニ多少ノ餘地アル場合ニ於テハ情況ニ依リテハ之ヲ行フコト在ルヘシ

非常急劇ノ場合例ヘハ列車ニ火災ヲ起シ若ハ突然敵ノ奇襲ヲ受ケタルカ如キ場合ニ於テハ停車場外ニ於テモ亦急造斜坂ヲ用フルコトナク人馬材料(大ナル車輛ヲ除ク)ヲ卸下スルコト在リ此際馬匹ハ一人車外ニ立チテ馬ノ口繩或ハ洗轡ヲ握リ更ニ二人ハ兩手ヲ以テ後方ヨリ上腿部ヲ押シ馬ノ將サニ跳下セントスルヤ一舉ニ之ヲ前方ニ押シ出シテ卸下セシムルハ最モ簡便法ナリトス然レトモ此際決シテ強ヒテ牽卸スルコトナク成ルヘク馬匹ヲシテ自ラ跳下セシムル如ク誘導スルヲ可トス

三 運行中ノ心得

第四百十九 列車運行中下士兵卒ハ一般鐵道ノ規則ヲ守リ濫ニ其位置ヲ離ル可カ

ラス又車輛ノ戸口或ハ側板上ニ踏スルヲ禁ス其他馬匹及蕪秣、彈藥等火災ノ虞アル物品ヲ載セタル車中ニ於テ喫煙シ或ハ擅ニ點火スルヲ禁ス又馬運車ニ於ケル燈火ニ注意スヘシ

非常ノ危害(車輛ノ折損、火災、列車ノ分離、脱線等)ニ際シテハ先ツ之ヲ發見シタル者ハ何人ヲ論セス鐵道係員ノ注意ヲ喚起スルノ手段ヲ採ルヘシ

車窓外ニ赤布或ハ旗類ヲ出シ又ハ手腕ヲ振ルカ如キ動作ハ危害ノ信號ト誤認セラ

第四百二十 軍用列車ニ於テ兵員全般ニ途中下車ヲ許スハ十分間以上停車スル停車場ニ限ルモノトス輸送指揮官ハ軍用列車發著時刻表若クハ鐵道係員ニ就テ此等ノ停車場ヲ承知シ次ニ下車シ得ヘキ停車場名ヲ豫メ一般ニ告示ス但シ十分間以内ノ停車ノ場合ニ於テモ輸送指揮官ハ必要已ムヲ得サル者ニ限リ下車ヲ許スコトヲ得下車ヲ許スヘキ停車場ニ到着シタルトキハ輸送指揮官ハ鐵道係員ニ就テ直ニ下車セシメ得ヘキヤ發著時刻ノ變更ナキヤ等ヲ確メ先ツ各車監視將校ヲシテ停車時間再ヒ乗車スヘキ時刻及其他ノ要項ヲ指示セシメ然ル後號令若クハ號音ヲ以テ下車セシム若シ停車場衛兵ノ備ナキ場合ニ於テハ要スレハ先ツ衛兵ヲ下車セシムヘシ再ヒ乗車スヘキ時刻ニ至レハ輸送指揮官ハ乗車ノ爲メノ號令若クハ號音ヲ發ス普通列車ヲ用フル輸送ニ於テハ一般旅客ノ下車シ得ル停車場ニテ下車スルコトヲ得

第四百二十一 輸送指揮官ハ停車中將校下士ヲシテ巡檢セシメ車内ノ警頓、積載物品ノ固定、人馬ノ狀態等ニ注意セシムヘシ
長遠ナル距離ニ於ケル輸送ニ在リテハ停車中爲シ得ル限り馬ノ四肢ヲ摩擦スヘシ
就中下車前ニハ特ニ之ヲ必要トス

第四百二十二 停車場外ニ於テ列車不意ニ停止セシトキハ輸送指揮官ハ列車係員ヨリ其理由ヲ聽取シ乗車軍隊ノ秩序ヲ維持スル爲メ必要ナル處置ヲ爲スヘシ

列車中下士卒ノ遵守スヘキ規則

列車運行中下士卒ハ一般鐵道ノ規則ヲ遵守スルノ外左ノ規則ヲ遵守スヘシ

- 一 運行中濫ニ其位置ヲ離ルヘカラス
是レ整肅ヲ保チ危險ヲ豫防スル爲ナリ
- 二 車輛ノ戸口或ハ側板上ニ踞スルヲ禁ス
是レ此ノ如キハ車外ニ墜落スルノ危險アレハナリ
- 三 馬匹及薊稊彈藥等ヲ載セタル車中ニ於テ喫烟シ或ハ擅ニ點火スルヲ禁ス
又馬運車ニ於ケル燈火ニ注意スヘシ
是レ火災ノ虞アレハナリ

- 四 非常ノ危害(車軸ノ折損、火災、列車ノ分離、脱線等)ニ際シテハ先ツ之ヲ發見シタル者ハ何人ヲ論セス鐵道係員ニ注意スルノ手段ヲ取ルヘシ
是レ列車ニ往々生スル故障ナルヲ以テ本令ノ特ニ注意ヲ附セラレタル所以ナリ
- 五 車窓外ニ赤布或ハ旗類ヲ出シ又ハ腕ヲ振ルカ如キ動作ハ濫ニ之ヲ行フヘカラス
是レ危害ノ信號ト誤認セララルヲ以テナリ

輸送途中ノ下車ニ關スル各官ノ業務

軍用列車ニ於テ兵員全般ニ途中下車ヲ許スハ十分間以上停車スル停車場ニ限ルモノトス若シ輸送部隊寡少ニシテ普通列車ヲ用フル輸送ニ於テハ一般旅客ノ下車シ得ル停車場ニテ下車スルコトヲ得

輸送指揮官ハ軍用列車發著時刻表若ハ鐵道係員ニ就テ是等ノ停車場ヲ承知シ次ニ下車シ得ヘキ停車場名ヲ豫メ一般ニ告示ス但シ十分間以内停車ノ場合ニ於

ヲモ輸送指揮官ハ必要已ムヲ得サル者ニ限り下車ヲ許スコトヲ得

下車ヲ許スヘキ停車場ニ到着シタルトキハ輸送指揮官ハ鐵道係員ニ就テ直ニ下車セシメ得ヘキヤ發著時刻ノ變更ナキカ等ヲ確メ先ツ各車監視將校ヲシテ停車時間再ヒ乗車スヘキ時刻及其他ノ要項ヲ指示セシメ然ル後號令若ハ號音ヲ以テ下車セシム若停車場衛兵ノ備ナキ場合ニハ要スレハ先ツ衛兵ヲ下車セシメテ少クモ各出口ニ配布シテ下士兵卒ノ濫ニ停車場外ニ散出シ又人民ノ濫ニ場内ニ侵入スルヲ防止スルヲ要ス

輸送指揮官ハ停車中將校下士ヲシテ巡檢セシメ再ヒ乗車スヘキ時刻ニ至レハ輸送指揮官ハ乗車ノ爲ノ號令若ハ號音ヲ發ス是ニ依リテ各兵卒ハ各自速ニ乗車スヘシ

車内ノ整頓積載物品ノ固定人馬ノ狀態等ニ注意セシムヘシ長遠ナル距離ニ於ケル輸送ニ在リテハ停車中兵卒ヲシテ爲シ得ル限り馬ノ四肢ヲ摩擦セシムヘシ就中下車前ニハ特ニ之ヲ必要トス

停車場外ニ於テ列車ノ脱線、分離、火災、折損等ノ故障ニ依リテ不意ニ停止セシト

キハ輸送指揮官ハ直ニ列車係員ヨリ理由ノ如何ヲ聽取シ軍隊ノ騷擾混亂ヲ防クニ必要ナル處置ヲ爲スヘキモノトス

四 給 養

第四百二十三 大輸送ニ於ケル途中ノ給養ハ通常定メラレタル給養停車場ニ於テシ當該停車場司令官若クハ特派遣セラレタル職員其業務ヲ行フ

第四百二十四 給養停車場ニ於テハ停車場時間ヲ十分ニ與ヘ兵員ノ爲メ食堂ニ於テ温食ヲ給スルヲ通常トス

喫食ノ爲メ所要ノ停車時間ヲ得難キ場合若クハ小ナル輸送ニレテ特ニ施設ヲ爲スノ必要ナキ場合等ニ於テハ出發前若クハ途中停車場ニ於テ行厨ヲ支給シ車内ニ於テ喫食セシムル等適宜ノ處置ヲ爲スヘシ但シ食事ニ要スル湯茶等ハ適當ノ停車場ニ於テ準備スルモノトス

第四百二十五 馬糧ハ通常出發ノ際若干ヲ携帯セシメ其他ハ途中ノ停車場ニ於テ之ヲ支給ス馬匹ノ飼付及水飼ハ搭載ノ儘車内ニ於テ麥糞及水糞ヲ以テスルモノトス輸送指揮官ハ各馬ニ漏レナク且ツ十分ニ水飼ヲ爲スコトニ特ニ注意スルヲ要ス

第四百二十六 人馬ノ飲料水ハ獨リ給養停車場ノミナラス主要ナル停車場ニ於テ

モ亦之ヲ給スルモノトス暑熱烈シキ季節ニ於テハ殊ニ然リトス

輸送中ノ給養

輸送中ノ給養ハ輸送計畫ニ依リ給養停車場ニ於テ行フヲ普通トス給養停車場ハ既ニ述フル如ク約六時間行程位ノ地ニ線區司令部ノ命令ヲ以テ停車場司令部或ハ其出張所ヲ設ケテ給養諸般ノ事務ニ任セシメ糧秣倉庫、炊爨場、食堂、休憩室、厠等ヲ設備シ食器、飲馬用貯水器ヲ準備シ豫報ニ基キ溫食ヲ給スルヲ目的トスルモノニシテ輸送軍隊ハ此ニ就キ給養ヲ受クルモノトス但シ馬糧ハ之ヲ給セサルコト在ルモ給水ハ必ス十分ニ各馬ニ漏レナク之ヲ爲スコトニ特ニ注意スルヲ要ス

輸送計畫上給養停車場ニテ下車給養スルヲ得サルトキハ乗車ノ際行厨及馬糧ヲ各人馬ニ携帯セシムルコト在リ又非常準備トシテ規定外糧秣ヲ携帯セシメ或ハ特ニ列車ニ積載シテ携行セシムルコト在リ

普通列車ニテ輸送スルトキハ其兵員少數ナルヲ以テ一般旅客ノ爲ニスル辨當

販賣所ニ豫電シ準備セシメ馬糧ハ最初ヨリ携行セシムルヲ便トス

人馬ノ飲料水ハ必要缺クヘカラサルヲ以テ獨リ給養停車場ノミナラス主要ナル停車場ニ於テモ亦之ヲ給スルモノトス暑熱烈シキ季節ニ於テハ殊ニ然リトス故ニ給養停車場ハ勿論軍隊ノ停車スヘキ停車場ニ在リテハ飲料水ノ準備ニ就テハ特別ノ注意ヲ缺クヘカラサルコトナリトス

第一章 破壞修理及保全

第四百二十七 大ナル鐵道破壞ハ大本營、軍司令官若クハ獨立シテ作戰スル師團長ノ命令ニ依リ之ヲ行フモノトス而シテ之カ爲メ通常鐵道隊若クハ工兵隊ヲ使用ス時トシテ騎兵集團又ハ騎兵旅團ヲシテ此任務ニ服セシムルコトアリ

鐵道大破壞ノ權限

大ナル鐵道破壞ノ好適例トシテハ日露戰役ニ於テ第二軍司令官ノ意圖ニ基キテ第三師團長カ露軍野戰軍ト旅順要塞トノ連絡交通ヲ遮斷センカ爲決行セル鐵道破壞ノ如キハ其效果頗ル著大ナリシコトニ在リ之ニ反シ千八百六十六年ノ役

普軍第一師團カベツツワ一河ノ鐵道大破壞ノ如キハ全ク大本營及軍司令官ノ意圖ニ反セルモノニシテ之カ爲普軍爾後ノ作戰ニ不利ヲ與ヘタルコト尠ナカラサリキ鑑戒夫レ此ノ如シ故ニ本令ハ「大ナル鐵道ノ破壞ハ大本營軍司令官若ハ獨立シテ作戰スル師團長ノ命令ニ依リテ之ヲ行フモノトス」ト規定セラレタリ蓋シ下級指揮官ハ遠大ノ計畫ハ勿論全般ニ亘ル作戰ノ計畫ヲ知悉セサルヲ以テ局限セル自己當面ノ情況ニノミ依リテ判斷スルノ弊ニ陷リ易ク從テ其判斷大本營軍司令官等高等統帥部ノ計畫ト齟齬セル場合ナキヲ保セス然ルニ若之ヲ下級指揮官ニ於テ專斷實施スルカ如キコト在ランカ作戰方針ヲ打破シ挽回スヘカラサル悲境ニ陷ルコト在ルヲ以テ作戰ニ至大ノ關係ヲ有スル鐵道大破壞ノ如キハ到底之ヲ下級指揮官ニ其權限ヲ委スヘキニアラサルナリ

而シテ之カ破壞ハ其性能上通常鐵道隊若ハ工兵隊ヲ使用シ時トシテ遠ク挺進セル騎兵團等ヲシテ此任務ニ服セシムルコト在リ

第四百二十八

數時間若クハ一、二日間ノ運行ヲ遮斷スルニ過キサル小ナル鐵道破

壞ハ前條ニ揭ケルヨリ下級ノ指揮官之ヲ決行スルヲ得但シ之ヲ實施シタル地點時日及方法ハ直ニ直屬指揮官ニ報告スヘシ

此ノ如キ破壞ハ我作戰地域内ニ於テハ前進ニ之ヲ避ケ駐軍ニハ要スレハ之ヲ行ヒ退軍ニハ勉メテ之ヲ施スヲ要ス而シテ敵ノ作戰地域内ニ於テハ常ニ之ヲ實施スヘシ而シテ此破壞ヲ行フニハ主トシテ騎兵隊ヲ用ヒ時機之ヲ許セハ工兵隊又ハ鐵道隊ヲ用ヒ尙要スレハ其他ノ兵種ヲモ用フルコトヲ得

唯敵兵ノ鐵道ヲ利用スルヲ不意ニ妨碍センニハ單ニ軌條ヲ除クヲ以テ足レリトス但シ此場合ニ於テハ成ルヘク其餘キタル地點ヲ監視スヘシ

第四百二十九 鐵道ノ破壞ニ際シ線路ニ沿ヘル電線ハ共ニ之ヲ破壞スヘキヤ或ハ特ニ之ヲ保存スヘキヤヲ顧慮スルコト緊要ナリ

鐵道小破壞ノ權限及注意

數時間若クハ一、二日間ノ運行ヲ遮斷スルニ過キサル小ナル鐵道破壞ハ前ニ掲ケルヨリモ下級ノ指揮官ニ於テ之ヲ決行スルノ權限ヲ有スルヲ以テ戰略若ハ戰術上緊切ナリト判斷シタルトキハ當面ノ指揮官ハ須ラク獨斷之ヲ決行シ其破壞實施ノ地點時日及方法ヲ直ニ直屬上官ニ報告スルヲ要ス是レ其責任ヲ明カニス

ルト共ニ高級指揮官ハ其地點及加修ノ方法ヲ講スル際ノ基礎トナルヘケレハナリ
此種ノ破壞ハ情況ト相關係スルコト概ネ左ノ如シ

甲 我作戦地域内ニ於ケル場合

一 前進ニハ之ヲ避ク

我軍將來ノ作戦ヲ妨碍スルコト多ケレハナリ

二 駐軍ニハ要スレハ之ヲ行フ

駐軍ニ於テ之カ實施如何ハ一ニ情況ニ依ル蓋シ將來之ヲ敵ニ委セサル
ヘカラサルカ如キ情況ニ在リテハ我作戦ノ妨碍ト爲ルヲ以テ之カ破壞ヲ
要スヘク之ニ反シ我作戦ノ進捗ニ伴フテ益之カ使用ヲ必要トスル情況ニ
在リテハ破壞ハ勿論行フヘカラス要スルニ情況之ヲ必要ト認ムレハ破壞
ヲ行フモ妨ケナシト謂フニ歸著スヘシ

三 退軍ニハ勉メテ之ヲ施スヲ要ス

此ノ如キ有利ナル交通機關ヲ敵ニ委シテ退軍スルハ唯敵ノ作戦ヲ利ス
ルノミナリ何トナレハ其退軍ニシテ一時已ムヲ得サル情況ノ下ニ之ヲ行

乙

一 敵ノ作戦區域内ニ於ケル場合

抑鐵道破壞ノ主眼トスル所ハ敵ノ作戦ヲ妨碍スルニ在リテ存ス故ニ縱
ヒ我ノ使用ヲ豫期スト雖敵ノ作戦地域内ニ在リテ其作戦ヲ利シツツ在ル
モノニ對シテハ將來ノ關係如何ハ措テ問ハス先ツ我目的達成ノ手段上敵
ノ作戦利器タル鐵道ハ爲シ得ル限り常ニ破壞ニ勉メサルヘカラス願ヒ看
ヨ日露ノ役我軍長沼長谷川兩騎兵挺進隊カ奉天會戰前深ク敵地ニ侵入シ

鐵道

テ清河其他ノ鐵橋ヲ破壞シテ彼ノ輸送ニ妨カラサル障礙ヲ與ヘ以テ大ニ
彼ノ志氣ヲ沮喪セシメ且ツ彼ヲシテ莫大ノ兵力ヲ割テ鐵道沿線ノ守備ニ
當ツル等敵野戰軍ノ兵力ヲ減少セシメタルニ又同戰役ニ於テ露軍ニ在リ
テハミシチエンゴ騎兵團ノ營口方面ニ挺進シ來リテ我後方連絡線ヲ破壞
脅威シタル在リ然レトモ此舉ハ幸ヒニシテ我軍カ彼レニ與ヘタルカ如キ
大ナル影響ヲ受ケサリシト雖皆是レ此原則ニ由來スルモノナリ

而シテ一般ニ此種破壞ヲ行フニハ主トシテ前例ノ如ク騎兵隊ヲ用フルモノト
ス何トナレハ言フ迄モナク此種ノ作業ハ凡テ運動最モ迅速機敏ヲ要スルヲ以テ
騎兵ヲ使用スルヲ以テ便トスレハナリ故ニ大破壞ト雖騎兵ノ能力之ヲ許セハ之
ヲ使用スル固ヨリナリトス又此小破壞ハ時機之ヲ許セハ工兵隊又ハ鐵道隊ヲ用
ヒ尙ホ要スレハ其他ノ兵種ヲモ用フルコトヲ得ルモノトス

各兵種ノ鐵道破壞ニ對スル能力

上記ノ鐵道破壞方法ハ爆破教範之ヲ詳細ニ記述シ在リ且ツ茲ニ之ヲ述フルハ

冗長ノ嫌ヒ在ルト同時ニ亦本書ノ目的ニアラサルヲ以テ省略ス又舊令ノ本條爆
藥數等ニ關スルコトハ編制ニ屬スルヲ以テ是亦略筆セリ

鐵道利用ノ妨碍

敵兵ノ鐵道ヲ利用スルヲ不意ニ妨碍センニハ單ニ軌條ヲ除クヲ以テ足レリト
ス此種ノ作業ハ地方在來ノ器具ヲ適當ニ利用スレハ歩兵ト雖之ヲ實施シ得ルモ
ノトス而シテ妨碍作業ノ容易ナルト共ニ敵モ亦容易ニ之ヲ修理スルヲ得テ何等
ノ障碍ヲ與フルヲ得サルコト在ルヲ以テ其實施ノ地點ヲ監視セサルヘカラス敵
若シ該作業ヲ修理シタルトキハ更ニ亦他ノ地點ニ行フ等之ヲ反覆スルヲ要ス而
シテ之ヲ行フニハ夜間若ハ蔭蔽地ヲ便トス

鐵道線路ニ沿ヘル電線ノ破壞

電線ノ破壞ハ極メテ單簡ニシテ隨時之ヲ行フヲ得ヘシ然レトモ鐵道ハ破壞ノ
爲時間ヲ要スルコト大ナリ故ニ此破壞ハ速ニ著手スルヲ要スルモ電線ハ前述ノ

如クナルヲ以テ飽ク迄我通信ニ之ヲ使用シ情況已ヲ得サルノ時ニ至リ之ヲ破壞スルモ容易ニシテ且ツ遅キニアラス故ニ鐵道沿線ニ於ケル電線ノ破壞ハ特ニ之ヲ保存スヘキヤ否ヤヲ顧慮スルコト緊要ナリ

第四百三十 鐵道ノ修理及新設等ニハ鐵道隊ヲ使用スルモノトス但シ極メテ單簡ナル破壞ニ對シ所要ノ材料ヲ調辨シ得ルトキハ工兵隊ヲシテ之カ修理ニ任セシムルヲ得

前記ノ業務ニ任スル鐵道隊ニハ他ノ兵種ヲ附屬シテ補助セシムルコトアリ
第四百三十一 鐵道ノ近傍ニ在ル軍隊ハ任務ノ遂行ニ妨ケナキ限リ我軍ノ利用中ニ在ル鐵道ハ勿論將來利用スヘキ鐵道ヲモ保護スヘシ
運轉中ニアラサル鐵道ト雖モ戰場以外ノ地域ニ於テハ之ヲ道路ニ利用スルコトヲ避クヘシ又已ムヲ得ス鐵道ヲ破壞シテ其用材ヲ防禦物、交通路等ノ建築ニ利用セシトスルトキハ第四百二十七及第四百二十八ノ規定ニ從フヘシ

鐵道ノ保護、修理及破壞

既ニ述フル如ク鐵道ハ爾後ノ作戰ニ影響スル甚大ナルヲ以テ濫ニ破壞スヘキモノニアラス而シテ其修理ハ破壞ニ比シ時間ト勞力及材料ノ多大ヲ要スルモノ

ナリ故ニ破壞修理共通常鐵道隊ヲ用ヒ小破壞、小修理ニハ工兵隊若ハ他兵種ヲ使用スルコト在リ

鐵道ノ保護ハ軍隊ノ義務ナリ故ニ其近傍ニ在ル軍隊ハ任務遂行ニ妨ケナキ限リ我軍ノ利用中ニ在ル鐵道ハ勿論將來利用セントスル鐵道ヲモ保護セサルヘカラス縱ヒ運轉中ニアラサル鐵道ト雖戰場以外ノ地域ニ於テハ之ヲ道路ニ使用スルヲ避クヘシ是レ土砂ノ埋沒軌鐵ノ屈曲等ヲ生シ其破壞ヲ豫防センカ爲ナリ
而シテ鐵道ヲ破壞シテ其用材ヲ防禦物及交通路等ノ建築ニ利用スルハ等シク爾後ノ作戰ニ關係スルコト大ナル以テ其程度ニ應シテ前條鐵道ノ大破壞及小破壞ノ規定ニ從フヘキモノトス

第十四篇 船舶輸送

第一章 通則

船舶ノ軍事上ニ及ホス價值

海外ニ作戦セントスル軍隊ノ人馬材料糧食等ヲ輸送シ且ツ後方ノ連絡ヲ司ルモノハ船舶ナリ此ヲ以テ海上輸送ハ用兵上最モ緊要ナルモノニシテ且ツ至難ノ業ナリ是レ海上ハ天候ニ支配セララルコト陸上ノ比ニアラサレハナリ故ニ之カ實施計畫ハ最モ周密ニシテ整正ナラサルヘカラス若夫レ計畫其宜シキヲ得サレハ既ニ在外作戦ニ從ヒツツ在ル軍隊ノ活動ヲ掣肘スルニ至ルヘシ然リ而シテ海上權ヲ獲得シ並ニ之ヲ維持スルハ共ニ海軍ノ任スル所ナリト雖陸軍ニ屬スル軍隊及軍需諸物件ノ輸送ハ敢テ之ヲ海軍ニ倚頼スルコトナク陸軍自ラ處理實施シ得サルヘカラス

船舶ノ軍事上緊要ナルコト夫レ此ノ如シ而シテ其價值ハ其多寡大小噸數ノ多少、速力ノ大小等ニ關ス蓋シ鐵道ハ其運輸材料ノ如何ニ多キモ線路ニ制限在リテ使用スルコト能ハサル場合ナキニシモアラスト雖之ニ反シ海面ハ到ル所線路ニシテ殆ト無限ト謂フヲ得ヘシ故ニ船舶ノ多寡ハ輸送ヲ左右スルヤ明カナリ又其大小及噸數ハ共ニ人馬材料糧秣ノ搭載力ニ大ナル關係ヲ有シ速力ノ大小ハ最モ

迅速ヲ要スル軍隊輸送ノ價值ヲ左右スル言ヲ須タサルヘシ今用兵上使用スル之カ目的ヲ大別スレハ左ノ如クナルヘシ

一 動員

朝鮮臺灣樺太其他諸島等隔海ノ地ヨリ在郷兵ノ召集、徵發馬匹ノ輸送、隔海ノ要塞ニ戰備用人馬材料等ノ輸送ニ用フ

二 集中

四國ノ軍隊ヲ廣島ニ九州ノ軍隊ヲ朝鮮ニ集ムル等隔海ノ地ヨリ目的地ニ輸送スル等ニ用フ

三 補充員及軍需品ノ補充並追送

一度海外ニ於テ作戦スル軍隊ハ常ニ後方ニ軍需品ノ積載ヲ要ス而シテ是等ハ時々消費スルモノニシテ常ニ補充及追送セサルヘカラサルナリ又一戰闘ノ後ニ於テハ必ス減耗員ノ補充、武器彈藥ノ交付等一ツトシテ此輸送ニ依ラサルハナシ

船舶ノ種類

船舶ヲ大別シテ汽船、小蒸汽船、帆船及和船ノ四種トス

遠洋航路用、沿海航路用、旅客用及貨物用等其用途ニ依リ其大小及構造ヲ異ニスルノミナラス造船術ノ日進月歩ノ改良ニ伴フテ縦ヒ同型船ト雖必スシモ其構造同一ナラスシテ多少ノ差異アルヲ常トス而シテ此船舶ハ何レモ有事ノ際之ヲ徵發使用スル爲其所有主噸數、製造年月、速力等航海及輸送ニ必要ナル諸件ヲ調査シ必要ニ應シテ迅速且ツ適切ニ之ヲ徵發使役スル方法ヲ豫メ周密ニ計畫シ置クモノトス

小蒸汽船

乗船上陸ニ際シテ解船ノ曳船用若ハ港灣ノ通信用ニ充ツルモノニシテ有事ノ際之ヲ徵發使役ス故ニ汽船ト同シク徵發ニ關スル調査準備ヲ爲シ置クモノトス

帆船及和船

通常灣内解船用トシテ陸地ト汽船トノ間ニ使役セラルルモノナルヲ以テ之カ携行ノ計畫ヲ爲シ置クモノトス

運送船ニ具備スヘキ性能

軍事輸送ニ充用シ得ヘキ運送船ノ資格ハ供用ノ目的ニ依リテ差異アリ即チ其構造、大小、速力等ニ依リテ其用途ヲ區分シ之ニ相應スヘキ役務ヲ課スルモノトス而シテ其一般ニ具備スルヲ要スル性能概ネ左ノ如シ

- 一 船體及機關堅牢ニシテ製船年月ノ成ルヘク新ナルコト
- 二 噸數成ルヘク大ニシテ馬力強大且ツ迅速ナル軍事行動ニ適スル快速力ヲ有スルコト
- 三 軍需品ノ搭載ニ適スル起重機ノ設備アルコト
- 四 舷梯多ク且ツ馬匹ノ搭載ニ差支ナキ艙口、起重機多數ニシテ尙ホ馬欄ノ設備容易ナルコト

船舶ノ用法

大輸送ヲ行フニ方リテハ同時ニ多數ノ船舶ヲ要シ且ツ成ルヘク建制部隊ヲ分割セサル如ク配船スルヲ必要トスルカ故ニ船舶ノ構造如何ニ拘ハラズ全船舶ヲ擧ケテ軍隊輸送ニ使用シ作戰ノ用途ニ充ツルモノトス然レトモ大輸送既ニ完了シ補充追送等ノ輸送ヲ爲スノ時期ニ至レハ船舶ノ種類ニ應シ固有ノ能力ヲ充分ニ發揮シ得ル如ク使用スルモノトス

今其役種ヲ區分スレハ概ネ左ノ三種ト爲スヲ得ヘシ

一 軍隊軍需品搭載用船

二 通信船

三 病院船

軍需品搭載用船

作戰ノ初終期ニ於テ更モ多數ヲ使用セラレ作戰中ニ於テモ補充追送ノ爲絶エス使用セラレ其輸送徒步部隊ハ旅客船及旅客貨物船乘馬隊ハ貨物船及旅客

貨物船重砲兵交通兵其他凡テ夥多ノ材料ヲ有スル部隊ハ貨物船ヲ用ヒ糧秣被服等ハ旅客船若ハ旅客貨物船ヲ用フルモノトス

通信船

通信船ハ戰時海上勤務中主要ナルモノナリ海底電信等通信機關ノ備ハラサル場合ニ於テ特ニ然リトス又作戰ノ進捗ニ伴ヒ海陸ノ交通ヲ頻繁ナラシムルヲ以テ兵站主地所在ノ港灣若ハ必要ノ港灣ト本國主要ノ港灣間ニ於テ定期交通ヲ開始シテ追送還送荷物ノ輸送軍人軍屬文書ノ往復ニ任シ以テ兵站業務ヲ益々敏活整齊ナラシメ且ツ軍隊輸送ヲシテ一層迅速ナラシムルヲ圖ル爲通信船ヲ特定スルコト在リ而シテ通信船ハ噸數ノ多キヨリモ寧ロ速力大且ツ貯水及貯炭ノ十分ニシテ長時間補給スルコトナク航海ニ堪ヘ進退敏捷ナル旅客船ヲ選用スルヲ可トスルモノナリ

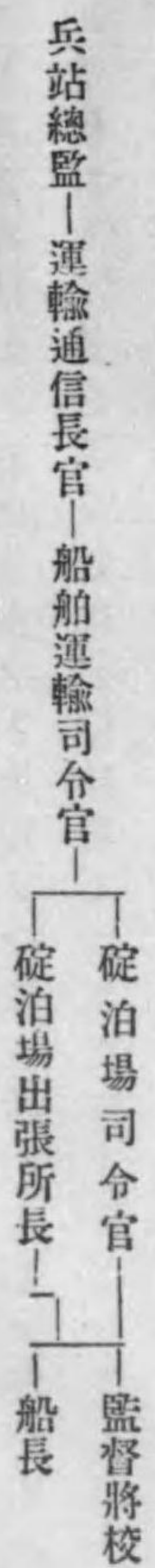
通信船ハ此ノ如キ役務ニ服スルモノナルヲ以テ防衛上ノ必要ヲ顧慮シテ小口徑速射砲ヲ以テ武装シ且ツ寢室貴重品格納所及無線電信機等ヲ設備スルモノトス

病院船

患者ヲ搭載シ之ヲ内地ニ還送ニ供用スルモノナルヲ以テ風波ニ對シ動搖少
ナク極メテ安全ナル通常旅客船中ヨリ選用ス而シテ各種病室及消毒機關等必
要ノ設備ヲ爲スモノトス

船舶輸送機關

船舶輸送機關及其系統左ノ如シ



以上諸機關中輸送實施ト直接關係ヲ有スル碇泊場司令官監督將校及船長ノ任
務ヲ略述スレハ左ノ如シ

- 一 碇泊場司令官ハ海運地ニ在リテ左ノ業務ヲ管掌シ各船長ヲ指揮シテ其職
務ヲ盡サシムルノ責ニ任スルモノトス
- 1 當該海運地及運送船ノ所要設備ノ實施

2 搭船揚陸ノ實施

- 二 監督將校ハ海軍將校ヲ以テ任シ軍隊ト共ニ運送船ニ乗込ミ船長以下船員
ノ勤務ヲ監督シ輸送實施ヲ正確ニシ且ツ艦船トノ連絡ニ任スルモノトス此
將校ニハ信號兵ヲ附スルモノトス
- 三 船長ハ部下乗組員ヲ指揮シテ軍隊ノ乗船上陸ニ關スル動作ニ協力シテ迅
速ニ之ヲ完了セシムルヲ圖リ且ツ其船舶ヲシテ海上安全ニ目的點ニ到達セ
シムルヲ任トス其本船ノ保護及運轉上ノ事項ニ關シテハ身ヲ以テ其責ニ任
スヘキモノトス

第四百三十二 戰時ニ於ケル船舶輸送ハ用兵上緊要ニシテ其業務ハ複雑且ツ困難
ナリ故ニ船舶ヲ用フル軍隊ノ動作極メテ靜整確實ニシテ其業務ヲ障得セサルニ非
サレハ完全ニ輸送ノ目的ヲ達スルヲ得サルヘシ

船舶ノ輸送ト軍隊ノ動作トノ關係

四面環海ノ我國ニ於テハ其戰役ノ外征タルト將タ守勢タルヲ問ハス船舶輸送

ノ用兵上最緊要ナル戰時勤務ノ一タルコト既ニ述フル所ノ如シ而シテ其業務實施鐵道輸送ニ比シ甚タ複雑ニシテ且ツ困難ナルハ茲ニ贅スルノ要ナカルヘシ故ニ軍隊ノ動作極メテ靜整確實ニシテ毫モ指導者ノ業務ノ執行ヲ障礙セサルニアラサレハ到底完全ニ輸送ノ目的ヲ達スルヲ得サルコトヲ銘心セサルヘカラス

第四百三十三 一船舶ヲ以テ輸送スヘキ部隊ノ高級故參ノ將校將校相當官ヲ長トスル部隊ノミヲ輸送スル場合ニ在リテハ當該部隊長ハ輸送指揮官ト爲リ乗船上陸ノ指揮及船内ノ秩序維持ニ任スルモノトス
船舶ニハ所要ニ應シ一名ノ監督將校ヲ乗込マシメ船員ノ勤務ヲ監督シ且ツ艦船トノ連絡ヲ掌ラシム此將校ニハ信號兵ヲ附スルモノトス
輸送指揮官ハ毫モ船舶ノ進退運轉ニ干渉ス可カラス又運轉ノ必要上監督將校該將校アラサルトキハ船長以下ヨリ請求アルトキハ之ニ應シ且ツ所要ノ援助ヲ與フル義務アルモノトス

輸送指揮官ノ責務

輸送指揮官ハ其船舶ニ搭載スヘキ部隊ノ高級故參ノ將校(將校相當官)ヲ長トス

ル部隊ノミヲ輸送スル場合ニ在リテハ當該部隊長ニシテ其任務ハ軍隊ノ乗船上陸ヲ指揮シ船内ノ秩序維持ニ任スルモノナリ然レトモ毫モ船舶ノ進退及運轉ニ干渉スルヲ得サルモノトス若監督將校若ハ船長等ヨリ天候ノ不穩等運轉上ノ必要ニ依リ請求スル事項ニ對シテハ之ニ應シ且ツ所要ノ援助ヲ與フル義務アルモノトス

本條ニ就キ特ニ注意スヘキコト在リ他ナシ鐵道輸送ニ在リテハ將官若ハ聯隊長ハ次級ノ將校ヲ以テ輸送指揮官ト爲シ得ルモ船舶輸送ニ在リテハ絶對ニ高級故參ノ將校之ニ任セサルヘカラス蓋シ輸送指揮官ノ船舶内ニ在リテハ唯目的地ニ軍隊ヲ上陸セシムルヨリ他ニ何等ノ作戰上ノ關係ヲ有セサレハナリ

第四百三十四 主要ナル乗船上陸地ニハ碇泊場司令部ヲ置キ輸送ノ實施ニ任セシ

碇泊場司令部

碇泊場司令部ノ編制ハ關係作戰軍隊ノ大小ニ從ヒテ其機關ニ大小在リテ一様

船舶輸送

ナラスト雖其任務ハ同一ナリ即チ司令官ハ當該海運地及輸送物件ノ種類ニ依リ輸送船内ニ所要ノ設備ヲ施シ搭載揚陸ノ業務ヲ部下職員ヲシテ分擔實施セシメ之ヲ統轄シテ輸送業務ヲ敏活完全ナラシムルノ責ニ任スルモノトス

而シテ碇泊場司令部ハ任務實行ヲシテ敏活ナラシムル爲常ニ關係諸官衙團隊特ニ輸送業務ニ直接關係アル鐵道職員線區司令部等ト常ニ連繫ヲ保持スルヲ必要トス其主要ナルモノ左ノ如シ

一 線區司令部トノ連繫

碇泊場司令部ト線區司令部トノ連繫ハ最モ確實ニ又最モ周密ナラサルヘカラス何トナレハ鐵道運行計畫ノ變更ハ重大事ニシテ而モ輸送ノ大ナルニ從ヒ其影響愈大ナレハナリ故ニ碇泊場司令官ハ時機ニ依リ揚陸ニ一定ノ制限ヲ附シ若ハ夜間揚陸ヲ行フコト在リ即チ揚搭ノ澁滯等ヨリシテ運行計畫ニ影響ヲ及ホスカ如キコトナキヲ期セサルヘカラス

二 軍隊トノ連繫

軍隊ノ搭船揚陸ニ關シテハ豫メ其指示注意事項ヲ了解ニ便ナル如ク製表

シテ成ルヘク搭船揚陸開始數日前ニ之ヲ配布スルヲ要ス殊ニ大部隊ノ輸送ニ在リテハ輸送請求部隊ヨリ人員物件ニ就テ勤務令指定ノ表ヲ以テ請求シ來ルモ尙ホ此種ノ注意及當該高等司令部幕僚ト豫メ詳細ノ協議ヲ遂ケ以テ相互ニ遺算ナク整齊確實ニ搭載揚陸業務ノ遂行ヲ圖ルヲ要ス

三 兵站司令部トノ連繫

搭揚時刻、人馬ノ員數、宿舍及糧秣ノ關係等ヲ互ニ相通報シ相協議シテ互ニ其職域ヲ侵スコトナク圓滿敏速ニ是等業務ノ遂行ヲ期セサルヘカラス

四 海軍並艦隊トノ連繫

運送船ノ危險ヲ豫防シ救助スルコトニ關シ絶エス海軍望樓ト連絡シテ天候及航行中ニ在ル各運送船ノ狀況ヲ聽キ又艦隊ノ入港スルモノ在ルトキハ敵艦ノ情況ヲ尋問スル等不慮ニ供フルノ注意ハ常ニ之ヲ等閑ニ附スルコト在ルヘカラス

五 其他トノ連繫

其他造船所、運輸會社ト常ニ連絡シテ作戰ノ發展ト長期ニ涉ル船舶需要ノ

便ヲ缺カサルコトニ注意シ又關係地方官衙ト勉メテ連絡ヲ保持シ以テ業務進捗上ノ便益ヲ圖ルヲ肝要トス

第四百三十五 一船舶ニ搭載スヘキ人馬及材料(荷物ヲモ含ム以下)ハ船舶ノ大小ニ從ヒ一定スル能ハスト雖モ成ルヘク建制部隊ヲ分割セス之ヲ一船舶ニ搭載シ航海中軍紀ノ維持及給養ニ便ニシ且ツ上陸後直ニ從事スヘキ勤務ニ障礙ナカラシムルヲ要ス

第四百三十六 船舶ノ搭載力ヲ遺漏ナク利用シ全部ノ輸送ニ要スル船數ヲ節約スルハ最モ緊要ナリ故ニ輸送距離短少ナルトキハ勿論長遠ナル時ニ於テモ亦極メテ狹縮ナル搭載ヲ爲スコトアリ

軍隊搭船ニ關スル一般ノ原則

一船舶ニ搭載スヘキ人馬及材料ハ船舶ノ大小ニ從フヲ以テ豫メ之ヲ一定スルコト能ハスト雖船中ニ於ケル軍紀ノ維持給養ノ便利及上陸後直ニ從事スヘキ勤務ニ支障ナカラシムル爲成ルヘク建制部隊ヲ分割セス且ツ此部隊ニ附屬スル所ノ諸材料諸荷物ト共ニ之ヲ一船舶ニ搭載スルヲ要ス

前述ノ原則ニ基キ軍隊ヲ搭載スルニハ遺漏ナク其搭載力ヲ利用セサルヘカラス又之ニ依リテ全部ノ輸送ニ要スル船數ヲ節約スルコトヲ圖ルハ最モ緊要事ナリ此目的ノ爲ニ輸送距離短少ナルトキハ勿論縱ヒ長遠ナルトキニ於テモ亦極メテ狹縮ナル搭載ヲ爲スコト在ルモノトス

配船要領

軍隊軍需品搭載ノ配船ハ二箇ノ要求ヲ充足セサルヘカラス即チ一ハ作戰上ノ必要ニ依リ成ルヘク建制ヲ分割セサル如ク配船ヲ要スルハ前述ノ如シ一ハ全船舶ノ搭載力ヲ適當ニ利用スル爲若干建制ヲ分割スルモ人馬材料ノ比例ヲ成ルヘク船舶ノ設備ニ適應セシムル如ク搭載物件ヲ配合スルヲ要ス蓋シ戰時ニ方リテハ普通船舶ハ全部之ヲ陸軍ニ於テ使用スルヲ得ス先ツ海軍ニ於テ所要ノ船舶ヲ必要ノ役種ニ充テ之ニ充テサル船舶ヲ通常陸軍ニ於テ借上スルモノナルヲ以テ常ニ第一ノ要求ノミヲ充シ得ル船舶ヲ陸軍ニ於テ使用スル能ハサレハナリ故ニ配船ノ要領ハ多數ノ運送船ヲシテ常ニ遺憾ナク輸送力ヲ利用セシムルニ在リ然

レトモ此二要求ハ其性質全ク相反スルヲ以テ一般ノ情況ヲ顧慮シテ機宜ヲ誤ラサル如ク配船ヲ爲スヲ要ス之カ爲常ニ左ノ五要件ヲ知悉シ在ルヲ要ス

- 一 軍隊ノ人馬材料及軍需品ノ種類員數容積
- 二 團隊ノ編組(要スレハ軍隊區分)
- 三 作戰上要求スル運送ノ順序
- 四 船舶ノ大小種類速力及船内設備變更ノ能否
- 五 上陸地ノ景況航路ニ關スル諸件

配船方法

普通採用セラルル配船ノ方法左ノ如シ
軍需品

普通ノ旅客船貨物船ニ於テハ通常下艙内ニ軍需品ヲ滿載シ第三甲板或ハ第二甲板ヲ軍隊ニ利用スル如クスルヲ適當トス然レトモ情況ニ依リ短時日ノ航海ニ在リテハ艙内ト雖全部馬欄ヲ作り専ラ軍隊ノミヲ輸送スルコトヲ

得

軍需品

多クハ軍隊ヲ搭載セル船舶ノ下艙内ニ搭載スルヲ便トスト雖特ニ軍隊ノミヲ輸送スル場合ニ於テハ搭載揚陸ニ最モ便ナル船舶ヲ選用スルヲ可トス即チ起重機ノ裝備完全ニシテ上甲板上廣濶艙口多數ヲ有シ且ツ大ナル貨物船ヲ以テ適當ナリトス

材料

鐵道材料ノ如キ重ク且ツ大ナル材料ヲ輸送スル船舶ハ起重機最モ完全ニシテ其力ノ大ナルモノヲ有スルヲ要ス其他艙口内甲板廣濶ナルモノヲ選用スルヲ可トス

軍隊ノ搭載容積

軍隊ノ搭載ハ其船舶ノ總噸數ニ應シ左ノ割合ヲ以テスルコトヲ得但シ鐵道及重砲材料ノ如キ重且ツ大ナルモノヲ除キ其他ノ材料ハ通常人馬搭載ノ場所以外

ニ於テ人馬ト共ニ收容シ得ルヲ以テ別ニ計算スルヲ要セス

一人 三噸

一馬 九噸

既記ノ搭載要領及此比例ニ依リテ計算スルトキハ一師團ノ所要噸數ハ約十二萬噸ナリトス此計算ハ最モ裕ニ人馬ヲ搭載スル場合ニシテ乃チ長時日ノ航海ニ要スル計算ナリトス短時日短距離ノ輸送ニ於テハ此半數ヲ以テ計算スルモ敢テ不可ナキモノトス

而シテ運送船ノ噸數ニハ總噸數ト登簿噸數トノ別アリ總噸數トハ當該船舶ノ總容積ヲ百立方尺一噸トシテ算出セル數量ナリ登簿噸數トハ總噸數ヨリ機艙室乗組員室其他直接營業ニ使用シ能ハサル部分ヲ除去シタル殘餘ノ噸數ニシテ總噸數トノ比ハ一定ナラスト雖平均一ト〇・六三トス故ニ總噸數一噸ニ對シテ實際使用シ得ル容積ハ約四十才ナリ

荷積噸數トハ各國任意ニ制定シタル噸數ニシテ一定ノ規程ナキモ本邦ニ在リテハ四十才(一才ハ一立方尺)ヲ以テ一噸ト爲セリ

第四百三十七 各部隊長ハ軍用輸送券ヲ各輸送指揮官ニ交付ス此輸送券ニハ船名輸送スヘキ人馬材料ノ種類、數量、發著地名等ヲ記載スヘキモノトス

船舶輸送券

船舶輸送券ノ様式ハ略、鐵道輸送券ニ同シキモノニシテ「成規類聚」(第十四類)ニ詳記シ在ルヲ以テ茲ニ之ヲ略ス

第二章 乘船、上陸

第四百三十八 軍隊ハ碇泊場司令官ノ規定セル方法ニ從ヒ自ラ乘船上陸ヲ行フモノトス

軍隊ノ乘船、上陸法

軍隊ハ他ノ補助ニ倚ラス自ラ乘船上陸ヲ行ハサルヘカラス之カ爲碇泊場司令官ノ規定セル方法ニ從ヒ靜肅ニ秩序正シク諸準備ヲ整頓シ之カ遂行ヲ圖ルヲ要

ス碇泊場司令部ニハ左ノ性能及設備在ルヲ要スルモノトス

一 豫想スル最大最多ノ船舶ヲ容ルルニ足ル面積及深ヲ有シ且ツ之ヲ風波ニ對シテ安全ニ保護セラルルヲ要ス(遠淺ノ海岸ニ在リテハ之ニ要スル小蒸汽船若ハ棧橋ノ設備ヲ要ス)

二 人馬、材料ノ搭載、揚陸ニ要スル永久棧橋及護岸堤等ノ設備

三 集積場、倉庫、集合場、馬繫場及船舶ノ修理工場等ノ設備

四 給水、給炭場ノ設備

而シテ輸送材料トシテ更ニ小蒸汽船、舢舨及附屬材料例ヘハ網具、懸帶、馬絡等及搭載揚陸材料トシテ起重機、石炭樋、石炭揚籠、蹈板等ヲ備ヘ又船舶ニハ馬欄、寝棚、舷梯、階梯、假甲板、厠ノ設置等兵員搭載ニ關スル諸種ノ艤裝ヲ施シ乗船上陸ニ澁滯ナカラシムルモノトス即チ軍隊ハ是等規定ノ場所、位置、方法ニ準據シテ乗船ヲ實施スヘキモノトス

第四百三十九

各部隊長ハ遅クモ其乗船二日前迄ニ所要ノ職員ヲ乗船地ニ差遣シ

該地碇泊場司令部ト交渉シ乗船ニ關スル諸件(集合場、乗船開始ノ時刻、埠頭若クハ棧橋ノ配當、衛兵及使役兵ノ差遣並航海中ニ要スル糧秣等)ノ爲メ必要ノ協議ヲ爲サシメ之ニ基キ輸送指揮官ニ所要ノ指示ヲ與フ又要スレハ豫メ上陸地ニ若干ノ職員ヲ派遣シテ該地碇泊場司令部ト上陸ニ關スル協議ヲ爲サシムヘシ

乗船上陸ニ關シ各部隊長ノ注意

各部隊長ハ少クモ乗船二日前將校ヲ先遣シ本令規定ノ諸項ヲ碇泊場司令部ニ打合セ其詳細ヲ輸送指揮官ニ指示シ且ツ搭船ノ補助ヲ爲スヲ要ス又上陸ニ際シテモ豫メ上陸地ニ若干ノ職員ヲ派遣シ上陸ニ關スル諸般ノ打合ヲ爲シ置クヲ便トス

乗船上陸ニ關スル監視員及使役兵

一 陸上監視

各運送船毎ニ下士若ハ准士官一二人將校ハ部隊ノ大小ト乗船上陸場ノ廣狹ニ應シテ一乃至數人ヲ要ス

使役兵ハ各棧橋毎ニ二、三人乃至五人ヲ適度トス

滿潮干潮時ニ應シテ棧橋使用ノ方法ヲ規定シテ標示シ使役兵ヲ各棧橋ニ配

當シ踏板ヲ準備ス

數箇ノ部隊同時ニ搭載揚陸スルトキハ各部隊使用區域ヲ劃定シ互ニ侵スコ

トナカラシムルヲ要ス

軍隊集合場ヲ撤去セハ乗船上陸開始終了時間及之ニ使用セル人員材料ヲ明

記シ概況ヲ併記シテ陸上效程表ヲ調製ス

小蒸汽船、舢舨、棧橋、集合場、馬繫場ノ配當海上トノ連絡法及集合場撤去ノ方法

ニ關シテハ將校ヲ先遣シテ輸送指揮官ト協定セシムルモノトス

二 海上監視

運送船ハ其多少ニ應シテ一乃至數人ノ將校ヲ以テ監視ニ任シ又各運送船ニ

ハ下士若ハ准士官一、二人ヲ以テ監視セシメ而シテ運送船間ノ往復ニハ傳令舢

船ヲ用フルモノトス

小蒸汽船ニハ經驗アル使役兵ヲ乗込シメ運用ノ指揮ニ任セシムヘシ

標示板ハ各棧橋ニ一箇宛配置シテ認識ニ便ス

舢舨ニハ棧橋番號ト同標旗ヲ植立シテ認識ニ便ス

踏板ハ少クモ各棧橋ニ二箇トス

使役兵ハ二班ニ分レテ上甲板ト船艙内若ハ舢舨内ニ於テ使役スルモノニシ

テ各船艙毎ニ十數人ヲ要ス

而シテ舢舨ハ軍隊搭載用ノモノハ各舷梯ニ配當シ馬匹、材料用ノモノハ各艙口

舷側ニ分配ス此際各艙作業ヲ中絶スルコトナキ爲舢舨ノ種類及大小ヲ顧慮シテ

適當ニ之ヲ配當セサルヘカラス

材料ハ其種類ニ依リ搭載揚陸ノ順序便否ニ顧慮ヲ置キテ監視シ又使役兵ヲ督

シテ起重機其他物件ノ取扱、馬絡及其綱具ノ懸ケ方等ヲ監視ス凡テ材料、使役兵ノ

配當及使用ノ適否並使用諸材料ノ良否ヲ注意監督シ海上トノ連絡及搭載揚陸ノ

時間ヲ監視スルハ專ラ監視將校ノ任スヘキ所トス

搭載揚陸終レハ其搭載揚陸開始終了時刻、人員材料等ノ員數ヲ明記シ概況ヲ併

記シテ海上效程表ヲ調製ス

以上ハ碇泊場司令部ニ於ケル準備ノ真ノ概略ニ過キサレモノトス

集合場ノ使用法

集合場海岸ニ平行シ在リテ各棧橋ヨリ直ニ進入シ得ハ其使用便ニ配當容易ナリト雖若其位置海岸ノ一方ニ偏在シテ一方面ヨリノミ進入セサルヘカラスアルトキハ其使用困難往復人馬材料ノ爲多時ヲ要ス此ノ如キ場合ニ於テハ先ツ出入口ヲ區別シテ通路ヲ開設スルヲ要ス而シテ搭載困難ナル乘馬部隊及車輛部隊ハ成ルヘク海岸ニ接近シテ通路ヲ妨碍セサル所ニ位置セシムルヲ要ス

馬繫場ノ使用法

馬繫場ノ幅員ハ各部隊毎ニ其總馬數ヲ繫留シ得ヘキヲ要ス故ニ已ムヲ得サル場合ニ於テハ急造馬繫場ヲ構築シ若ハ一部ノ馬匹ヲ宿營地ノ馬繫場ニ繫留スルノ方法ニ依ラサルヘカラス蓋シ揚陸部隊ヲシテ小部隊毎ニ逐次馬繫場ヲ撤去若ハ進入セシムルカ如キハ特ニ多數ノ使役兵ヲ使用スルニアラサレハ動作ノ遲緩

及混雜ヲ起スヲ以テナリ

第四百四十 輸送指揮官ハ前條ノ指示ニ基キ所要ノ職員及使役兵ヲ船舶ニ差遣ス此職員ハ碇泊場司令部員及船員ト協議シ居室馬欄及材料置場等ヲ適當ニ配當シ其所定ノ區畫ニ從ヒ將校ノ官氏名部隊號並人馬數ヲ揭示シ以テ軍隊ノ乗船ヲシテ勉メテ迅速且ツ靜整ニ結了セシムヘシ

第四百四十一 輸送指揮官ハ乗船上陸ヲ指揮スル爲メ各部隊ヨリ所要ノ將校以下ヲ取リ人員馬匹材料等ノ各掛ヲ設ケ各部隊ヲシテ其指示ニ從ヒ動作セシム各掛員ハ各其分擔スル人馬材料ノ搭載揚陸ニ任スルモノニシテ通常陸上及船内ノ二班ニ分レテ勤務スルモノトス

第四百四十二 輸送指揮官ハ乗船順序ヲ願慮シ乗船準備ニ要スル時間(馬裝ノ解脫、材料ノ梱包等ノ時間ニシテ徒歩兵ニ在リテハ約三十分間、乘馬兵ニ在リテハ約一時間)ヲ計リ部隊ヲ同時若クハ數回ニ乗船場ニ赴カシメ以テ人馬ヲ永ク乗船場ニ駐止セシメサルコトヲ圖ルヘシ

第四百四十三 輸送指揮官ハ各部隊到着セハ之ニ乗船ノ準備ヲ爲サシメ所要ノ衛兵及使役兵ヲ配置シ若シ船ヲ用フトキハ其搭載力ニ應シ人馬材料ヲ數班ニ區分シ每班ニ成ルヘク將校下士ヲ配屬シ以テ靜肅且ツ敏速ニ乗船セシムヘシ乗船ハ通常材料馬匹人員ノ順序ニ行フモノトス

船舶輸送

乗船、上陸ニ關スル輸送指揮官ノ注意

輸送指揮官ハ前條ノ指示ニ基キ所要ノ將校下士及使役兵ヲ船舶ニ派遣シ人員ノ爲船室材料ノ爲船艙ノ使用法、乗船ノ順序、馬欄喫烟場ノ位置、衛兵ノ配置其他運送船細部ノ視察打合ヲ爲シ之ヲ適當ニ配當シ其所定ノ區劃ニ從ヒ將校ノ官氏名部隊號及人馬數ヲ揭示シ以テ乗船命令ヲ完全ニス而シテ鐵道輸送ニ於ケル如ク人員馬匹材料ノ搭載及卸下掛ヲ設クルモノトス此掛員タル將校下士ハ陸上ト船内ノ二部ニ手分シテ勤務ヲ敏活ナラシメ以テ軍隊ノ乗船ヲ勉メテ迅速且ツ靜整ニ結了セシムルモノトス

上陸ノ場合ニ在リテハ入港後直ニ各部隊ヨリ所要ノ職員ヲ碇泊場司令部ニ派遣シテ上陸ニ關スル時間、棧橋、解船ノ使用等必要ノ事項ヲ聽取シ直ニ上陸命令ヲ下スモノニシテ上陸ノ順序、方法、集合位置、衛兵及使役兵ノ配當、舷梯ノ使用等ハ特ニ遺算ナキヲ要ス而シテ輸送指揮官ハ人員馬匹材料ノ各掛ヲ設ケ各部隊ヲシテ其指示ニ從ヒ動作セシム而シテ掛員ハ其分擔スル人馬材料ノ揚陸ニ任スルモノ

トス通常陸上及船内ノ二班ニ分レテ勤務スルモノトス是亦乗船ハ同ク軍隊ヲシテ迅速且ツ靜整ニ結了セシムルヲ要ス

一 船室ノ配當

船室ハ成ルヘク最小單位ノ建制ヲ保持スル如ク小分隊毎ニ順序正シク配當スルヲ要ス若已ムヲ得スシテ分隊以下ニ分割スルモ勉メテ監視、給與ノ便ヲ顧慮シ將校ノ居室亦成ルヘク部下ノ監視ニ便ナルヲ要ス而シテ下士以下ノ居室ハ部隊號ヲ揭示シ將校ハ其官氏名ヲ寢棚ニ掲記シテ乗船ヲシテ勉メテ迅速且ツ靜肅ニ結了セシムヘシ又室ニ餘裕アルトキハ船體動搖ノ少ナキ所ヲ選ヒテ休養室ヲ設クルヲ要ス

二 馬欄ノ配當

馬欄亦勉メテ建制ヲ保持シテ小隊等毎ニ配當シ又病馬、癖馬等各、適當ノ位置ニシテ搭船ヲ容易迅速ナラシムルヲ要ス

三 舷梯ノ使用

船舶輸送

運送船ハ通常二箇以上ノ舷梯ヲ有スルヲ以テ乗船ニ際シテ各部隊ノ動作ヲ迅速且ツ靜肅ナラシムル爲各部隊毎ニ配當スルヲ要ス

四

船艙ノ使用

軍需品ハ後條ニ示ス處ノ主旨ニ從ヒ輸送指揮官ハ豫メ規正シテ其順序ヲ

命令指示スルヲ要ス

船體ノ動搖ヨリ生スル材料ノ轉動破損ニ注意シ木楔輪止綱具類等適宜ノ

モノヲ應用シテ之ヲ定著固定スル等適當ノ方法ヲ講スルヲ要ス

五

使役兵ノ配當

使役兵配當ノ適否ハ乗船ノ進捗ニ大ナル關係ヲ有スルヲ以テ配當前輸送

指揮官ハ本船ト棧橋ノ往復時間乗船時間及棧橋ト集合場トノ距離等ヲ顧慮

シ陸上解船本船ノ三部ニ分チテ配當スルモノトス

六

衛兵及哨兵

陸上及船内ニ衛兵ヲ設ケ集合場及棧橋軍旗馬欄甲板其他所要ノ箇所ニ哨

兵ヲ配置シテ乗船ノ秩序維持及乗船中ニ於ケル船内ノ取締ニ任スルモノト

七

乗船上陸準備

輸送指揮官ハ乗船及上陸ノ順序ヲ顧慮シ乗船ニ要スル準備時間ヲ計リ輸

送スヘキ軍隊ヲ同時又ハ數回ニ分チ乗船場ニ到着セシメ此處ニ於テ軍隊ハ

馬裝ヲ解脱シ或ハ材料ヲ梱包シ直ニ乗船ニ著手セシム此準備時間ハ通常徒

歩兵ニ在リテハ約三十分乗馬兵隊ニ在リテハ約一時間トス而シテ前述ノ如

ク各部隊準備中ニ所要ノ衛兵及使役兵ヲ配置シ又解船ニ依リ乗船上陸ノ際

ハ其搭載力ヲ顧慮シ人馬材料ヲ數箇班ニ區分シ各班ニハ爲シ得レハ將校然

ラサレハ下士ヲ配屬シ以テ靜整迅速ニ乗船上陸セシム要スルニ乗船スル軍

隊ヲシテ無益ニ永ク乗船場ニ駐止セシムルコトナキカ如ク計畫實施スルヲ

要ス又部隊ハ常ニ輸送指揮官ノ命令アル迄ハ整然ト所命ノ位置ニ在リテ各

其順序ニ從ヒ動作スルモノトス通常乗船ハ材料馬匹人員ノ順序ニ行ヒ上陸

ハ此反對ノ順序ニ行フモノトス故ニ材料ヲ船舶ニ積載スルニハ上陸ニ際シ

先キニ揚陸セシメントスルモノヲ最後ニ搭載スル如クスルヲ要ス

第四百四十四 砲車、彈藥車其他諸材料ハ搭載前適宜ニ結束シ之ニ標牌ヲ附シ紛失、破損等ナキニ注意スヘシ

馬裝具鞍囊ハ分隊毎ニ砲兵ニ在リテ別ニ結束スハ適宜ニ梱包シ標牌ヲ附シテ搭載スヘシ又爆藥等ノ危険品ハ航海中火氣ノ虞ナキ場所ニ貯藏スヘシ

第四百四十五 諸材料ヲ船舶ニ搭載スルニハ最モ先キニ揚陸セントスルモノヲ最後ニ搭載スルヲ法トス而シテ諸材料ハ航海中轉動セサル如ク固定スヘシ
濕氣ヲ含ミ易キ物品ハ船中乾燥ノ場所ニ置クヘシ

材料積載ノ準備

材料搭載ノ便利ト航海中之カ保存ノ適否ハ搭載設備ノ良否ニ關スルヲ以テ搭載前艙内ノ整備ニ關シテハ搭載掛ハ特ニ注意ヲ必要トス

砲車、彈藥車其他諸材料ハ搭載前ニ於テ適宜ニ結束シ之ニ標牌ヲ附シ破損又ハ紛失ナキ如ク注意スヘシ又重砲ノ如キ大重量ノ物ハ轉動ヲ防ク爲木臺ヲ置キテ主艙口ノ直下ニ積入ルヘシ

凡テ諸材料ハ航海中轉動ヲ防ク爲或ハ纏結シ或ハ木楔或ハ錠等ヲ以テ固定ス

ル等適宜ノ方法ヲ講スヘキモノトス

砲兵ニ在リテハ鞍囊ハ砲車毎ニ別ニ結束シ其他ノ馬裝具ハ適宜ニ梱包シ鞍囊ハ分隊毎ニ結束シ各之ニ標牌ヲ附シテ搭載スルモノトス火藥類ハ最後ニ積載シ第一ニ收拾スルヲ以テ原則トス故ニ彈藥庫ノ設ケナキトキハ火藥ノ類ハ失火ニ際スルモ直ニ海中ニ投シ得ル如ク爲ス爲材料ヲ積ミ終リタル後艙口ノ平方形内ニ積載スルヲ便トス要スルニ火藥、火具ノ數ハ危険ナルヲ以テ航海中火氣及發火ノ虞ナキ場所ニ積載スヘキモノトス又濕氣ヲ含ミ易キ物品ハ船中最モ乾燥ノ場所ヲ選ミテ積載スヘシ

第四百四十六

各部隊長ハ豫メ馬匹ノ蹄鐵ヲ検査シ若シ改装スヘキモノアレハ乗船場ニ到ル前ニ於テ必ス改装セシムルヲ要ス

馬匹ハ乗船前成ルヘク緩徐ナル運動ヲ爲シテ之ヲ沈靜ナラシメ且ツ少シク飼料ヲ減シ乗船後直ニ飼料ヲ與フヘシ然ルトキハ居所ヲ變換スルモ速ニ食ニ就キ其場所ニ慣ルルモノトス

乗船セシムヘキ馬匹ヲ埠頭又ハ棧橋ヨリ船内ニ牽キ入ルルトキハ藁沓ヲ穿タシムルカ若クハ踏板上ニ藁草或ハ砂ヲ撒布シ沈靜ナル馬ヲ選ヒテ先導セシムヘシ要ス
船舶輸送

レハ起重機ヲ用フ若シ船舶ヲ棧橋等ニ接著スル能ハサルトキハ馬匹ヲ解船(區底船
 可トス)ニテ輸送セサル可カラス
 馬匹ヲ解船ニ載スルニハ船底ニ藁、藁等ヲ布キ堅固ナル踏板ヲ架シ之ヲ固著シテ其
 動搖ヲ防キ若シ踏板ニ傾斜アルトキハ滑走ヲ防ク爲メ板面約一尺毎ニ木片ヲ釘著
 シ沈靜ニシテ驚怖セサル馬ヨリ牽キ入ルヘシ
 解船ニ在ル馬匹ハ同一側方ニ向ハシメ且ツ各馬ノ間ニ成ルヘク馬栓棒ヲ設クヘシ
 若シ二解船ヲ並列シ小蒸汽船ヲシテ曳カシムルカ如キ場合ニ在リテハ馬頭ヲ互ニ
 相對向セシムヘシ
 馬ヲ解船ヨリ船舶ニ引揚クルニハ解船ニ在ル數人ノ使役兵ヲシテ馬絡ヲ馬體ニ裝
 シ其鎖ヲ交叉シテ起重機ノ鈎ニ嵌入セシム是ニ於テ船員ハ此機ヲ使用ス
 馬ヲ引揚クルニハ迅速ニ船底ヨリ離スヲ要ス而シテ適宜ノ高サニ引揚ケタルトキ
 ハ靜ニ甲板上(甲板上ニハ藁又ハ藁ヲ以テ柔カナル牀ヲ作ルヘシ)ニ卸シ四蹄ノ板上
 ニ觸ルルヲ直ニ使役兵ヲシテ馬絡ヲ脱シ最遠ノ馬欄ヨリ順次ニ牽キ入レ且ツ隣馬
 ト爭鳴セサル如ク繋カシムヘシ

馬匹ノ乗船法

馬匹ノ管理ハ作戰ニ影響スル大ナルヲ以テ各部隊長ハ搭載前周密ノ注意ヲ要ス

一 蹄鐵中改装ノ必要アルモノハ乗船場ニ到ル前之ヲ改装シ又乗船前緩徐ナ
 ル運動ヲ行ハシメ少シク飼料ヲ減シ沈靜ト居處變換ヨリ生スル不食及場所
 慣レセサルコトナカラシムヘシ

二 搭船セシムル馬匹ハ水勒ニテ乗船場ニ引致シ埠頭、棧橋或ハ浮橋ヨリ馬匹
 ヲ船内ニ牽入レ或ハ解船若ハ區底船ヲ用フ解船等ニ入ルヲ嫌フ馬匹ハ鐵道
 輸送ノ部ニ於テ述ヘタル方法ニ依ルヘシ而シテ常ニ船底ニ藁、藁又ハ草等ヲ
 撒布シ要スレハ藁靴ヲ穿タシメ以テ滑走ヲ防クヲ要ス

三 水與器ハ各自携帶シ又摩擦用束藁ヲ準備スルコト

四 不健康ノ馬匹ハ最後ニ搭載シ且ツ隔離スルヲ要ス

五 搭載セントスルトキ解船ト棧橋トノ接著ヲ確實ニスヘシ若接著スルコト
 能ハサルトキハ堅固ナル陷板ヲ架シ之ヲ固著シテ動搖ヲ防キ滑走ノ憂アル
 トキハ之ニ若干間隔ニ木片ヲ釘著スルヲ要ス

六 解船輸送中往々驚怖シテ海中ニ飛込ム馬匹アルヲ以テ本船トノ距離遠隔
 スルトキハ豫メ救助船ヲ配置スルヲ要ス又驚怖スル馬匹ハ爲シ得レハ小蒸

汽船ニテ曳船ヲ爲ササルヲ可トス

七 舢舨船ニ馬匹ヲ入ルルトキハ馬首ヲ同一方向ニ向ハシメ各馬間ニ爲シ得レ

ハ馬栓棒ヲ設ク又二舢舨船ヲ連結スルトキハ馬匹ハ互ニ對向セシム而シテ輸

送中ハ馬匹ノ頭部ヲ高上シ嗜好品ヲ與ヘテ其沈靜ニ努ムルコト

八 舢舨船ヲ本船ニ接近スルニハ馬匹ノ頭部ヲ本船ノ舷側ニ對向スルコト

九 馬匹ノ搭載ハ中甲板ヨリ下甲板下艙ノ順序トシ上甲板ハ最後ニ搭載スル

モノトス

十 馬絡ノ裝著ハ馬體ノ中央ニシテ十分緊著スルヲ要ス若十分ナルトキハ

馬匹ノ馬絡ヨリ離脱シ墜落スル虞アリ又起重機ニ依リ引揚ルトキハ舢舨船内

ニ在ル使役兵ハ人馬ノ負傷セサルニ注意スルヲ要ス

十一 搭載後居所ヲ變スルモ恐怖セス直ニ其場所ニ慣レシムル爲少量ノ秣ヲ

與フヘシ

スヘシ若シ舢舨船ヲ用フルトキハ將校若クハ下士卒ノ誘導ニ依リ銃ヲ提ケテ之ニ乘リ
込ミ順次ニ遠キ所ヨリ艙部ニ面シテ位置シ前後左右ノ間隙ヲ密締シ漕航中ハ靜肅
ナルヲ要ス而シテ海上危難ノ虞アルトキハ豫メ背囊ヲ説シ且ツ踏坐セシムルヲ可
トス
下士卒乗船セハ各自ノ座席ニ著キ銃ハ劍ト共ニ之ヲ座側ニ置キ背囊(乗馬兵及馬
卒ニ在リテハ鞍囊)ハ之ヲ結束シテ枕ニスル如ク置クヘシ但シ外套ハ常ニ結束シア
ルヲ要セス使用セサルトキハ之ヲ疊ミ背囊上ニ置クヘシ
馬匹ヲ有スル兵卒ハ馬欄内及馬裝具ヲ整頓シ然ル後鞍囊ヲ受領シ(乘馬兵及馬卒ノ
ミ)所定ノ座席ニ著クモノトス

人員ノ乗船法

人員ノ乗船法亦本令明示シテ餘蘊ナシ要ハ下士卒ハ順序ニ從ヒ靜肅ニ乗船シ
速ニ之レヲ完了スルニ在リ乗船場棧橋等ノ混雜セサル爲特ニ軍紀ヲ嚴肅ニシ舢
舨ニハ定規ノ人員一人モ漏レナク順序正シク乗船シ運送船等ニ登ルニハ負銃或
ハ提ケ銃ヲ爲シ誘導者ニ導カレ延伸セサル如ク速ニ座席ニ著キ裝具ヲ整頓シ人
員檢査ヲ受クルモノトス此際喧噪騷擾セサルコト最モ緊要ナリ馬匹ヲ有スルモ

ノニ在リテハ先ツ馬欄内ニ馬裝具ヲ整頓シ後鞍囊ヲ受領シ所定ノ座席ニ著クモ
ノトス

第四百四十八 乗船場ニ備ヘタル衛兵ハ人馬材料ノ搭載終レハ直ニ乗船シ輸送指
揮官ニ搭載ノ完了ヲ報告スヘシ

第四百四十九 乗船完結セハ輸送指揮官ハ船長ニ通報シ船内ヲ巡視シ人馬材料搭
載ノ景況ヲ検査スヘシ下士兵卒ハ此検査終ル迄其座席ニ在リ且ツ背囊等ヲ開ク可
カラス

乗船ノ完結

人馬材料ノ搭載終リ衛兵其完了ヲ輸送指揮官ニ報告スルヤ該官ハ之ヲ船長ニ
通報シ各部隊長及日直將校ヲ伴ヒ船内ノ景況ヲ検査ス下士以下ハ此検査終ル迄
決シテ背囊ヲ開キ日用品ヲ採取シ若ハ座席ヲ離ルルヲ得サルモノトス

乗船後船内ノ諸規定ヲ守リ船員ノ業務ヲ妨碍セス靜肅ニシテ出帆ヲ待チ狼ニ
甲板上ニ蟬集スヘカラス

輸送指揮官ハ検査後直ニ諸勤務、日課時限、糧秣分配等ニ關スル命令ヲ下スモノ
トス

夜間ノ乗船、上陸

夜間ノ乗船、上陸ハ晝間ニ比シ頗ル多クノ時間ヲ要シ困難ナルノミナラス危険
大ナリ故ニ軍隊ハ最モ靜肅ニシ確實ニ秩序ト連絡ヲ保持シテ之ヲ實行セサルヘ
カラス其注意概ネ左ノ如シ

一 海岸ニハ炬火若ハ燭光大ナル電燈ヲ又集合場、棧橋、各艀船ニハ燈火ヲ掲ク
ヘシ

二 集積場、馬繫場等ハ區劃ヲ明瞭ニシテ混雜ヲ避クヘシ若シ要スレハ張網ヲ
用ヒテ境界ヲ定ムヘシ

三 潮時ハ搭揚ニ大ナル關係ヲ有スルヲ以テ其満干ヲ顧慮シテ搭載揚陸ノ進
捗ヲ圖ルヘシ

四 使役兵及各掛員ハ識別徽章ヲ纏フヘシ

- 五 舢舨ハ成ルヘク大ニシテ多數ノ準備ヲ必要トス是レ晝間ニ比シ搭載人馬數ヲ約三分一ニ減スルヲ要スレハナリ
- 六 小蒸汽船ハ衝突ノ危険ヲ豫防シ且ツ曳船舢舨數ヲ減少スルヲ可トス
- 七 舷梯及棧橋ト本船間ニハ救助船ヲ配置シ之ニ救命具ヲ備ヘ認識用燈火ヲ掲クヘシ

天候不良時ノ乗船上陸

軍隊ハ其一部ト雖急ヲ要スレハ天候不良時ニテモ乗船上陸セサルヘカラサル情況アリ而シテ晝間舢舨ヲ本船ノ舷側ニ繋留シ得ル程度ノ波浪ナルトキハ之ヲ實施セサルヘカラサルモノトス然レトモ季節風向潮汐ノ關係時刻其他風波ノ鎮靜ヲ數時間後ニ豫知シ得ルトキハ強テ此危険ヲ冒スヲ要セサルヘシ天候不良時ニ於ケル乗船上陸上ノ注意要件概ネ左ノ如シ

- 一 舢舨ハ成ルヘク大ナルモノヲ選用シ其搭載人員ヲ定規ノ約三分一トス
- 二 兵卒ハ成ルヘク輕裝セシメ負銃ヲ以テシ背囊等ハ大舢舨ニテ別ニ搭揚ス

- 三 馬匹ハ成ルヘク危險豫防ノ爲深底ノ舢舨ヲ用ヒテ搭揚ス
- 四 本船ヨリ數條ノ綱梯子ヲ垂レ搭揚ヲ補助ス
- 五 搭揚ハ潮汐ニ注意シ風向ニ反對スル舷側ニ於テスルヲ可トス

第四百五十 船舶上陸地ニ到着スル前輸送指揮官ハ必要ナル命令ヲ下シ上陸準備ヲ爲サシムヘシ此際下士兵卒ノ濫ニ其位置ヲ去ルヲ禁ス
船舶已ニ上陸地ニ到着セハ輸送指揮官ハ成ルヘク速ニ碇泊場司令部ト交渉シ要スレハ所要ノ人員ヲ差遣シ上陸ニ關スル百般ノ事項ヲ協議セシムヘシ若シ此官衙ノ設ケナキトキハ豫メ受ケタル命令ノ趣旨ニ從ヒ監督將校ト協議シ上陸ノ順序、方法、開始ノ時刻等ヲ規定シ到着後直ニ所要ノ職員及使役兵ヲ上陸セシメ集合場ノ選定、宿營ノ設備其他陸上ニ於ケル諸準備ヲ爲サシムヘシ

上陸ノ諸準備

運送船入港セハ海運官衙ハ投錨前錨地ノ區域若ハ舢舨ノ番號ヲ信號法ヲ以テ規定シ錨地ノ變更ナカラシムモノトス此際輸送指揮官ハ必要ナル上陸命令ヲ與ヘ上陸ニ關スル諸準備ヲ爲サシム下士卒ハ既ニ述フル如ク靜肅ニ所定ノ位置

ニ在リテ命ヲ待ツヘシ

船舶上陸地ニ投錨セハ輸送指揮官ハ速ニ所要ノ將校以下ヲ碇泊場司令部ニ出シ百艘ノ協議ヲ爲スヘシ若此官衙ナキトキハ豫メ受ケタル命令ノ趣旨ニ從ヒテ監督將校ト協議シ上陸ノ順序方法開始ノ時刻等ヲ規定シ所要ノ職員使役兵ヲ先ツ上陸セシメ集會場宿營其他百艘ノ準備ヲ爲サシム

第四百五十一 上陸ノ順序ハ通常乗船ト反對ニ行フモノニシテ又馬匹材料ニ關スル注意並衛兵使役兵ノ配置等ハ概ネ乗船ノ時ト同法ニ從フヘシ而シテ上陸ノ開始ハ陸上ノ準備整頓シタル後ニ於テシ一旦之ヲ始ムレハ成ルヘク短少時間内ニ之ヲ終ルコトヲ勉ムヘシ
上陸ノ迅速及難易ニ最大ナル影響ヲ及ボスハ天候海岸ノ景況及揚陸材料ノ多寡ナリトス故ニ之ヲ顧慮シテ上陸ノ計畫ヲ爲スヘシ敵前ノ上陸ニ在リテハ殊ニ然リトス

軍隊ノ上陸法

上陸ハ通常乗船ト反對順序ニシテ陸上ニ於ケル使役兵衛兵ノ配置(配置法及諸

注意ハ概ネ乗船ノ時ニ同シ終リタル後ニ於テ行フ法トス而シテ上陸ハ一旦之ヲ開始セハ間斷ナク之ヲ實施シ成ルヘク短少時間内ニ之ヲ終ルヲ要ス

上陸ニ要スル時間ハ舢舨棧橋等揚陸材料ノ多寡天候海岸ニ到ル距離及狀態ニ比例シ其軍紀ノ緩嚴亦大ニ影響スルモノトス通常本船ト海岸ノ距離千米ニ於テ一梯隊ノ搭載及往返ニ要スル時間概ネ筏(曳船)ハ約一時間舢舨ハ約一時間三十分間トス但シ此時間ハ人員及輕材料ニ要スルモノニシテ馬匹及車輛ニハ尙ホ是ヨリ多クノ時間ヲ要スヘシ殊ニ敵前ニ於テハ更ニ大ナル時間ヲ要スヘシ

未知ノ港灣上陸

未知ノ港灣上陸ニ際シテハ勉メテ海岸ニ接近シテ適當ノ錨地選定ヲ以テ主要トス之カ爲輸送指揮官ハ船長ヲシテ上陸ヲ企圖スル地點ノ潮流ノ方向水深等ヲ實査セシメ而シテ成ルヘク之ニ接近シテ投錨セシメ速ニ偵察隊ヲ上陸セシメテ上陸點ノ所要事項ノ偵察ヲ爲サシムヘシ

上陸點ハ作戰上ノ要求ヲ顧慮シテ概ネ左ノ諸件ヲ偵察スルモノトス

- 一 海岸ノ廣袤、土質、水深、舢舨接著ノ便否、棧橋等、上陸設備ノ難易
 - 二 潮流ノ方向、速力及滿干潮ノ差(上陸準備ニ大ナル關係ヲ有スルヲ以テ最モ注意シテ偵察スルヲ要ス)
 - 三 筏、舢舨等繫留地ノ有無
 - 四 揚陸材料並人夫等徵發ノ關係
 - 五 集積場、集合場並道路ノ狀態
 - 六 宿營地及之ニ要スル材料及水ヲ得ルノ便否
- 而シテ偵察ノ結果ニ依リテ之ヲ規定實施セシム之ニ要スル諸材料ハ携行セルモノニ依ルモノトス

第四百五十二 諸兵種ヲ一船舶ニ搭載セシトキハ成ルヘク步兵ヲシテ第一ニ上陸セシメ騎兵(時トシテハ騎兵ノ一部ヲ最先ニ上陸セシムルヲ要スルコトアリ)、砲兵等之ニ次キ最後ニ行李ヲ揚陸スルモノトス但シ監視ノ爲メ將校一人ニ所要ノ下士兵卒ヲ附シ船中ニ殘シ其最終ノ行李ト共ニ上陸セシムヘシ

時宜ニ依リ上陸點ヲ準備スル爲メ工兵ヲ最先ニ上陸セシムルコトアリ

第四百五十三 揚陸材料缺乏シ他ニ方法ナキ場合ニ於テ情況之ヲ許セハ馬匹ヲ揚陸スルニ游泳法ヲ用フルコトヲ得而シテ水中ニ卸スニハ馬絡ヲ裝シ之ヲ吊下シ馬體水中ニ達スレハ馬絡ヲ外シテ游泳セシメ馬手ハ舢舨ニ在リテ勒ヲ執リ馬頭ヲ支持シテ之ヲ幫助シ以テ共ニ上陸スヘシ馬匹ヲ揚陸セント欲スル岸上ニハ若干ノ馬匹ヲ繫置スルヲ可トス是レ水中ノ馬匹ハ陸上ノ馬群ヲ望ンテ常ニ其地ニ向ヒ游泳スルモノナレハナリ然レトモ此ノ如キ揚陸法ハ馬匹ニ後害ヲ遺スコト多キヲ以テ已ムヲ得サル時ニ非サレハ行フ可カラズ

第四百五十四 既ニ揚陸セシ人馬材料ハ速ニ埠頭若クハ棧橋ヲ去ラシメ以テ爾後ノ上陸動作ヲ滯留セシメサルコト極メテ緊要ナリ

航海數日ニ涉リ馬匹ノ輸送ヲ爲シタルトキハ揚陸後特ニ體力ノ回復ト四肢ノ保護トニ勉ムヘシ就中徵發馬匹ニ於テ此注意ヲ緊要トス

上陸ニ關スル諸種ノ注意

諸兵種同一船舶ニ在ルトキハ第一ニ步兵、敵ノ顧慮アルトキハ騎兵ノ一部ヲ上陸セシメ乘馬隊ヲ後トスルヲ原則トス何トナレハ歩騎兵ハ直ニ對敵動作ヲ開始スルニ便ナル兵種ナルヲ以テナリ而シテ行李、輜重ヲ最後ニス上陸點補急設備ト

シテ工兵ヲ第一著ニ上陸セシムルハ専ラ上陸點ノ地形ト敵情ニ依ルモノトス
總テ上陸セハ埠頭若ハ棧橋ヲ空虛ニシ後方上陸者ノ便宜ヲ圖ル爲速ニ集合場
等ニ赴クヲ要ス馬匹ハ其搭船セシト游泳セシトニ論ナク適度ノ體力回復法ヲ施
スヲ可トス

其他揚陸ニ際シテハ本令ノ規定ニ從ヒ搭船ノ要領ヲ應用シテ靜肅迅速ニ實施
スヘシ

第四百五十五 敵前ニ於テスル乘船上陸ハ極メテ困難ナルモノニシテ其時ノ情況
殊ニ敵ノ兵力、地形、我海軍ノ動作等ニ關スルコト大ナリ故ニ軍隊指揮官ハ海軍ノ先
任官(高級故參者)ト協議シ其情況ニ應シテ適當ノ處置ヲ爲スヘキモノトス但シ乘船
上陸ノ詳細ニ關シテハ碇泊場司令官ト交渉スルヲ要ス

敵前ニ於テスル上陸、乘船ノ動作

敵前ニ於テスル乘船、上陸ノ動作ハ極メテ困難ナルモノニシテ其時ノ情況殊ニ
敵ノ兵力、地形、我海軍ノ動作等ニ關スルコト大ナリ從テ上陸法多々アリテ固ヨリ

一定スル能ハス故ニ軍隊指揮官ハ海軍ノ先任官及碇泊場司令官ト協議シ其情況
ニ應シテ適當ノ處置ヲ爲スヲ要ス左ニ普通ノ場合ニ於ケル方法ノ梗概ヲ説述ス
ヘシ

上陸點ハ我軍ノ作戰計畫ニ依リ其上陸地點ヲ訓令セララルヲ以テ敵ノ在不
在ニ關セス其所命ノ地點附近ニ於テ成ルヘク上陸ニ便利ナル地點ヲ選ミ以テ
上陸セサルヘカラサルナリ

此地點ニシテ若シ敵兵一帯ノ海岸ニ防備シアルトキト雖其附近適宜ノ地點
ヲ偵察シ此處ニ上陸動作ヲ開始セサルヘカラサルナリ

而シテ敵前上陸ハ其上陸軍ノ作戰初期ニシテ此地ハ又其上陸軍ノ根據地タ
ルヘキ處ナリトス而シテ上陸ニ際シテハ我海軍ノ援助ニ俟ツ所大ナリトス

某地點ニ上陸ヲ命セラレタル軍隊ハ多數ノ運送船ニ依リテ輸送セラレ海軍
ノ護衛ヲ受ケツツ航行ス此際敵ハ有ラユル手段ヲ講シ我上陸點ヲ偵察スルナ
ルヘシ之カ爲運送船ハ通常我目的トスル上陸點ニ遠カラサル地點(港灣)ニ假泊
シ海軍ニ依リ先ツ上陸地點ハ偵察セラルルモノトス而シテ其地點決定セハ拂

曉以前ニ其地ニ到着シ得ル如ク出帆シ諸準備ヲ整ヘ通常拂曉ヨリ上陸ヲ開始スルモノトス而シテ海軍ハ先ツ陸戰隊ヲ以テ上陸シ我歩兵ノ上陸ト共ニ之ト交代シ上陸動作ヲ掩護シ遂ニ全隊ノ上陸ヲ了ルモノトス

上陸點ハ右ノ上陸ヲ實施スル爲便利ナル地形ナラサルヘカラス通常我方ニ突出シタル小半島形ニシテ上陸點ニ適當ニ接近シ得ヘキ水深ヲ有シ又掩護部隊ノ據ルヘキ陣地アルヲ要ス而シテ海軍ハ半島ノ南方ニ配列シ砲火ヲ以テ敵ヲ支持シ上陸動作ニ對スル敵ノ妨碍ヲ除去スルヲ勉メ得ラルル如クナラサルヘカラス此ノ如クシテ逐次陸軍部隊ハ上陸ヲ實施シ其掩護部隊ハ陣地ヲ護衛シ以テ敵ノ攻撃ニ備ヘ全部ノ上陸ヲ完ウスルモノトス

敵ノ攻撃ニ際シ撃退セララルルニ至ルモ一部ノ歩兵及砲兵ハ能ク之ヲ掩護シ且ツ海軍ノ協同ヲ受ケ以テ全部ノ退却ノ爲乗船動作ヲ掩護シ得ル如クスルヲ要ス

要スルニ敵前上陸ハ周到ナル上陸點ノ偵察ト我運送船ノ行動ヲ敵ニ察知セラレサルト上陸ニ要スル諸準備及其材料ノ豊富ナルト敵ノ不意ニ乗シ上陸ヲ

開始スル等ニ依リ之ヲ實施シ得ルモノトス而シテ海軍ノ援助ニ依ルコト確實ナルニ從ヒ上陸ハ益々容易ニ實施シ得ルモノトス

前述ノ如ク上陸完了シ軍隊ノ出發シ得ルニ至レハ此上陸點ハ其軍隊ノ根據地トナルヘキヲ普通トスルヲ以テ上陸掩護陣地ハ變シテ根據地掩護ノ陣地トナルモノトス

敵前ニ於テスル上陸乗船ハ共ニ極メテ困難ナル動作ニシテ前述セル如ク其時ノ情況敵情地形ニ依リ影響ヲ受クルコト大ナリ又常ニ海軍ノ動作ニ俟ツ處大ナルヲ以テ輸送指揮官ハ海軍先任官ト熟議シ以テ其時ノ情況ニ應ジ適當ナル處置ヲ爲スヲ緊要トス而シテ上陸ニ要スル諸般ノ材料ハ悉ク之ヲ携行シ同船ニアル碇泊場司令部員ト協議シ苟モ實施スルニ方リテハ極メテ靜整且ツ確實ニ間斷ナク之ヲ實施シ速ニ戰鬪ヲ交ヘ得ヘキ陸軍ヲ迅速ニ陸地ニ揚陸セシムル如ク區處セサルヘカラス

第三章 航海中ノ心得

航海中ノ心得ニ就テハ本令ノ明示到レリ盡セリ茲ニ述フル所ハ蛇足ニ過キス

第四百五十六 輸送指揮官ハ船内ニ於ケル軍隊ノ諸勤務、日課時限及糧秣分配等ニ關シ船長ト協議シテ之ヲ定メ所要ノ命令ヲ下ス
各船舶ニ日直將校一人、同下士若干人(通常各船室ニ一人)ヲ置キ且ツ衛兵ヲ備フルモノトス

日直將校ハ日直下士及衛兵ノ長官ニシテ哨兵ヲ配置シ且ツ時々船内ヲ巡察シテ輸送指揮官ノ命令ヲ實施シ特ニ火災及衛生上ノ取締ニ任スルモノトス
前項ノ諸勤務ニ服スル者ハ別命ナルニ非サレハ銃ヲ携帯セス單ニ銃劍若クハ刀ヲ帶フルモノトス

第四百五十七 船中ニテ一般ニ服膺スヘキ件概ネ左ノ如シ

寸楯等ノ發火器ヲ携帯セサルコト

喫煙、飲食、洗面等ハ必ス所定ノ場所ト時間トニ於テシ又船内ヲ汚穢ナラシメサルコト

清水ノ使用ヲ節約スルコト

船橋或ハ前樓ニ上リ舵室、機關室及庖厨ニ入り又羅針盤ノ周圍及階梯ノ近傍ニ佇立ス可カラサルコト

私ニ燈火ヲ點シ又ハ所定ノ燈火ヲ他ニ持チ行ク可カラサルコト

私ニ燈火ヲ點シ又ハ所定ノ燈火ヲ他ニ持チ行ク可カラサルコト

第四百五十八 長時日ニ渉ル航海ニ在リテハ適宜ニ時刻ヲ定メ兵卒ニ學術科ノ練習ヲ爲サシムルヲ要ス但シ練習ノ爲メニ號音ヲ用フルヲ禁ス

輸送指揮官ハ船長ト協議シ甲板上ニ一ノ運動場ヲ定メ毎日少クモ一回歩行運動(成ルヘク軍歌ヲ用ヒ)ヲ爲サシムルヲ要ス之カ爲メ其場所ノ廣狹ト人員ノ多少トニ從ヒ之ヲ數班ニ區分シ時刻ヲ定メ順序ニ運動セシメ此際空虛ト爲リシ船室ヲ清掃セシムヘシ

狹縮ナル搭載ヲ爲シタル場合ニ在リテハ各船室ノ人員ヲ交互ニ甲板上ニ出シテ室内ノ人員ヲ適宜減少シ横臥休息セシムルヲ要ス

第四百五十九 航海中將校ハ時々馬匹ヲ巡視シ其健否ヲ檢シ殊ニ空氣ノ流通及馬欄ノ清潔ニ注意スヘシ而シテ馬欄ニハ時々防臭劑ヲ撒布シ以テ糞尿ヨリ生スル臭氣ヲ消滅セシムルヲ要ス但シ防臭劑ハ各運送船ニ準備シアルモノトス
馬匹ニ草、藁ヲ與フルニハ爲シ得レハ之ヲ細切シ槽内ニ麥ノ有ラサル時數回ニ與フルヲ要ス

馬匹約百頭毎ニ豫備馬欄四箇ヲ又約六十頭毎ニ寬廣ナル馬房一箇ヲ備フルモノトス豫備馬欄ハ之ヲ兩端ニ分置シ馬欄ヲ洒掃スルニ方リ馬匹ヲ之ニ移スノ用ニ供シ馬房ハ病馬ノ用ニ充ツルモノトス

海上靜穩ナレハ懸帶ヲ以テ馬體ヲ吊リ風波劇烈ナレハ之ヲ脱シ砂又ハ糞ヲ撒布スルヲ要ス蓋シ懸帶ハ四肢ヲ休ムルニ必要ノモノナリト雖モ船體動搖ノ時脱去セサ

レハ馬體各所ニ抵觸スルノ害アリ此時四肢ヲ立タシムレハ却テ能ク船體ノ動搖ニ抗シ且ツ滑倒ヲ防クヲ得ルヲ以テナリ
海上靜穩ノ時ニ於テ馬欄ヲ洒掃シ又日々糞ヲ以テ馬ノ四肢ヲ摩擦スルヲ要ス是レ馬體關節ノ凝硬ヲ緩和スルノ良法ニシテ上陸後直ニ使用セントスルトキハ殊ニ緊要トス

第四百六十 航海中船舶ノ港灣ニ寄港スルコトアルモ輸送指揮官ハ特ニ必要アル時ノ外一人ト雖モ上陸セシム可カラズ

第四百六十一 失火、坐礁、衝突等ノ場合ニ在リテハ將校以下ハ極メテ靜肅ニ所定ノ位置ニ在リテ船員ノ動作ヲ妨礙セサルヲ緊要トス唯輸送指揮官ヨリ特ニ指示セラレタル者ノミ船員ヲ補助スヘシ

第四百六十二 航海中敵ノ艦艇ニ遭遇シタル場合ニ於テ輸送指揮官ハ時機之ヲ許セハ船舶ノ進退ニ關シ監督將校ト協議シタル後乗船部隊ノ進退ヲ決スルモノトス

航海中輸送指揮官ノ注意

輸送指揮官ハ航海中人馬ノ健康ヲ増進シ船内ノ諸規定ヲ遵守セシメ火災ヲ戒メ凡テ水ノ使用ヲ節シ適宜ノ運動ヲ行ヒ室内、甲板總テ清潔ニシテ亂雜ナク軍紀ヲ嚴ニシ航海長キ時ハ日課時限中精神教育或ハ軍事學ヲ交ヘ特ニ上陸ニ關スル

諸件ヲ教習スルヲ要ス又輸送指揮官ハ豫メ船長ト協議シ日々使用スル清水量ヲ規定ス(食事用ノ外概ネ一日一人二升五合、一馬八升ヲ基準トス水量缺乏セルトキハ尙ホ之ヨリ減スルコト在ルヘシ)而シテ航海中寄港スルコト在ルモ一人モ隨意ノ上陸ヲ許サス是レ取締困難ニシテ軍紀風紀ヲ紊リ且ツ發船ノ妨ケト爲ルヲ以テナリ而シテ萬一失火、坐礁、衝突等ノ場合ニ在リテハ將校以下極メテ靜肅ニ指定ノ位置ニ在リ船員ノ動作ヲ妨礙セサルヲシムヘシ其船員ヲ補助スルハ特ニ輸送指揮官ノ指示シタル者ニ限ルモノトス又敵ノ艦艇ト遭遇セシトキノ處置ハ監督將校ト協議ノ結果ニ依ルヲ要ス此際特ニ下士以下ノ喧噪ヲ戒ムルヲ要ス

航海中下士以下ノ注意

下士以下ハ日課時限日直將校下士ノ命令指示ヲ遵守シ猥ニ甲板上ニ徘徊セズ船員ノ業務ヲ妨礙スルコトナク又禁制ノ場所ニ立入ラス靜肅ニ其居室ニ在ルヘシ其新鮮ノ空氣ヲ呼吸スル爲メ甲板上ニ出ルハ總テ日直將校下士ノ指示ニ依ルモノトス而シテ飲食物ヲ節シ飲水ニ注意シ室内ヲ清潔ニシ上陸後ノ健康ヲ保持ス

ルヲ努メサルヘカラス

諸勤務兵ノ外刀劍ヲ佩用セス室内整備ノ混亂ヲ豫防スルハ航海中ノ最大要務ナリトス

不時ノ事變ニ際シテハ靜肅ニシテ沈著ニ輸送指揮官及監督將校ノ指示ニ從ヒ母船ト運命ヲ共ニスルノ覺悟ヲ以テ輕舉暴動スヘカラス

航海中ニ於ケル馬匹ノ注意

航海中馬糧ハ大麥二升秣一貫ヲ普通トシ三回ニ分與スルヲ可トス而シテ將校ハ時々馬房ヲ巡視シ其健否ヲ檢スルヲ要ス又常ニ槽内ハ最モ清潔ニシテ糞ヲ以テ肢脚ヲ摩擦シ馬欄内ハ丁寧ニ掃除シテ格魯兒石灰水ヲ撒布シ糞尿ヨリ發スル安謨尼亞氣ヲ消滅シ炎暑ノ候ハ唧筒ヲ以テ洗淨スルヲ要ス又馬匹ハ航海中便祕スルヲ常トスルヲ以テ穀ヲ準備シ一日一回ハ麥ノ一分ヲ穀ヲ以テ代用シ或ハ煉飼トシテ與ルヲ可トス

水飼ハ朝夕二回ナルモ炎暑ノ候ハ三回ヲ可トス而シテ水ハ制限以内ニ於テ成

ルヘク多ク與ヘ航海中ノ渴ヲ慰スヘシ又手入完全ナル能ハサルヲ以テ毎日眼鼻陰部等ヲ清拭スヘシ

厩當番ハ船舶ニ慣レ船量ノ憂ヒナキ者ヲ選フヘシ而シテ常ニ馬匹ニ注意シ懸帶ノ緊否病馬ノ有無等ニ特ニ注意セシムルヲ要ス

第四章 給 養

第四百六十三 船中ニ於ケル人馬ノ給養ハ左ニ掲ケル中ノ一ニ依リ之ヲ行フモノニシテ其何レニ依ルヘキカハ輸送ヲ命スル長官之ヲ定ム

人馬共ニ船主ノ供給ニ依ル

人員ハ船主ノ供給ニ依リ馬匹ハ現品官給ニ依ル

人馬共ニ現品官給ニ依ル

第四百六十四 現品官給ノ場合ニ在リテハ軍隊ナシテ自ラ調理炊爨ヲ爲サシムルコトアリ然ルトキハ輸送指揮官ハ給養ノ實行ニ關シ船長ト協定スルモノトス

第四百六十五 現品官給ノ場合ニ在リテハ給養品ハ通常乗船地ノ碇泊場司令部ヨリ交付スルモノニシテ輸送指揮官其受授出納ヲ掌ルナ例トス

軍隊上陸ニ際シ官給給養品ニ殘餘アルトキハ輸送指揮官ハ之カ返納ノ手續ヲ爲スヘシ其返納スヘキ官衙ハ臨時規定セラルルモノトス

船舶内ニ於ケル給養ハ人馬共ニ船主ノ供給ニ依ルヲ以テ至便トスルモ大輸送ニ在リテ悉ク船主ノ供給ヲ受クルトキハ船主ハ糧秣ノ購買ニ多クノ時日ヲ要シ輸送ヲ溢帶セシメ延テ全輸送ニ大影響ヲ及ホスコト在ルヲ以テ乘船地碇泊場蓄積糧秣ノ多寡、船舶ノ準備數量及全般輸送ノ關係ヲ顧慮シ

- 一 人馬共ニ船主ノ供給ニ依ル
- 二 人員ハ船主ノ供給ニ依リ馬匹ハ現品官給ニ依ル
- 三 人馬共ニ現品官給ニ依ル

ノ三者中適當ニ其一ヲ選ヒテ輸送ヲ命スル長官之ヲ定メテ夫々命令スルモノトス

而シテ現品官給ノ場合ニ於テハ軍隊自カラ調理炊爨ヲ行フコト在リ然ルトキハ成ルヘク船舶ノ事ニ通セル者ヲシテ調理炊爨セシムルヲ可トス之カ實行ニ關シテハ輸送指揮官ハ船長ト其實行ニ關シ協定スルモノトス

現品官給ノ場合ニ在リテハ通常乘船地ノ碇泊場司令部ヨリ現品ヲ交付セラルルモノトス其受領出納ハ輸送指揮官之ヲ掌ル而シテ上陸スルニ方リ該交付現品ニ殘餘ヲ生スルトキハ臨時指定セラルヘキ官衙ニ指揮官ハ之ヲ返納スルノ手續ヲ爲スモノトス

第十五篇 兵 站

第四百六十六 兵站勤務ハ主トシテ野戰軍ノ作戦力ヲ保持スルニ必要ナル人馬物件ノ前送、作戦ニ必要ナキ人馬物件ノ後送、通行人馬ノ宿泊及給養、野戰軍ノ背後連絡線ノ確保、民政等ヲ包含ス

第四百六十七 兵站線路ハ内地留守部隊所在地ニ發シ野戰軍ノ所在地ニ至ルモノトス而シテ陸路、鐵道、航行シ得ヘキ水路ハ必要ニ應シ兵站線路トシテ之ヲ使用スルモノトス

兵站線路上ニハ通常兵站基地、集積基地、集積主地、兵站主地及兵站地ヲ設ケ之ニ兵站業務ニ必要ナル諸機關ヲ備フ(附錄第十參看)

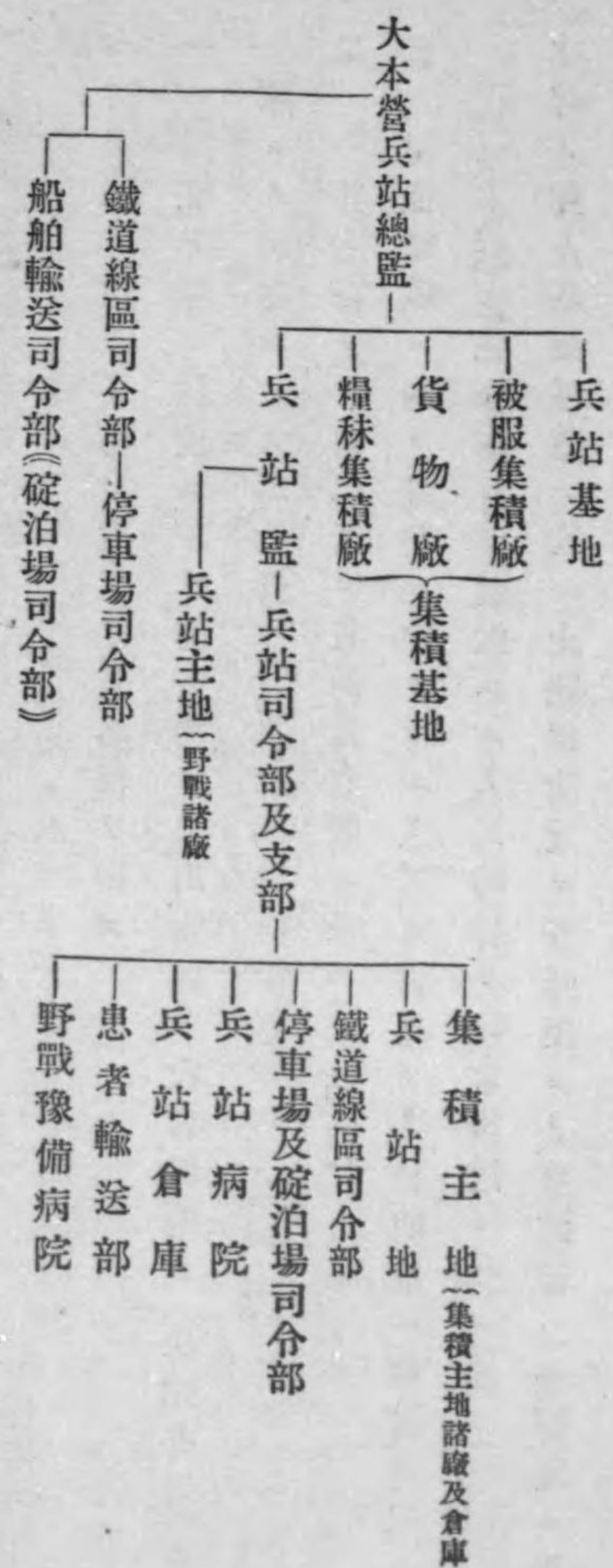
兵站ノ定義

兵站トハ作戰軍ト所屬師管トノ連絡ヲ保持スル機關ニシテ之ニ依リ作戰軍ヲ推進シ人馬補充材料ノ追送ヲ圓滑ニシ作戰軍ヲシテ其前進ヲ澁滯セシメサルノ責ヲ有ス此延長セル機關ノ連絡ヲ兵站線ト稱シ兵站總監ノ統轄ニ屬ス

兵站線路ハ内地留守部隊所在地ニ發シ野戰軍ノ所在地ニ至ル間ニ延長シ其主ナル交通路ハ陸路鐵道及航行シ得ヘキ水路トス故ニ鐵道線區司令部及碇泊場司令部ト密接ノ關係ヲ有ス

兵站線路ハ上記ノ如ク鐵道及船舶ハ其輸送力大ナルヲ以テ之ヲ使用シテ其效果最モ大ナリ然レトモ鐵道ハ作戰ノ自由ヲ束縛シ且ツ敵地ニ在リテハ屢破壞セラルルコト在ルヲ以テ如何ニ鐵道發達スト雖陸路兵站線ハ必要缺クヘカラサルモノナリ

兵站部ノ系統及配屬



兵站管區

軍ハ一箇ノ兵站監部ヲ有シテ之ニ四箇以上ノ兵站司令部及左ノ諸機關ヲ備フ

守備隊 患者輸送部 野戰豫備病院 兵站倉庫 同病院 同電信隊 補助輸

卒隊 輜重監視隊 野戰郵便 豫備馬廠 兵站病馬廠 兵站輸送縱列

其他野戰砲工兵廠糧秣蒐集被服補修薪炭蒐集等ノ機關ヲ附セラレ又時トシテ

建築及防疫ニ要スル機關ヲ附セラルルコト在リ

兵站一般ノ管區ハ左ノ如シ



兵站管區ハ左ノ任務ニ依リ各其名稱ヲ附ス

- 一 出征部隊ニ送致スル爲師管内ノ人馬物件ヲ收容發送ス(兵站基地)出征部隊ヨリ還送スル人馬物件ヲ各其目的地ニ分送ニ任ス(同上)
 - 二 中間ニ在リテ前二者ノ目的地到著ニ任ス(兵站地)
 - 三 出征部隊ニ向テ追送シ來リタル人馬軍需品ヲ各目的地ニ前送分配ニ任ス(兵站主地)出征部隊ヨリ還送スル人馬物件ヲ收容發送ニ任ス(同上)
- 本邦ノ如キ四面環海ノ國ハ上陸地附近ニ各師團ヨリ發送若ハ各師團ニ後送ス

ル物件堆積スルヲ以テ之ヲ選擇甄別スル爲戰地主要ノ地點ニ集積主地ヲ設ケ尙ホ留守師團主要ノ地點ニ集積基地ヲ設ケ之ヲ整理ス

第四百六十八 兵站基地ハ各師管ニ一箇ヲ設ケルモノニシテ同地ニ兵站基地司令部ヲ置キ當該師管内所在ノ留守部隊ヨリ出征部隊ニ送致スヘキ物件ヲ蒐集シ集積基地ヲ經テ之ヲ發送シ又出征部隊ヨリ還送シ來ルモノヲ各其目的地ニ分送スル業務ニ任ス

第四百六十九 集積基地ハ内地主要ノ地點ニ設ケルモノニシテ同地ニ集積基地諸廠其他必要ノ機關ヲ置キ補充諸廠及兵站基地司令部ヨリ出征部隊ニ輸送スヘキ軍需品ヲ集積シ需要ノ緩急ヲ顧慮シテ之ヲ戰地ニ輸送シ又出征部隊ヨリ還送シ來ルモノヲ各其目的地ニ分送スル業務ニ任ス

兵站基地及同司令部

兵站基地ハ各師管ニ一箇ヲ設ケ兵站基地司令部(師管號ヲ冠ス)ヲ置キ當該師管内所在ノ各留守部隊ヨリ出征部隊ニ追送スヘキ物件ヲ蒐集シ集積基地ヲ經テ之ヲ發送シ又出征部隊ヨリ還送シ來ル物件ヲ各其目的地ニ分送スルノ業務ニ任

兵站

スルモノトス

故ニ兵站基地司令部ハ常ニ當該留守部隊諸廠並停車場司令部等ト連絡ヲ保持シテ業務ノ圓滿ニ進捗ヲ圖ルヲ要ス

集積基地及諸廠

集積基地ハ内地主要ノ地點ニシテ交通便利ナル地點ニ設クルモノトス

集積基地ニハ

被服集積廠(兵站基地司令部及被服廠ヨリ追送スル被服及出征軍ヨリ還送スル被服ノ集積處理ニ任ス)

貨物廠(兵站基地司令部及貨物廠ヨリ追送スル貨物衛生材料獸醫材料恤兵品並

出征軍ヨリ還送スル諸貨物材料ノ集積處理ニ任ス)

糧秣集積廠(糧秣廠ヨリ追送スル糧秣及通過軍隊給養ノ糧秣ノ蓄積處理ニ任ス)

其他要スレハ必要ナル機關ヲ備ヘテ前記ノ如ク各兵站基地司令部及補充諸廠

(平時ノ被服廠貨物廠糧秣廠兵器本廠等)ヨリ出征部隊ニ輸送スヘキ軍需品ヲ集

積シ需要ノ緩急ヲ顧慮シテ之ヲ戰地ニ輸送シ又出征部隊ヨリ還送シ來ル此種軍

需品ヲ各其目的地ニ分送スルノ業務ニ任スルモノトス

第四百七十

集積主地ハ戰地主要ノ地點ニ設クルモノニシテ同地ニ集積主地諸廠

其他必要ノ機關ヲ置キ集積基地ヨリ出征部隊ニ輸送スヘキ軍需品ヲ集積シ需要ノ

緩急ヲ顧慮シテ之ヲ兵站主地ニ輸送シ又出征部隊ヨリ還送シ來ルモノヲ收容整理

シ或ハ之ヲ集積基地ニ後送スル業務ニ任ス

第四百七十一

兵站主地ハ通常兵站監部ノ位置スル所ニシテ野戰軍ノ兵站管區内

ニ於テ交通便利ナル地點ニ設ク而シテ同地ニ野戰諸廠其他必要ノ機關ヲ置キ軍需品

ノ蓄積整理前送後送分配等ノ業務ニ任ス

集積主地

集積主地ハ戰地主要ノ地點ニ之ヲ設クルモノニシテ兵站基地ト略同様ナル諸廠ヲ備ヘ前記ノ如ク集積基地ヨリ出征部隊ニ輸送スヘキ軍需品ヲ集積シ出征部隊ニ於ケル需要ノ緩急ヲ顧慮シ甲乙兵站主地ニ適當ニ鹽梅シテ輸送シ又出征部隊ヨリ還送シ來ルモノヲ收容整理シ或ハ之ヲ集積基地ニ後送スル業務ニ任スル

兵 站

モノトス
故ニ其業務殆ト集地基地諸廠ト相等シク此諸廠ヲ設クル所以亦集積基地諸廠ニ於ケルト異ナル所ナシ

兵站主地

兵站主地ハ通常兵站監部ノ位置スル所ニシテ鐵路陸路水路即チ所謂四通八達ノ交通便利ナル要地ニシテ野戰軍ノ兵站管區内而モ軍毎ニ之ヲ設クルヲ本則トスルモノナリ

兵站主地ノ業務ハ通常兵站監之ヲ統轄ス故ニ兵站司令部ヲ置カサルトキハ其業務ヲ兼ヌルモノトス

兵站主地ニハ前既ニ記述スル所ノ野戰諸廠其他必要ノ機關ヲ置キ軍需品ノ蓄積整理前送後送分配等ノ業務ニ任スルモノトス

第四百七十二 兵站地ハ兵站司令部若クハ同支部ノ位置スル所ニシテ陸地兵站線

路上適當ノ距離ヲ間シテ之ヲ設ケ往復人馬ノ宿泊給養及諸物件ノ遞送業務ニ任スル兵站地ハ其他鐵道水路ノ要點ニモ亦之ヲ設クルモノトス

兵站地

兵站地ハ兵站司令部若クハ同支部ノ位置スル所ニシテ兵站主地ニ次ク主要地トス

其他兵站地ハ鐵道水路ノ要點即チ發起點終末點分歧點等ニモ亦之ヲ設クルモノトス

兵站司令部及同支部ハ陸地兵站線路上ニ於ケル往復人馬ノ宿泊給養及諸物件ノ遞送業務ニ任スルモノトス

兵站支部ハ之ヲ必要ト認ムルトキ兵站監ノ命令ニ依リテ兵站司令部ヨリ分置スルモノトス

兵站司令部同支部ハ左ノ設備ヲ爲スモノトス
宿舎、厩舎、患者宿泊所、倉庫、病院、馬廠、郵便局、通信所

兵站地ニハ必要ノ歩工守備兵ヲ備ヘ其歩兵ハ兵站地直接ノ警戒防禦距離ノ搜索電線ノ保護ニ任シ工兵ハ交通路ノ補修開設ニ任シ要スレハ兵站地防禦工事ヲ實施スルモノトス

甲乙兵站地間ノ距離ハ地形部落ノ位置等ノ關係ニ依リテ多少ノ伸縮アルモ其必要トスル所ハ兩兵站地間ヲ一日(已ムヲ得サルトキハ縱列ハ二日)ニテ往復シ得ルヲ以テ適當トスルモノニシテ概ネ左記諸件ノ顧慮ヲ要スルモノトス

一 兵站彈藥縱列同糧食縱列等運搬機關ノ半日(往復一日)若ハ一日(往復二日)行程以內ナルコト但シ運搬機關ノ關係ニ依リテハ甲乙兵站地間ニ中繼所ヲ置クコト在リ

二 運搬補助タル人馬車輛ヲ得ルニ容易ナルコト

三 交通便利ナルコト

四 宿泊給養ニ便ナルコト

五 軍需品ノ集積ニ便ナルコト

而シテ兵站司令部同支部ノ主要ナル業務ハ軍需品ノ遞送ニ在ルヲ以テ甲乙兩

兵站地間一日ニテ往復シ能ハサル距離ニ在ルトキハ彈糧縱列等凡テノ運搬機關ヲシテ他ノ司令部所在地ニ宿泊セシムルヲ要シ翌日之カ歸還ノモノト運搬ニ任スルモノトノ途中ニ於ケル混雜ト緊要ノ場合ニ於テモ尙此種機關ヲ隔日ニアラサレハ使用スルヲ得サル不利アリ故ニ通常人馬ノ如キハ一乃至二兵站地ヲ經過シテ宿泊セハ可ナルヲ以テ運搬機關ハ之ヲ翌日ノ使用ニ供シ得ル爲自己司令部ノ近傍ニ歸來宿泊セシムルヲ要ス是カ爲此距離ハ三四里ヲ以テ適當トスヘシ

第四百七十三 軍隊兵站ヨリ軍需品ノ補給ヲ受クルニ方リテハ通常各自ノ輜重ヲ用ヒ野戰諸廠若クハ兵站司令部又ハ同支部ニ就キ受領スルモノトス而シテ此補給ヲ容易ナラシムル爲メ野戰諸廠ノ支廠及兵站倉庫ヲ兵站線路ノ端末ニ近ク設置スルモノトス又要スレハ兵站輸送機關ヲ兵站末地ヲ超エテ前方ニ推進シ直接軍隊ノ輜重ニ連絡セシムルコトアリ

兵站輸送機關ニシテ軍ノ直轄管區内ニ行動スルモノハ同管區ニ在ル軍隊指揮官若クハ之ニ屬スル輜重指揮官ノ區處ヲ受ケシメ又軍隊ニ屬スル輜重ニシテ兵站管區内ニ行動スルモノハ兵站司令官若クハ同支部長ノ區處ヲ受ケシムルモノトス

兵 站
兵 站ト作戰軍トノ接續

作戰軍隊ノ兵站ヨリ軍需品ノ補給ヲ受クルニ方リテハ通常各自ノ輜重ヲ使用シテ野戰兵器廠、兵站倉庫或ハ兵站司令部又ハ同支部等ニ就キテ受領スルヲ本則トス

而シテ此補給ヲ容易ナラシムル爲彈藥中間廠、兵站倉庫ヲ兵站線ノ端末ニシテ軍ノ直轄管區ニ接シテ設置スルモノトス又要スレハ兵站輸送機關ヲ兵站末地ヲ超エテ前方ニ推進シ直接軍隊ノ輜重ニ連絡若ハ作戰軍ノ輜重トシテ派遣セシムルコト在リ日露ノ役沙河對陣間ニ於ケル作戰軍ト兵站トノ輸送關係ハ即チ是ナリ

故ニ兵站輸送機關ニシテ軍ノ直轄管區内ニ行動スルモノハ其行動管區内ニ在ル軍隊指揮官若ハ此指揮官ニ屬スル輜重指揮官ノ區處ヲ受クルモノトス之ニ反シテ作戰軍ニ屬スル輸送機關ニシテ兵站管區内ニ行動スルモノハ其兵站司令官若ハ同支部長ノ區處ヲ受クヘキモノトス是レ最近戰役ノ實驗ニ基キ行動ノ統一輸送進捗上ノ必要ニ依ルモノナリ

兵站末地

兵站末地ハ兵站線路上最端末地ニシテ軍ノ直轄管區ト兵站管區トノ境界ニ位置スルモノニシテ常ニ軍ノ移動ニ隨從シテ移轉スルモノトス
兵站末地ト作戰軍トノ距離ハ野戰師團ノ輸送機關ヲ以テ連續輸送シ得ルヲ最大限ト爲スモノニシテ通常二日行程即チ十五里内外トシ其行李ヨリハ十里乃至十二里ヲ以テ適當トスヘシ然レトモ道路ノ景況ハ大ニ此距離ヲ左右スルモノタルハ言ヲ須タス其地方運搬具ノ徵集利用ノ便多キトキハ更ニ此距離ヲ最大限三日行程マテ延伸スルヲ得ルモノトス

陸路運搬材料

兵站ノ運搬材料

少クモ師團ノ倍數ヲ有スル兵站輸送縱列ト臨時編成ノ材料トヲ以テ運搬スル兵站輸送縱列ハ常ニ野戰軍ニ要スル糧食、彈藥等ノ運搬ニ任スルヲ以テ任ト

兵 站

ス故ニ其輸送物件ノ必要トスルモノ在ルトキハ速ニ之ヲ末地ニ向ヒ輸送ス故ニ通常糧食ノ運搬ニ供シ彈藥補給ヲ必要トスルトキハ之ヲ以テ彈藥ノ輸送ニ任セシムルカ如ク要スルニ輸送ヲ中絶セサラシムル如ク兵站諸官ハ之ヲ使用スルモノトス

輸送縦列ヲ以テ輸送ヲ司ルモ尙ホ輸送ヲ完了スルコト能ハサルトキハ徵發ニ依リ倉庫縦列ヲ編成ス而シテ輜重監視隊或ハ補助輸卒ヲ配當シテ武器、彈藥、糧秣等軍需品一切ノ運搬ニ任ス

道路險惡不良ノ地方ニ在リテハ殆ト之ニ頼ラサルヘカラサルコト在リ日露ノ役ニ於ケル第一軍、大孤山上陸軍及鴨綠江軍等ノ如シ是レ道路ノ不良ナルハ輸送機關ノ積載量ヲ減少セシムルヲ以テナリ故ニ此ノ如キ地方ニ於ケル兵站ハ常ニ徵發材料ヲ以テ輸送縦列ヲ編成セサルヘカラサルナリ然ラサレハ需要ト供給相俟タサルニ至ルヘシ

第四百七十四 兵站司令官、同支部長並其他ノ兵站官衛ノ長ハ兵站管區内ヲ通行ス

ル軍隊及軍人軍屬ヲ兵站業務ノ爲メニ使用スルヲ得ス然レトモ警備上緊急ノ場合ニ在リテハ自己ノ責任ヲ以テ一時之ヲ使用スルコトヲ得但シ軍隊指揮官ニシテ兵站司令官、同支部長若クハ兵站官衛ノ長官ヨリ高級故參ナルトキハ之ニ刻下ノ情況ヲ具申シテ其應援ヲ請フヘシ此場合ニ於テ之ニ應スヘキヤ否ヤハ該軍隊指揮官自己ノ責任ヲ以テ決スヘキモノトス

兵站司令官若クハ同支部長ハ要スレハ兵站地ヲ往復スル單獨ノ軍人軍屬(將校、同相等文官)ヲ四十八時間以内兵站地ニ留メ且ツ指揮者ヲ定メテ引率セシムルコトアルヘシ

第四百七十五 軍隊指揮官及單獨ノ軍人軍屬ハ兵站地ニ到着セハ直ニ兵站司令官若クハ同支部長ニ届告スヘシ

第四百七十六 兵站地ヲ通過スル軍隊及單獨ノ軍人軍屬ハ兵站司令部、同支部若クハ他ノ兵站官衛ノ定ムル兵站業務上ノ諸規定ニハ絕對ニ服従スヘキモノトス

第四百七十七 軍隊及單獨ノ軍人軍屬ハ兵站司令部、同支部若クハ他ノ兵站官衛ノ同意ヲ得ルコトナクシテ兵站管區内ニ於テ物資及運搬具等ノ調達ヲ爲シ又擅ニ兵站用電信、電話ヲ使用ス可カラス

兵站管區内通行軍隊、軍人、軍屬ノ指揮權

軍隊及軍人ヲシテ速ニ戰場ニ到達決戦ニ參與セシメ又軍屬ヲシテ速ニ其勤務部隊ニ到達セシムルヲ要スルヲ以テ兵站司令官同支部長其他ノ兵站官衙ノ長ハ其管區内ヲ通行スル軍隊軍人及軍屬ヲ濫ニ使用スルコトヲ得ス然レトモ警備上緊急ヲ要シ萬已ムヲ得サル場合ニ在リテハ自己ノ責任ヲ以テ一時之ヲ使用スルコトヲ得但シ軍隊指揮官ニシテ前記兵站諸官ヨリ高級故參ナルトキハ之ニ其時ニ於ケル情況ヲ具申シテ其應援ヲ請フヘシ而シテ此請求ニ應スヘキヤ否ヤハ該軍隊指揮官自己ノ責任ヲ以テ決スヘキモノナルヲ以テ兵站諸官ハ固ヨリ其覺悟ナカルヘカラス

又煩雜ヲ避クルト兵站線ノ秩序ヲ維持スル爲兵站司令官若ハ同支部長ハ必要ト認ムルトキハ下士以下及同相當軍屬ノ單獨通行者ヲ四十八時間以内其宿舍ニ留メテ若干人ヲ纏メ之ニ指揮者ヲ定メテ引率セシムルヲ可トス

兵站警備

作戰ノ直接影響スル區域内ニ於ケル兵站線ノ警備ハ當該兵站監及兵站司令官

ノ任トス之カ爲兵站守備ノ軍隊ヲ以テ衛戍勤務ヲ命シテ敵襲豫防土寇ノ填壓ニ對シテ必要ノ手段ヲ講シ以テ其集積軍需品及管區内諸建築物運輸通信諸機關ヲ警備保護シ且ツ運輸(停車場泊場司令部)官衙ヨリ應援軍隊ノ派遣請求アリタルトキハ直ニ之ニ應スルノ義務アルモノトス

然レトモ兵站守備ノ軍隊ハ必スシモ常ニ其要求ヲ充スヲ望ムヘカラス否ナ情況ニ依リテハ極端ナル場合即チ殆ト其絶無ノ場合アルヘキヲ思ハサルヘカラス此場合ニ於テモ土寇等ニ對シテ必要ノ警備手段ヲ取ラサルヘカラサルハ固ヨリナリ此ノ如キ場合ニ在リテ輸卒隊ヲ附屬セラレ在ルトキハ之ニ武装セシメテ必要ノ衛戍勤務ヲ命シ若ハ住民ヲ脅嚇シ人質ヲ拘留スル等ノ方法ヲ取ラサルヘカラス

占領地ニ義勇團ヲ編成シテ警備セシ例

日露ノ役敵ノ驍將ミシチエングハ牛莊奇襲ノ奏效ヲ終リ長驅シテ營口牛家屯ノ方面ニ向フ營口ノ守備兵本來多カラス殊ニ其大部ハ牛家屯ニ赴キ殘存者極メ

テ少ナク僅ニ若干ノ憲兵ト斥候兵ヲ剩スノミ若敵ノ闖入ニ會ハハ全市悉ク敵ノ蹂躪ニ委スルノ不幸ヲ見ルヘシ守備隊長ハ茲ニ一計ヲ案シ在留人民ノ後援ヲ得テ守備ヲ完ウセントシ明治三十八年一月十一日夜俄ニ布告シテ義勇兵ヲ募ル忽チ四百餘人ヲ得タリ十二日午前は等義勇兵ハ各異種ノ武器ヲ手ニシ領事館ニ來リ俄ニ訓練ニ著手ス訓練立ロニ成リ各配備ノ位置ニ就ク市内ハ東西兩區ニ分チ幹部ヲ編成シ西端中佐總監督ト成リ東部ハ喜多少佐西部ハ比留間大尉之ヲ監督シ柴田副領事ハ本部監督タリ午前十一時敵ハ牛家屯ニ於テ我守備隊ノ爲ニ妨ケラレ容易ニ前進スルヲ得ス多大ノ損害ヲ蒙リ退却ノ已ムヲ得サルニ至リ加フルニ義勇隊ノ警備嚴正遂ニ一敵騎ノ侵入ヲモ得サラシメ翌十三日北方ニ敵ヲ退却セシメタリ

住民ヲ脅嚇シテ電線ヲ保護シタル例

日露ノ役第一年ノ七月第四軍ハ分水嶺附近ノ敵ヲ擊攘シテ栃木城ニ向ヒ前進スルノ前後ニ於テ王家堡子兵站司令部ハ南馬峪附近ニ在ル桂支隊ニ糧秣補給ヲ

爲スニ方リ其沿道ノ溪谷ヲ傳ヒ斷崖ニ懸リ峻坂險路ヲ通シ我内地ニ稀ニ見ル山地ニ架設セラレタル我軍用電線切斷ノ被害幾回ナルヲ知ラス此時ニ方リ守備隊ハ舉ケテ前進ヲ命セラレ若干ノ補助輸卒在ルモ當時該地ノ兵站線路ハ前記南馬峪ト栃木城方面ニ向フモノトノ二線ニ分レ在リテ其繁劇ナル輸送業務ニ使用スルニ足ラサルノ情況ニシテ如何トモ爲ス能ハス而モ百方偵査スルモ其斷線理由ノ伏在スル所ヲ究ムル能ハス遂ニ最後手段トシテ沿道住民ニ協力保護ヲ嚴命シ若再ヒ事アラハ全村落燒燼ヲ以テ脅嚇シ爾後漸ク事ナキヲ得タリ

兵站地ノ民政及警察

野戰軍背後ノ秩序ヲ維持シ軍事上ノ利益ヲ確保スル爲兵站監兵站司令官及同支部長ハ其管區内ニ於ケル一般ノ行政及警察事務ヲ行フ之カ爲適當ニ憲兵ヲ使用シ又必要ト認ムルトキハ内衛兵若ハ外衛兵ヲ設ケ巡察斥候ヲ派遣シテ奪略非違ノ行爲ヲ妨遏スルコト在リ而シテ行政ノ爲ニハ成ルヘク其地方ノ慣習ヲ破壞セサル爲地方官衙若ハ名望アル者ヲシテ協力シテ管區内ノ狀態及物資等ヲ調査

シテ保護ノ規定ヲ設ケ住民ヲシテ其堵ニ安セシムルト共ニ一面兵站業務ノ便益ニ供スルヲ圖ルヘキモノトス

住民ノ好感ハ兵站業務ニ影響ヲ及ホス大ナル例

日露ノ役某兵站司令部ハ山間僻陬ノ地ニ在リテ其業務ニ從フヤ常ニ住民ノ保護ニ意ヲ用ヒシ爲司令官ハ全ク名望アル村長ノ觀アリ時ニ急雨大出水河川氾濫シテ濁流滔々到ル所浸水シ一苦力我傷者運搬ソ歸途不幸濁流ノ渦中ニ引込レテ死セリ此報傳ハルヤ司令部ハ村民ヲ督シテ大搜索ヲ行ヒ遠ク下流ニ於テ其死體ヲ發見シ懇ロニ之ヲ葬ヒ且ツ司令官以下部員一同ヨリ贖金シ五十金ヲ得テ遺族ヲ救恤シ尙ホ其弟ヲ司令部ニ常備スルコトヲ以テ慰藉セリ其夜村夫子司令部ニ來リ語ルラク「大人等本日ノ行爲ハ他日必ス司令部ヲ益スルモノ在ラン」ト司令部員ハ其何ノ意タルヲ解スル能ハスシテ措キタリ其後數日ニシテ遼陽會戰ノ爲急遽晝夜兼行ヲ以テ彈藥糧秣ノ大輸送ヲ爲ササルヘカラサルニ方リ其地ハ僅ニ戶數二十三ノ小部落ニシテ平常使用スル二百内外ノ支那車輛スラ附近數里ノ

地ヨリ徵傭シ辛フシテ其需要ヲ充タスノ状態ニ在リ然ルニ此大輸送ノ爲ニハ日々六七百ノ支那車輛ヲ必要トスルモ之ヲ得ルノ途ナシ司令官ハ百計盡キ最後ノ一策トシテ之ヲ先キノ村夫子及一二ノ名望家ニ諮ルヤ彼等曰ク「乞フ意ヲ安セヨ我附近ノ住民ハ必ス全力ヲ盡スヘシ」ト然ルニ一方時期ハ猶豫ナク切迫シ一ニ成果ヲ天佑ニ委シテ此大輸送ヲ開始スルヤ期セスシテ來集スル支那車輛實ニ一千輛ニ垂ントス之カ爲爾後他ノ最大困難ト爲ス輸送業務ヲシテ些ノ滯滞ナク容易ニ遂行シ得タルノミナラス若干ノ車輛ヲ割テ前後ノ兵站司令部ニ供給セリ是レ曩キノ罹災苦力保護ト不斷民政ノ反響ニ基クモノ多キニ因ルモノナルコトヲ後ニ於テ知レリト謂フ

兵站地通過軍隊軍人軍屬ノ義務

兵站管區内ヲ通過スル軍隊及軍人軍屬ハ兵站勤務ノ爲使用スルヲ得サルモ警備上緊急已ムヲ得サル時ハ一時之ヲ使用スルヲ得ルハ前既ニ述フル所ノ如シ故ニ通過軍隊等ハ直ニ兵站司令官若ハ同支部長若ハ其他ノ兵站官衙ニ其到着ヲ届

告セサルヘカラス而シテ軍隊及單獨ノ軍人モ皆兵站業務上ノ諸規定ニ絶對ニ服從シ業務ノ執行ヲシテ澁滯ナカラシムルヲ期スヘシ之ヲ以テ兵站地内ニ在ル一切ノ輸送通信機關及物資ハ其責任官タル兵站司令官若ハ同支部長若ハ其他ノ兵站官衙ノ長ノ同意ヲ得スシテ隨意ニ調達シ使用スルヲ許サス是皆實戰ノ經驗ニ基ク規定ナリ即チ此禁制ヲ犯シテ往々兵站業務ニ不慮ノ妨碍ヲ與ヘタルコト在レハナリ

第四百七十八 兵站線路ヲ往復スル軍隊及單獨ノ軍人軍屬ニハ軍用旅券ヲ携帶セシメ以テ兵站線路ヲ通行シ且ツ宿舍其他ノ供給ヲ受ケルノ證タラシム但シ鐵道船舶輸送諸部ノ管轄スル鐵道船舶ニ依リ輸送セラルル者ニ在リテハ軍用輸送券若クハ便乘券ヲ併セ携帶セシムルモノトス而シテ軍用旅券ハ高等司令部兵站司令部同支部及兵站基地司令部ニ於テ又軍用輸送券ハ各部隊便乘券ハ鐵道船舶輸送諸部ニ於テ之ヲ發行スルモノトス

兵站線路通過中軍用旅券ニ掲載シアル人馬及携行品ノ員數等ニ差違ヲ生シタルトキハ兵站司令部若クハ同支部ニ就キ掲載事項ノ訂正ヲ受ケルモノトス

軍用旅券及輸送券並便乘券

兵站線路ヲ往復スルモノハ其軍隊ナルト單獨ナルトヲ問ハス軍用旅券ヲ携帶シ之ヲ以テ兵站線路内通行ノ證左トシ且ツ之ニ依リテ宿營及供給ヲ受ケシムルモノトス而シテ鐵道船舶ニ依リ輸送セラルル者ハ更ニ軍隊ニ軍用輸送券單獨者ニハ便乘券ヲ併セ携行セシムルモノトス然ラサレハ兵站司令部若ハ同支部等ハ之カ宿營給養ノ據ルヘキモノナク從テ兵站業務ヲ紊亂セシムルノミナラス往々不正ノ商人軍屬若ハ不軍紀ノ軍人ヲ生シ軍ノ體面ヲ汚スニ至ルコト在ルハ實驗ノ證明スル所ナリ故ニ此旅券ニ掲載シ在ル人馬及携行品ノ員數ニ缺員若ハ缺損ヲ生シタルトキハ兵站司令部若ハ同支部ニ就キ掲載事項ノ訂正ヲ受クルハ勿論兵站司令部若ハ同支部ハ仔細ニ之ヲ點檢シ訂正シテ次ノ兵站地ニ於ケル宿營給養ニ故障ナカラシムルヲ要ス

而シテ軍用旅券ハ旅行ノ證ナルヲ以テ之ヲ主管スル高等司令部兵站司令部同支部及兵站基地司令部ニ於テ又軍用輸送券ハ各部各隊即チ團隊ニ係ハルヲ以テ

其所屬各部各隊ニ於テ又便乘券ハ單獨若ハ部隊ヲ成ササル少數人員ニシテ所謂
乗合ヒノモノタルヲ以テ停車場司令部若ハ碇泊場司令部ニ於テ各發行スルモノ
トス

第四百七十九 發送部隊ヨリ宰領者ヲ附シアル物件ノ輸送ニ關シテハ該宰領者其
責ニ任スルモノトス而シテ兵站司令部若クハ同支部ハ輸送ノ緩急ヲ顧慮シ之ニ必
要ナル運搬力ヲ供給シ且ツ之カ供給券ヲ宰領者ニ交付ス
宰領者ハ宿營地若クハ目的地ニ到着後該供給券ニ必要ノ記入ヲ爲シテ輸送者ニ交
付シ發行兵站司令部若クハ同支部ニ持テ歸ラシムルヲ要ス
第四百八十 大ナル軍隊兵站管區ヲ通過スル場合ニ在リテハ當該軍隊指揮官及兵
站監ハ其行軍、宿營及糧秣ノ準備等ニ關シ各上級指揮官ヨリ豫メ命令ヲ受領シ之ニ
基キ所要ノ施設ヲ爲スモノトス而シテ其宿營設備ニ關シテハ當該軍隊自ラ之ニ任
シ糧秣ノ準備ハ兵站部之ヲ擔任スルヲ常トス
一時兵站管區内ニ位置シ若クハ行動スル軍隊、同輜重等ハ其宿營及給養ニ關シテハ
兵站監、兵站司令官若クハ同支部長等ノ區處ヲ受クルモノトス

物件宰領者ノ注意

前條ハ宰領者ヲ附シタル物件ノ輸送ニ關シテ宰領者及兵站諸官衙ノ責任並注
意事項ヲ掲ケラレタルモノナリ即チ補充部隊等ヨリ宰領者トシテ將校若ハ下士
ヲ長トシ若干ノ兵員ヲ附シ物件ヲ輸送シ來リタルトキハ該物件ノ輸送ニ關シテ
ハ宰領者ノ責任ニシテ兵站官衙ノ責任ニアラス然レトモ前々條ニ在ル如ク宰領
者ハ濫ニ輸送機關ヲ使用シ若ハ徵發スルヲ得サルヲ以テ兵站司令部ハ之ニ運搬
具ヲ供給スルノ責アルモノトス此場合ニ於テハ爾他軍需品ノ輸送ニ影響スルヲ
以テ供給券ヲ交付シ他日ノ責任ヲ明カニスルヲ要ス實驗ニ依ルニ此種物件ノ責
任又ハ運搬具過度ノ要求ニ對シ往々紛議ヲ惹起シタル例アリ是レ本條規定ノ必
要ナル所以ナリ

兵站線ヲ通過スル軍隊ト兵站官衙トノ關係

軍隊兵站管區ヲ通過スルニ方リ陸路、鐵道、船舶、宿營地等ヲ隨意ニ使用シ兵站業
務ヲ妨碍スルヲ許サス故ニ大ナル軍隊ノ通過ニ關シテハ野戰軍管區内ノ通過ト
異ナリ兵站地ハ諸種ノ關係ヲ有スルヲ以テ上級指揮官ハ其行軍路、宿營地、給養ノ

方法等ニ關シテ當該軍隊指揮官及兵站監ニ豫メ命令シテ所要ノ設備ヲ爲サシムヘキモノトス若然ラスシテ突然大ナル軍隊兵站地内ニ宿營スルカ如キコト在ラシカ爲ニ兵站ノ機能ハ一時中止セサルヘカラサル状態ニ陥リ兵站業務ヲ妨碍スルコト尠少ナラサルヘシ

故ニ大ナル軍隊宿營スル場合ニ在リテハ普通ノ場合ニ於ケル如ク兵站司令部等ハ宿營全般ノ設備給與ニ任セスシテ單ニ糧秣ノミヲ供給シ其宿營設備ハ當該軍隊自ラ之ニ任スルモノトス

又若一時ノ變態トシテ一時兵站管区内ニ位置(黑溝臺會戰前ニ於ケル第八師團ノ如キ)若ハ行動(ミシチエンゴ騎兵團ノ營口襲撃ニ對シ野戰軍一部赴援ノ如キ)軍隊輜重(沙河對陣間ノ状態ノ如キ)ハ其宿營及給養ニ關シテハ野戰軍ノ管轄内ト其趣ヲ異ニシ兵站地ハ諸種ノ關係ヲ有スルヲ以テ兵站監兵站司令官若ハ同支部長ノ區處ヲ受クヘキモノニシテ決シテ其自由行動ヲ許ササルモノトス

兵站給養ノ概要

兵站給養ハ之ヲ兵站諸部隊ノ給養及兵站線通過人馬ノ給養トノ二ニ分ツヲ得而シテ二者共ニ兵站倉庫若ハ遞送中ノ糧秣ニ依リ給養スルヲ以テ常トスレトモ其他ノ景況ニ依リ舍主ノ供給ニ依ルコト絶無トセス又其地駐屯ノ兵站諸部隊ニハ現地調辨ニ依リテ自活セシメ或ハ住民ヲ獎勵シテ市場ヲ開設セシメ之ニ依リ給養ノ便ヲ圖ルコト在リ

而シテ兵站管区内人馬ノ給養ハ兵站司令官若ハ同支部長鐵道輸送軍隊ノ停車場ニ於ケル給養ハ停車場司令官ノ任トス然レトモ停車場ノ給養ハ其調辨炊爨ノ準備等ハ其所在地ノ景況ニ依リ兵站司令官若ハ同支部長ノ幫助ニ須タサルヘカラス又碇泊場所在ノ兵站司令官ハ運輸通信官衙若ハ軍隊指揮官ヨリ乗船時日人馬ノ員數及航海日數等ノ豫報ヲ得タルトキハ速ニ之ニ所要ノ糧秣等一切ノ給養諸品ヲ調辨整頓シテ乗船軍隊ヲ待ツヘキモノトス

又兵站線路ヲ往復スル者ハ軍用旅券ニ依リテ兵站司令部若ハ同支部ニ就キ宿營及給養ノ支給ヲ受ルコト前既ニ述フル所ノ如シ而シテ部隊ハ倉庫若ハ遞送中現品ヲ交付シ部隊ヲシテ炊爨セシムルヲ常トシ小部隊及單獨者ハ司令部若ハ支

部ニ於テ炊爨支給シ場合ニ依リテハ請負者ヲシテ炊爨供給セシムルモノトス

第十六篇 憲兵

第四百八十一 憲兵ハ野戰軍ノ所在地及兵站地域ニ於テ各兵ノ不正ノ徵發及掠奪其他諸犯則者ヲ取締リ道路ノ交通ヲ自在ナラシメ酒保及用達人ヲ監視シ證憑ナキ單獨ノ軍人疑ハシキ住民、逗留兵及敵ノ脱走兵等ヲ捕ヘテ近傍ノ軍隊若クハ司令部ニ送致シ其他旅舎、郵便局、停車場、倉庫等凡テ衆人共用ノ家屋ヲ監察シ電線及鐵道ヲ保護シ敵意ヲ有スル人民ヲ抑壓シ其武器ヲ攫奪シ間諜ヲ搜索スル等ノコトヲ以テ任トス

憲兵ノ任務

軍ノ憲兵ハ野戰軍ノ所在地、兵站ノ憲兵ハ其線路ニ於テ兵卒ノ隨意、不正ノ徵發及掠奪其他諸犯則者ヲ取締リテ安寧秩序ヲ維持シ又是等ノ爲不安ナク道路ノ往來ヲ自由ナラシメ酒保及用達人不正ノ行爲ヲ監視シ軍用旅券等證憑ヲ携帯セサル單獨ノ軍人疑ハシキ舉動アル住民、逗留兵及敵ノ脱走兵等ヲ捕ヘテ近傍ノ軍隊

若ハ司令部ニ送致シ其他旅舎、郵便局、停車場、倉庫等凡テ衆人共用ノ家屋ヲ監察シ不軍紀ヲ警メ間諜等ヲ防遏シ又土民、間諜等ノ加害ニ對シ電線及鐵道ヲ保護シ敵意アル人民ヲ搜查抑壓シテ其武器ヲ攫奪シ間諜ヲ密偵搜索シテ寸時モ伏在スルヲ許サザル等ノコトヲ以テ其任務トス

之ヲ要スルニ憲兵ノ任務ハ軍及軍背後ノ安寧秩序ヲ維持シ軍紀、風紀ヲ振肅シテ軍ノ行動ヲ不利ナラシムルカ、如キ一切ノ障礙ヲ除去シ兵站地（占領地）行政ヲ圓滿ナラシムルニ在リ

之カ爲憲兵ハ一切ノ非違者ヲ檢舉シ必要ト認ムルトキハ野戰師團若ハ兵站軍法會議ニ移スモノトス

第四百八十二 下士以下及之ト同等ノ軍屬ハ必ス憲兵ノ示ス規律ニ服從スヘキ義務アルモノトス又其間フコト（氏名、所屬部隊、往クヘキ方向及其目的等）アルトキハ必ス信實詳細ニ答フルノ責アリトス
將校、同相當官及之ト同等ノ軍屬モ憲兵ニ對シテハ他ノ諸軍人ト同シク前項ニ揭クル質問ニ答フルノ義務アリ然レトモ規律ニ牴觸スルコトアルニ際シテハ憲兵ハ之

ヲ禁止シテ服從セシムルノ權利ヲ有セス但シ其氏名官職部隊號等ノ告知ヲ受ケ之ヲ上官ニ具狀スヘシ

憲兵ト諸軍人軍屬トノ關係

憲兵ノ職務ハ神聖ナルヘキモノトス故ニ下士以下及之ト同等ノ軍屬ハ必ス憲兵ノ示ス規律ニ服從スヘキ義務アルモノトス是レ此ノ如クナラサレハ以テ軍紀風紀ヲ振肅維持シ得サレハナリ故ニ是等軍人軍屬若憲兵職務ノ執行ニ對シテ凌辱シ若ハ罵詈抵抗スルトキハ其罪ノ重キコト衛兵ニ對シテ犯スモノト異ナラス此故ヲ以テ是等軍人軍屬ハ憲兵ノ其職務上ノ質問ニ對シ信實詳細ニ答フルノ責アリトス又將校同相當官及之ト同等ノ軍屬モ亦憲兵職務上ノ質問ニ對シテ正當ニ答フルノ義務アリ然レトモ秩序ヲ破壞スルヲ以テ規律ニ抵觸スルコト在ルニ際シテハ憲兵ハ之ヲ禁止シテ服從セシムルノ權利ヲ有セス故ニ斯ル場合ニ在リテハ憲兵ハ其氏名官職部隊號等ノ告知ヲ受ケ之ヲ上官ニ具狀シ以テ其上官ノ處置ニ訴フヘキモノトス

第四百八十三 憲兵ハ部隊ニ對シテハ之ニ干渉スルヲ得ス若シ規律ニ抵觸スル者アルトキハ唯之ヲ其指揮官ニ報告又ハ通報スヘシ

憲兵ト部隊トノ關係

憲兵ハ部隊ニ對シテハ職權ノ圏外ナルヲ以テ其大小ヲ問ハス其隊伍ヲ編成セ部隊ニ對シテハ之ニ干渉スルヲ得ス然レトモ其部隊中ニ在ルモノニシテ規律ニ抵觸スル者アルトキハ唯之ヲ其指揮官ニ報告又ハ通報シテ其處分ニ委スヘキモノトス

第四百八十四 凡テ軍人軍屬ハ憲兵ヨリ援助ヲ請フコトアルトキハ其要求ニ應ゼサル可カラズ

憲兵ノ援助

憲兵ハ軍人軍屬ヲ取締リ軍紀風紀ヲ云爲スル嚴正ニ而モ戰鬥ニ參與セサル兵種ナルヲ以テ一面尊敬ヲ拂フト同時ニ一面輕侮ノ念ナキヲ保セス故ニ其搜索捕

拿等ニ關シ軍隊ニ援助ヲ請フトキハ之ヲ快諾シテ軍ノ内、後方勤務ノ完全ヲ圖リ軍ノ間接戰鬪力ヲ増進セシメサルヘカラス

第四百八十五 憲兵他ノ軍隊ト協同シテ勤務ニ服スルトキハ諸兵種中高級故參ノ將校其司令權ヲ有ス

下士ニ在リテハ之ト異リ憲兵下士ハ他兵種ノ同等官ニ對シ新參故參ヲ論セス司令權ヲ有ス

第四百八十六 憲兵ノ勤務上ノ越權或ハ怠惰ヲ矯正スルコトハ憲兵將校及其所屬上官ノ外唯上長官以上ノ者其權ヲ有ス憲兵服務中罪ヲ犯シタル時之ヲ拘引スルヲ得ルハ通常其所屬上官ニ限ルモノトス

憲兵ノ司令權及拘引權

共同動作スル時下士ハ憲兵ヲ上位ニ將校ハ兵種ヲ論セス高級故參ノ者之カ司令權ヲ有スルモノトス然レトモ憲兵ノ勤怠ニ關シ之ヲ矯正スルハ憲兵將校及其所屬上官ノ外上長官以上ノ者ノ權限ニ屬シ犯罪者アルトキノ處分ハ其所屬上官ニ限ルモノトス即チ共同司令官ノ特權ナリトス

第十七篇 戰鬪詳報陣中日誌、留守日誌

第一章 戰鬪詳報

第四百八十七 歩兵及砲兵ハ大隊以上(獨立シテ戰鬪セシトキハ中隊モ亦同シ)其他ノ兵種ハ中隊以上ノ各部隊毎ニ戰鬪後戰鬪詳報ヲ纂錄シ一通ヲ各々其上級指揮官(軍隊區分アルトキハ其隸屬スル上級指揮官)ニ呈出スヘシ而シテ此際各級指揮官ハ部下團隊ノ戰鬪詳報ヲ自己ノ詳報ニ添ヘ順序ヲ經テ大本營ニ進達スヘシ

戰鬪詳報ノ目的ハ高級指揮官ヲシテ爾後ノ作戰ヲ正確適當ニ計畫セシメンカ爲メ必要ナル材料ヲ十分收領セシメ且ツ將來ニ於ケル戰鬪ノ參考ト爲サンカ爲メ廣ク實戰ニ於ケル經驗ヲ纂錄スルニ在リ故ニ此詳報ノ記述精細ナルニ從ヒ其價值益々大ニシテ又其呈出迅速ナルニ從ヒ其效果愈々多シトス

戰鬪詳報ノ目的

戰鬪詳報ノ目的ハ左ノ二者ニ在リトス

- 一 高級指揮官ヲシテ爾後ノ作戰ヲ正確適當ニ計畫セシメンカ爲メ必要ナル材料ヲ十分ニ收領セシメ

戰鬪詳報、陣中日誌、留守日誌

二 且ツ將來ニ於ケル戰闘ノ參考ト爲サンカ爲廣ク實戰ニ於ケル經驗ヲ集録スルニ在リ

即チ指揮官ハ之ニ依リテ敵ノ能力、兵力、損害、戰闘後ノ狀態、我損害、現時ノ狀態、武器、彈藥ノ損耗並現在數及將來ノ戰闘ノ參考タルヘキ實戰ノ經驗等ヲ知ルコトヲ得ルヲ以テ爾後ノ作戰計畫、人馬、彈藥等ノ補充ヲ詳細正確ニ規定スルコトヲ得ヘシ從テ此詳報ノ記述精細ナルニ從ヒ其價值益大ニシテ其呈出迅速ナルニ從ヒ戰闘中ニ得タル感情ノ實際ヲ其儘上官ニ移スヲ得ルヲ以テ其效果愈多シトス故ニ成ルヘク速ニ呈出スルコトヲ努メサルヘカラス然ルニ日露戰役ノ實驗ニ徵スレハ其呈出スル一週間以上其最甚シキハ一ヶ月モ遲延シ單ニ戰史ノ材料ト爲スニ過キサルノ憾ミヲ抱カシメ戰闘詳報ヲ徵スルノ目的ニ合セサルモノ多カリシカ如シ深ク注意ヲ要スル所ナリ

戰闘詳報作爲ノ範圍

戰闘詳報作爲ノ範圍ハ其目的ヨリ自然ニ明カナリ即チ戰術單位以上ノ各部隊

ハ悉ク纂錄セサルヘカラス尙ホ詳言セハ歩兵及砲兵ハ大隊以上ニ在リテハ如何ナル場合ニ於テモ大隊長ノ手裏ニ在リテ戰闘スルヲ本則トスルヲ以テ最小單位部隊ヲ大隊ニ止ム然レトモ中隊獨立シテ戰闘スルトキハ中隊モ亦出ササルヘカラス其他騎兵、工兵等ニ在リテハ中隊ニ分離スルコト多キヲ以テ中隊以上ト規定セラレタリ而シテ此詳報ハ一通ヲ逐次順序ヲ經テ大隊ヨリ聯隊ニ聯隊ヨリ旅團ニ呈出シ遂ニ師團、軍ニ及フモノトス然レトモ戰闘セサル部隊ニ戰闘詳報アルノ理ナキヲ以テ某聯隊中ノ一大隊ハ戰闘セサリシトセハ其名ハ某聯隊戰闘詳報ト稱スルモ其戰闘ニ參與セサル大隊ノ戰闘詳報ノ記事ナキハ固ヨリ言ヲ須タサル所ナリ

又軍隊區分ニ依リテ成立シタル部隊ノ戰闘詳報ハ其軍隊區分毎ニ取纏ムヘキモノナルヲ以テ其區分内ニ於ケル各部隊ハ各其戰闘詳報ヲ順序ヲ經テ此編合部隊指揮官ニ出シ此指揮官ハ之ヲ其上級指揮官ニ出スモノトス

事項ヲ列記シ戰鬪ノ區域廣大ナルモノニ在リテハ地區ニ從ヒ之ヲ若干團ニ區分シ各團毎ニ記載スヘシ又各時期ニ於ケル彼我ノ位置ヲ明カニセル要圖ヲ添附スルヲ要ス

記載事項モ亦一定ノ標準ナシト雖モ大部隊ヨリ呈出スル戰鬪詳報ニハ概ネ左ノ事項ヲ記載スルモノトス

戰鬪前ニ於ケル彼我形勢ノ概要

天候及戰鬪地ノ狀態並其戰鬪ニ及ホセシ影響

彼我ノ兵力、交戦セシ敵兵ノ團隊號及將帥ノ氏名

陣地占領若クハ攻撃部署及其主ナル理由並戰鬪ニ關シ下シタル命令

各時期ニ於ケル戰鬪經過及之ニ關聯セル隣接團隊ノ動作

戰鬪ノ成績並勝敗一決セシ時ノ景況

戰鬪後ニ於ケル彼我ノ陣地若クハ行動

參考ト爲ルヘキ所見

右ハ一般ニ必要ナル事項ヲ列舉セシモノナルカ故ニ之ヲ記載スルニハ其部隊ノ獨立シテ戰鬪セルト大兵團ノ連繫中ニ在リテ戰鬪セルトニ從ヒ取捨セサル可カラズ戰鬪經過ニ關スル記事ノ精度ハ部隊ノ大小ニ應スルモノトス例ハ歩兵大隊ノ如キハ戰鬪開始ノ際探リタル隊形及爾後各時期ニ於ケル隊形變化ノ詳細、射撃開始距離、各中隊一進一止ノ景況、小行李ノ行動等ニ至ル迄之ヲ記述スルヲ可トスルモ軍、師

團等ノ大兵團ニ在リテハ全般ニ涉リ大綱ヲ記述シ細部ヲ省略スルノ已ムヲ得サレ等ノ如シ
到達シタル命令、通報、報告ニシテ戰鬪動作ニ影響ヲ與ヘタルモノハ其要旨ヲ本文中ニ記入スルカ或ハ其寫ヲ附録トシテ結尾ニ添附スヘシ
死傷表、齒獲表、武器彈藥損耗表(附録第十一參看)ハ戰鬪詳報附録トシテ之ヲ呈出スヘキモノトス又各人各隊ノ勳功ニシテ特ニ顯著ナルモノハ必ス記事ノ結尾ニ附記スルモノトス

戰鬪詳報ノ記載法

戰鬪詳報ノ記載法ハ一定ノ書式ナシト雖其要領ハ概ネ左ノ如シ

一 時刻ヲ逐フテ一々其事項ヲ列記ス

二 大部隊ニシテ戰鬪區域廣大ナルモノニ在リテハ其大部隊内ヲ更ニ地區ニ從ヒ之ヲ若干團ニ區分シ各團毎ニ記載ス

三 各時期ニ於ケル彼我ノ位置ヲ明カニセル要圖ヲ添附スルヲ要ス

然レトモ強ヒテ時刻ヲ逐フテ順序ニ記載セントシテ動、スレハ前後ノ事實乖離シテ不明ニ陥リ或ハ煩雜冗長ニ失スル等ノ傾向アルヲ以テ必スシモ之ヲ墨守ス

ルヲ要セサルヘシ要ハ成ルヘク簡明ニシテ能ク當時ノ實際ヲ描出セシムルニ在
リトス而シテ月日時刻ハ一般ノ記事ヨリ數字ヲ上下シ判明ナラシメ而シテ紙面
ヲ異ニスル毎ニ其上欄ニ各相當月日ヲ記入スルヲ可トス
又戰鬪經過ニ關スル記事ノ精度ハ部隊ノ大小ニ應スルモノトス例ヘハ歩兵大
隊ノ如キハ戰鬪開始ノ際採リタル隊形及爾後各時期ニ於ケル隊形變化ノ詳細射
撃開始距離、各中隊一進一止ノ景況、小行李ノ行動等ニ至ルマテ之ヲ記載スルヲ可
トスルモ軍、師團等ノ大兵團ニ在リテハ此ノ如ク詳細ニ記載セント欲セハ多クノ
時間ヲ費ヤシ且ツ浩澣ノモノト成ルヘケレハ全般ニ涉リ大綱ヲ記載シ細部ヲ省
略スルノ已ムヲ得サルカ如シ要スルニ其最モ重要ナル關係ヲ有スルモノハ勉メ
テ詳細ニ記載スヘク其然カラサルモノハ唯其要旨ノミヲ記載スル等其部隊ノ大
小、獨立ト、連繫セル等ニ應シテ適當ニ取捨省略スルヲ必要トス
故ニ本條ニ明示セラルル如ク「到達シタル命令、通報、報告」ニシテ戰鬪動作ニ影響
ヲ與ヘタルモノハ其要旨ヲ本文中ニ記入スルカ或ハ其寫ヲ附録トシテ結尾ニ添
附スヘシ」即チ其重要ナルモノハ全文ヲ掲ケ其然ラサルモノハ唯タ要旨ヲ摘記ス

ルヲ可トス

戰鬪詳報ニ記載スヘキ事項

戰鬪詳報ニ記載スヘキ事項ハ概ネ左ノ如シ

- 一 戰鬪前ニ於ケル彼我形勢ノ概要
作戦ノ經過ト相對照シテ爾後ノ作戦指導ニ利スルニ在リ
- 二 天候及戰鬪地ノ狀態並其戰鬪ニ及ホセシ影響
天候ハ作戦ノ指導ニ關係スルコト大ナルヲ以テ其狀態ヲ知り其天候及戰鬪
地ノ狀態及之カ戰鬪ニ及ホシタル 響ヲ知り爾後ノ作戦指導ニ資スルコト
最モ緊要ナリ
- 三 彼我ノ兵力、交戦セシ敵兵ノ團隊號及將帥ノ氏名
彼我ノ兵力ノ作戦ニ關係スル大ナル言ヲ須タス、敵兵ノ團隊號ハ以テ其兵力
分配ヲ察知シ、將帥ノ氏名ハ其性格等ニ依リテ爾後ノ企圖ヲ推知シ得ヘシ
- 四 陣地占領若ハ攻撃部署及其主ナル理由並戰鬪ニ關シ下シタル命令

戰鬪詳報、陣中日誌、留守日誌

配備ヲ益々明瞭ナラシメ現場ニ在ラサリシ者ヲシテ其情況ヲ理解シ易カラシムルノ利アリ

五 各時期ニ於ケル戰闘經過及之ニ關聯セル隣接團隊ノ動作

各級指揮官ノ戰闘指揮及協同動作ノ關係ヲ知リ得ヘシ

六 戰闘ノ成績並勝敗一決セシ時ノ景況

疲勞ノ程度、志氣ノ振否等ヲ知ルハ爾後ノ作戰指導ニ密接ノ關係ヲ有ス

七 彼我戰闘後ノ陣地若ハ行動

直後ノ作戰指導ニ關係ヲ有ス

八 參考トナルヘキ所見

戰闘詳報ノ目的第二項ノ爲戰闘ニ於ケル感情所見、經驗ヲ集録スルヲ必要トス

戰闘詳報附録ノ呈出

戰闘詳報ハ之ヲ勉メテ迅速ニ呈出スルヲ要スルハ前項既ニ述フル所ノ如シ然

ルニ死傷表、鹵獲表、及武器彈藥損耗表等ノ調製ハ計數ニ在リ而モ其計數ニシテ誤謬アラシカ如何ニ報告速カナルモ其效ナキノミナラス却テ後害ヲ醸生スヘシ故ニ火急ノ場合ニ於テ迅速ニ調査ヲ行ハントスルモ蓋シ至難ナルヘシ殊ニ激戰後ニ於テ然リトス此際之ヲ戰闘詳報ト共ニ呈出セント欲セハ報告ノ時機ヲ失スルノ虞在ルヲ以テ先ツ報告ヲ呈出シ置キ後成ルヘク速ニ此諸表ヲ附録トシテ呈出スルヲ以テ機宜ノ處置ト爲スヘキ場合多カルヘシ然レトモ茲ニ説ク所ノモノハ詳報ト共ニ呈出シ得ヘキモノヲ爾後別ニ呈出スヘシト言フニアラス爲シ得レハ同時ニ呈出スルヲ可トスル勿論ナリ

勳功者ノ報告

一 戰闘ニ於テ勳功顯著賞表ニ値スル者ハ之ヲ報告シテ論功詮衡ノ憑據ト爲スヲ要ス然レトモ戰地倥傯ノ際全部ヲ速ニ調査報告スルハ不可能ナルヲ以テ各人、各隊ノ勳功ニシテ特ニ顯著ナル者即チ威狀ヲ授與セラレタル者若ハ殊勳ニ値スヘキ者等ノミヲ必ス戰闘詳報記事ノ末尾ニ附記スヘキモノトス是其名譽ヲ永遠

ニ且ツ廣ク傳フル爲又他日賞功上申ノ憑據ト爲サンカ爲ナリ

第二章 陣中日誌、留守日誌

第四百八十九 陣中日誌及留守日誌ヲ作ルノ目的ハ左ノ二項ニ在リ

- 甲 各部隊若クハ各人ノ經歷及遭遇シタル實況並所見ヲ記載シ一ニハ戰史ノ用ニ資シ一ニハ他日各人ノ勤務及功績ヲ銜衡スルノ參考ニ供ス
- 乙 編制、教育、補充、給養、衛生、武器、彈藥、器具、材料、被服、裝具等凡テ軍事ニ關スル事物ノ經驗ヲ錄シ將來改良ノ資料ト爲ス

陣中日誌及留守日誌ノ定義

陣中日誌留守日誌ハ共ニ當該部隊動員令受領ノ日ヨリ復員完結ノ日迄特別ノ目的ニ從テ記載セラルル日誌ニシテ其留守部隊ニ於テ記スルモノヲ留守日誌ト謂ヒ其他ノ動員部隊ニ於テ記スモノヲ陣中日誌ト謂フ

陣中日誌及留守日誌ノ記載ニ就テ

陣中日誌及留守日誌ヲ作ルノ目的ハ平和克復ノ後戰史ノ資料ト爲スト又他日各人勤務及功績ノ銜衡並軍事ニ關スル事物ノ經驗ヲ記錄シテ改良資料ト爲スニ在リ

故ニ是等日誌記載事項ニ關係シテ必要ナルモノ及刻下無關係ノ如クシテ他日必要ヲ生スルモノ多々アルモノトス然ルニ之ヲ戰時倥偬百事多端ノ折柄逐一研究シ又遠キ將來ヲ想察シテ其要否ヲ甄別スルコトハ到底不可能事タリ故ニ其事ノ苟モ陣中勤務若ハ戰時勤務ニ關係スルモノハ其細大トナク記上シテ以テ他日ノ遺算ナキヲ期スルヲ要ス

第四百九十

甲ノ目的ヲ達センカ爲メニハ左ノ諸件ニ注意シテ記載スヘシ

- 一 記述セル命令、通報、報告ノ全文
- 二 毎日ノ位置(某地ヲ去リテ某地ニ留ル等ト書シ前日ニ同シ等ト記ス可カラ)
- 三 行軍、宿營、行李ニ關スル事項
- 四 戰闘ノ景況(戰闘ノ顛末ヲ詳細ニ記載スヘキモ於ケルニシテ隣接部隊トノ關係ヲ添附スルモノトス之カ爲メ且ツ緊要ノ時期ニ於ケルニシテ隣接部隊トノ關係ヲ出シタル後其控ヲ添附シテ日誌ノ記載ニ代フルコトヲ得)

戰闘詳報、陣中日誌、留守日誌

戰闘詳報、陣中日誌、留守日誌

五 戰闘間ニ生シタル事件
以上ノ事ヲ記スルニ方リ時刻、地點ヲ詳記スルコトヲ忘ル可カラス又自己ノ部隊ニ影響セシ事項(天候、地形ノ險易、道路ノ良否、住民地ノ狀態等)ハ單簡ニ附記セサル可カラス

六 入馬ノ異動、毎日ノ現員(概數ニテ可ナリ)
轉任死傷(將校、同相當官、准士官ハ官職氏名ヲ)、勳功者ノ事績等

七 野戰作業等ノ施設
此他凡ソ其一日間ニ生セシ緊要ノ事項

第四百九十一 乙ノ目的ヲ達センカ爲メニハ左ノ諸件ニ注意シテ記載スヘシ

一 武器、彈藥、器具、材料、被服、裝具等ニ關スルコト

二 編制及諸規則ノ作戦ニ及ホシタル影響

三 補充、給養及衛生上ニ關スルコト

四 教育及軍紀ニ關スルコト

五 非常ノ時機ニ際シテ爲シタル非常ノ處置例ヘハ敵地ニ在リテ住民ニ多額ノ罰金ヲ課シタル等

日誌記載ノ注意

前二條ノ意義ハ何等解説ヲ用フルヲ要セスシテ明瞭ナルヲ以テ一、二若干ノ注

意ヲ述ヘントス即チ第四百九十條第二項毎日ノ位置ヲ記スルニ「前日ニ同シ」ト書スルハ不可ナリト注意ヲ與ヘラレタリ是レ多クノ日誌ヲ集メ戰史ヲ編纂スル場合ニ於テ各月日毎ニ位置ヲ明記シ在ラサレハ多クノ手數ヲ要スルノミナラス誤謬ヲ生シ易ケレハナリ又各地ニ分散位置セル場合ニ於テ特ニ之ヲ詳記セサルカ爲各部隊ノ所在ヲ知ルニ甚タ困難ヲ來セルハ日露戰史編纂ニ於テ實驗セシ所ナリトス

又第六項人馬ハ異動ノミナラス概數ニテモ毎日ノ現員ヲ記シ置クコト最モ必要ナリ然ラサレハ他日ノ調査ニ於テ其眞想ヲ知ルコト甚タ難事ナレハナリ

而シテ戰時多端ノ場合殊ニ戰闘後戰闘詳報ヲ作り陣中日誌ヲ別ニ記載スルコトハ困難ナル場合アリ此ノ如キトキハ該詳報ヲ二、三通ヲ複寫紙ニテ調製シ以テ其控ヲ添附シ置クトキハ大ニ手數ヲ省略スルコトヲ得ヘシ

第四百九十二 陣中日誌ハ左ノ各部隊ニ於テ作ルヘキモノトス

大本營ノ各部、高等司令部(編制上各部ニ區分スルモノハ其各部毎ニ)、兵站監部ノ各部及兵站司令部及同支部、聯隊、大隊、中隊(要塞ニ在リテハ獨立シテ堡壘、砲臺ヲ守備)

戰闘詳報、陣中日誌、留守日誌

戰闘詳報、陣中日誌、留守日誌

スル小隊ヲ含ム、機關銃隊、砲兵聯隊段列、衛生隊、病院、縱列其他獨立部隊及諸廠、師團及獨立作戰セル部隊ノ大行李

留守部隊ニ在リテハ右ノ區分ニ從ヒ留守日誌ヲ作り主トシテ第四百八十九乙ニ掲クル目的ヲ達スル如ク記載スヘシ

第四百九十三 陣中日誌及留守日誌ハ各部隊動員令受領ノ日ヨリ記載スヘキモノトス

特設部隊等ニ在リテハ先ツ編成委員之カ記載ヲ始メ後ニ之ヲ主任者ニ移スモノトス

特設部隊ノ陣中日誌

陣中日誌ハ動員令受領ノ日ヨリ復員完結ノ日マテ記載スヘキハ前既ニ述フル所ノ如シ故ニ戰時特設部隊ノ陣中日誌ハ當該部隊ノ編成委員ヲシテ之ヲ記載セシムルモノトス是レ其當初ノ關係ヲ明瞭ニシ得ルト動員令受領ノ日ヨリ直ニ記載シ得ルノ便利アレハナリ

第四百九十四 陣中日誌及留守日誌ハ事件ノ生スルニ從ヒ直ニ之ヲ記載スルヲ要ス

ス蓋シ其記載スル時刻ノ其事件ヲ距ルノ度ニ應シ價值ノ高低ヲ爲スモノナレハナ

日誌ノ記載ハ即時的ナルヲ要ス

凡ソ事物ニ對スル感想ハ其新タナルモノハ印象強ク從テ其價值高シ爾後時日ヲ經ルニ從ヒ感想減退シテ漸次其價值ヲ減少ス從テ多クノ時日ヲ經ルトキハ遂ニ當時ノ真相ヲ喚起スルノ困難ナルニ至ルコト在リ況ヤ戰時倥傯ノ際ニ於テオヤ故ニ日誌ノ記載ハ事件ノ生スルニ從ヒ即時的ニシテ後日ニ遺憾ナカラシムルヲ要ス

第四百九十五 高等司令部、諸部隊、諸官衙ヨリ到達セル命令、通報及報告其他死傷表、武器彈藥損耗表等ハ凡テ其要領ヲ摘ミ記事ノ後ニ低書シテ參照ニ備フヘシ但シ各原本ハ種類毎ニ一括シテ保存スヘシ
祕密ニ屬スル計畫、特別任務等ニシテ當時之ヲ日誌ニ記載スル能ハサルモノハ別冊ニ記載シテ祕密ノ取扱ヲ爲シ後日其妨ケナキニ至リ之ヲ日誌ニ轉載スルモノトス

戰闘詳報、陣中日誌、留守日誌

日誌秘密特別事項ノ記載

秘密計畫及特別任務等ハ軍機保護上初メヨリ日誌ニ記載スル能ハサルヲ以テ此種ノモノハ錯誤、脱漏等ヲ避クル爲最初之ヲ別冊ニ記載シテ秘密ノ取扱ヲ爲シ後日軍機上差支ヘナキトキニ至リ初メテ日誌ニ轉載スヘキモノトス

第四百九十六 凡ソ此日誌ハ月日時(順序ヲ逐ヒ)ト地名トヲ明記セサル可カラス而シテ各部隊長(或ハ參謀長)ハ之ヲ點檢シ誤謬ヲ發見セハ之ヲ訂正シ毎日記載ノ結尾ニ捺印或ハ署名スヘシ
各部隊長ハ時々部下副隊ノ日誌ヲ點檢シ所要ノ注意ヲ與フルモノトス

陣中日誌及留守日誌ノ點檢

此日誌ハ其目的ニ於テ明カナル如ク甚タ緊要ナルモノナルヲ以テ其記事ハ正確詳細ニシテ其目的ニ適合セサルヘカラス之カ爲各部隊長參謀長ハ自己部隊ノ日誌ヲ點檢シ誤謬ヲ發見セハ直ニ之ヲ訂正シ要スレハ注意ヲ與ヘ毎日記載事項

ノ結尾ニ捺印或ハ署名シテ其確實ヲ保障スヘキモノトス

第四百九十七

此日誌ハ各部隊復員完結ノ日ヲ以テ終局ト爲シ直ニ一本ヲ聯寫(大)隊内ニ在ルシ順序ヲ經テ之ヲ陸軍省ニ出シ而シテ原本ハ其部隊ニ格納スヘシ(中)隊ヲ除ク陸軍省ハ此日誌中ヨリ所要ノ事項ヲ抄録シテ之ヲ保存シ他ハ皆參謀本部ニ送付スヘシ

第四百九十八

陣中日誌並留守日誌ノ用紙ハ美濃野紙トシ其上輪廓ノ内側ニ約二瓏米半ヲ隔テテ平行線ヲ畫シ其以下ヲ記事ニ用ヒ其線ト上輪廓トノ間ノ區畫内ニハ月日、天候、宿營地名其他記事中重要ナル事項ヲ摘記シ以テ見出シニ便ナラシムヘシ

日誌ト詳報トノ差異

此二箇條ニ就テハ何等述フヘキモノナキヲ以テ日誌ト詳報トノ差異ヲ一言シテ之ニ代ヘントス夫レ陣中日誌ノ目的ハ平和克復ノ後戰史ノ資料ト爲スト他日各人ノ勤務及功績ノ詮衡並軍事ニ關スル事物ノ經驗ヲ記錄シテ將來改良ノ資料ト爲スニ在リ故ニ此目的ヲ達成センニハ凡テ正確詳細ニ記載セラレザルヘカラス

戰國詳報、陣中日誌、留守日誌

即チ日誌ハ戰史及論功ノ爲ニスルノミナラス其得タル經驗ニ基キ事物ノ改善ヲ行フ爲ノ資料ト爲サントスルノ遠大ナル企望ヲ屬スルモノニシテ其事務平時^〇的^〇性質ヲ有ス

然ルニ戰闘詳報ハ之ト少シク趣キヲ異ニシ高級指揮官ヲシテ爾後ノ作戰ヲ正確適當ニ計畫セシメンカ爲必要ナル材料ヲ十分收領セシムルニ在ルト將來ニ於ケル戰闘ノ參考ト爲サンカ爲廣ク實戰ニ於ケル經驗ヲ集録スルニ在リテ主トシ戰闘直後ノ爲ニスルモノナルヲ以テ其事務戰^〇闘^〇的^〇性質ヲ有ス

此二者ヲ比較スルニ前者ハ一般ニ涉リテ凡テノ事項ヲ網羅スルヲ要シ後者ハ戰闘ニ必要ナル事項ヲ得ルニ在リテ兩者間自ラ差異アリテ存ス之ヲ極言スレハ戰闘詳報ハ陣中日誌ノ一部ノ拔萃ニ過キササルモノトス然ルニ日露戰役ニ於テハ往々ニシテ之ヲ混同セルノモノアリシハ此兩者ノ區別ヲ無視シタルニ依ルモノナルヘキモ此ノ如キハ其目的ニ反シ效益ノ薄シキヲ願ハサルヘカラス

然レトモ戰地多端殊ニ戰闘直後ニ於テ此二者ノ如キ重複の事務ニ多クノ時間ヲ費ヤスカ如キハ策ノ得タルモノニアラス而モ實際ニ於テ斯ル時間ナキ場合少

ナカラス此故ヲ以テ已ムヲ得サルトキハ陣中日誌ハ戰闘詳報以外ノ事項ヲ詳記シ其他ハ戰闘詳報ヲ呈出シタル後既ニ記述シタル方法ニ依リテ調製シタル其控ヲ添附シ且ツ其旨ヲ附記シテ日誌ノ記載ニ代フルモ敢テ差支ナカラン是レ前述フル如ク兩者ハ其性質ニ緩急アルヲ以テナリ

陣中要務詳解 第五卷終

大正三年一月十五日印刷
大正三年一月十八日發行

陣中要務詳解第五卷奧附

（正價金八拾五錢）

著者 同 志 會

東京市麴町區平河町四丁目十一番地

宮 本 林 治

東京市芝區櫻川町十七番地

山 田 三 次 郎

東京市芝區櫻川町十七番地

金 城 舍

印刷所

印刷者

發行者



發行所

東京市麴町區平河町

宮 本 武 林 堂

振替口座東京一〇九二番

今や世界的歡迎を受くるに至れる

戰史評論

第二卷台本壹册價貳圓
郵稅 內地 拾貳錢
外地 參拾錢
注意 第一卷台本モ右ニ同ジ

第二卷の完結を告ぐ (第三卷の分册發行は依然繼續)

西歐大戦争の一方の旗頭、聯合軍の巨擘たる大英國陸軍省は、特に在本邦英國大使館に命じて發刊毎に必ず數部の購買を豫約せしめられし而已か、更に其譯官をして本評論を翻譯急送せしめつつあるは事實なり、而して目下未曾有の大戦渦中に捲き込まれ居る彼れ英國軍人の多くは、此翻譯によりて頗る深く本評論の採れる主義主張を知り、「日本陸軍に於ける破天荒の快事」として、大に之を稱賛し大に之を歡迎しつつあり、これ強ち本評論の誇りとするに足るものにあらずと雖も、如何に本紙が世界軍事界具眼の士の注視を牽けるかは之によりても其一端を證し得べし。乞ふ試みに一本を披讀せよ、決して其招牌に偽はれる所なきを知らん。

319
313

終